

緑の募金

事業報告集

令和4年度



公益社団法人 国土緑化推進機構

緑の募金 事業報告集

令和4年度

公益社団法人 国土緑化推進機構

目次

- (注) 1. 本報告集に掲載した事業は、令和3年7月から令和4年6月までに事業決定した直接事業及び公募事業である。
2. 最左欄は交付決定番号、() 地名は事業実施都道府県等である。
3. 交付決定番号の区分の説明
- SC 直接事業(森林整備)／東震災 SC 東日本大震災復興事業(森林整備)／SDGs SDGs 貢献事業(森林整備)／S 公募事業(森林整備)／Z 公募事業(次世代の森づくりを担う人材育成事業)
- RC 直接事業(緑化推進)／東震災 RC 東日本大震災復興事業(緑化推進)／令元台災 RC 令和元年台風災害復興事業(緑化推進)／令2豪災 RC 令和2年豪雨災害復興事業(緑化推進)／R 公募事業(緑化推進)／子 R 公募事業(子どもたちの未来の森づくり事業：緑化推進)
- KC 直接事業(国際協力)／K 公募事業(国際協力)

森林の整備

03SC-01	木下沢溪谷冒険の森保全活動と環境教育(東京都)	8
03SC-02	富士山緑の募金の森造成事業(静岡県)	9
03SC-03	さいたまの森林づくり支援事業(埼玉県)	10
03SC-04	玖珠町ふれあいの森づくり事業(大分県)	11
03SC-05	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川県)	12
03SC-06	南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川県)	13
03SC-07	多様性を高めるモデルフォレストづくり「フォレスト21さがみの森」(神奈川県)	14
03SC-08	「赤西溪谷・水源の森」保全事業(兵庫県)	15
03SC-09	協働によるSDGsの森づくり事業(宮城県)	16
03SC-11	「安曇野エア・ウォーターの森」森林整備事業(長野県)	17
03SC-12	緑の祭典“かながわ未来の森づくり”2022 inはだの(神奈川県)	18
03SC-14	日本曹達グループの森づくり事業(新潟県)	19
03SC-15	木曾川・やおつ水源の森づくり活動(岐阜県)	20
03東震災SC-01	3.11復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業(千葉県)	21
03東震災SC-02	「岩沼・荒浜潮除須賀松の森」保育事業(宮城県)	22
03東震災SC-03	3.11復活の森づくり～千葉県一宮町東浪見海岸林再生事業(千葉県)	23
03SDGs-01	離島社会存続に向けた水源林の整備と活用(北海道)	24
03S-01	森の笠地蔵プロジェクト2021(岩手県)	25
03S-02	栗原市行者の滝周辺「癒しの森」植樹活動(宮城県)	26
03S-03	プロジェクトD(どんぐりプロジェクト)福島(福島県)	27
03S-04	「協力隊の森」事業(茨城県)	28
03S-05	トトロの森と狭山丘陵周辺緑地での里山保全事業(埼玉県、東京都)	29
03S-06	自然と人とのつながりを再構築する「大房岬 遊びと学びの森プロジェクト」(千葉県)	30
03S-07	ちば里山 都市近郊の集える憩いの森づくり(千葉県)	31
03S-08	一般市民による湘南海岸林整備事業(神奈川県)	32
03S-09	市民参加による森林づくり「山と緑の協力隊」(滋賀県、長野県)	33
03S-10	高田松原再生整備事業(岩手県)	34
03S-12	千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の再生事業(千葉県)	35
03S-13	八王子市上川の里特別緑地保全地区の整備事業(東京都)	36
03S-14	北浅川上流地区の森にホタルを飛ばそう！(東京都)	37
03S-15	自然と森を学びながら行う富士山南麓の森林復元活動(静岡県)	38
03S-16	世田谷・川場上下流連携の森林活性化事業第Ⅱ期(群馬県)	39
03S-17	都市近郊の新しい里山づくり(東京都)	40
03S-18	秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と保全(埼玉県)	41
03S-20	相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動(神奈川県、東京都)	42
03S-21	都市の里山資源の活用推進事業(神奈川県)	43
03S-22	山北町丸山地区森林整備(神奈川県)	44
03S-23	親子が安心して遊べる「フーのきの森」整備(新潟県)	45

03S-24	丹波山みんなの森づくり・防災事業（山梨県）	46
03S-26	間伐整備活動で取組む三河湾の生態系の保全（愛知県）	47
03S-27	資源利用と環境学習によるやまんばの森再生（滋賀県）	48
03S-28	放置竹林を生産性のある竹林モデルに変換（京都府）	49
03S-30	里山整備事業（兵庫県）	50
03S-32	矢田山の憩いの場とする豊かな自然の森づくり（奈良県）	51
03S-33	根来山げんきの森再生事業（和歌山県）	52
03S-34	災害に強く脱炭素社会に貢献する森林づくり（島根県）	53
03S-36	番所鼻海岸防災林保全計画（鹿児島県）	54

緑化の推進

03RC-01	緑のまなび事業（豊後大野市立大野小学校）（大分県）	56
03RC-02	緑のまなび事業（葛巻町立江刈小学校学校林（バンザイ広場）整備事業）（岩手県）	57
03東震災RC-01	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業（宮城県）	58
03東震災RC-02	「森と海を結ぶ・絆の森林づくりプロジェクト」事業（宮城県）	59
03令2豪災RC-01	倒木や土砂の流出を防ぐ保水力の高い森作り（熊本県）	60
03令2豪災RC-02	令和2年7月熊本豪雨復興支援事業（熊本県）	61
03R-02	【週末は森へ】近隣住民と森との橋渡し事業（北海道）	62
03R-03	森と緑と湖のマチ そららの森づくりプロジェクト（北海道）	63
03R-04	いのちの森づくり植樹祭 IN おたる奥沢水源地 VOL.9（北海道）	64
03R-05	陸奥湾の海と山のつながりを植林を通して体験する事業（青森県）	65
03R-07	沈黙しないでピカピカ里山にしませんか！（秋田県）	66
03R-08	八幡山桜（はな）の森整備事業 コブシ・ハンノキの森整備事業（山形県）	67
03R-09	しらかわ本沼花見山づくり緑化環境整備事業（福島県）	68
03R-10	渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業（栃木県）	69
03R-11	関東一つつじ公園の復活と百年生美林散策（栃木県）	70
03R-12	ヤマアジサイの森の清掃活動とボランティア育成講座（群馬県）	71
03S-13	市民参加型森林整備・森林環境教育推進事業（千葉県）	72
03R-14	みんなの森づくりプロジェクト（山梨県）	73
03R-15	国民参加による災害に強いめぐりの森づくり（神奈川県）	74
03R-16	船来山里山環境整備事業（岐阜県）	75
03R-17	猿投山北西山麓の環境林整備（愛知県）	76
03R-18	グリーンベイOSAKA海岸防災森を創る活動（大阪府）	77
03R-19	里山保全活動からSDGsを学ぶ（兵庫県）	78
03R-20	丹波平松の森づくり（兵庫県）	79
03R-21	100年先も誇れる彩の森づくり事業（島根県）	80
03R-22	おおつか里山桜並木回廊事業（島根県）	81
03R-23	「山の日」祝日5周年記念植樹祭（広島県）	82
03R-24	竹林跡地を活用した森の再生事業（香川県）	83
03R-25	脱炭素化社会へ！都市部市民と里山応援企業の協働活動2021（大分県）	84
03R-26	森林がもたらす恩恵に感謝！～森林資源の利活用と四季を彩る森林体験～（鹿児島県）	85

国際協力

03KC-01	島嶼国フィジーにおける防災に向けた緑化と環境教育（フィジー）	88
03KC-02	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業（マリ）	89
03KC-03	カンボジア国コンボンチャム州における持続可能な森林管理を目指した植林事業（フェーズ3）（カンボジア）	90
03KC-04	インドネシア マドゥラ島 水保全に向けた緑化と環境教育の推進（インドネシア）	91
03KC-05	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業（中国）	92
03K-01	バリ島シンガラジャ市内公園の緑化植樹事業（インドネシア）	93
03K-02	エチオピア・ラリベラでの養蜂業拡大を目指した市民参加型緑化事業（エチオピア）	94
03K-03	中学生によるナイロビ市街地の自然林再生（ケニア）	95

03K-04	西アマゾン・アグロフォレストリー普及事業（ブラジル）	96
03K-05	正藍旗における地域密着型生態林再生事業（中国）	97
03K-06	ジャカルタ湾岸 マングローブ林再生プロジェクト（インドネシア）	98
03K-08	パレスチナ・セルフィート県の耕作放棄地への植樹を通じた緑化事業（パレスチナ）	99
03K-09	バングラデシュ国テクナフ半島の住民による森林再生（バングラデシュ）	100
03K-10	中央カリマンタン国立公園周辺地域の環境保全事業（インドネシア）	101
03K-11	パンチカール市 地域の緑化推進のための公園づくり（ネパール）	102
03K-12	中国内モンゴ・ホルチン砂漠の砂漠化防止活動（中国）	103
03K-13	森林保全と森林防火管理における養成の強化（ボリビア）	104
03K-15	マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業（マダガスカル）	105
03K-16	ネパール シンドウパルチョーク郡におけるコーヒー育苗と栽培による環境保全（ネパール）	106
03K-17	フィリピン・ベンゲット州における鉱山開発地域の森林再生事業（2年目） （フィリピン）	107
03K-18	水源保全とアグロフォレストリー推進事業（ホンジュラス）	108
03K-19	タイ北部山岳地域パンカー村の森林再生と農村開発（タイ）	109
03K-20	モザンビーク共和国モリンガプロジェクト（モザンビーク）	110

次世代の森づくりを担う人材育成事業

03Z-01	地域を巻き込み、森林・森の恵みを活用したSDGs学習を展開する！（山形県）	112
03Z-03	『創』美しいもり!!プロジェクト（群馬県）	113
03Z-04	森林ボランティア青年リーダー養成講座（東京都、京都府、兵庫県、香川県、徳島県）	114
03Z-05	大学生による森林保全活動推進プログラム（和歌山県）	115
03Z-06	気候変動対策、土地本来の森づくりを協働！（神奈川県）	116
03Z-07	環境リーダー育成 実践型森林ワークキャンプ （栃木県、福島県、大阪府、静岡県、三重県、青森県）	117
03Z-08	若者主導の多世代参加型の里山再生事業（神奈川県）	118
03Z-09	大学生による森林・竹林整備（京都府）	119
03Z-11	次世代と共につくる里山と菊炭の未来（大阪府）	120
03Z-12	緑をとりもどせ！土砂崩壊防止をめざして（鳥取県）	121

子どもたちの未来の森づくり事業

03ZR-01	にちようびの森～森で育つ子どもたち（北海道）	124
03ZR-02	子どもと馬を中心にしたコミュニティによる里山整備及び 森林環境教育推進事業（北海道）	125
03ZR-03	ふるさとの森・遊びの森作り事業（北海道）	126
03ZR-04	こどもたちとつなぐ未来の森プロジェクト（青森県）	127
03ZR-05	SDGsキッズ海岸防災未来の森づくり事業（宮城県）	128
03ZR-08	子供たちへ繋ぐ森林の風（秋田県）	129
03ZR-09	高島町天神山の遊歩道等の改修及び植樹事業（山形県）	130
03ZR-10	ふるさとの風景づくり植樹祭（福島県）	131
03ZR-12	ふるさとの森を守ろう（茨城県）	132
03ZR-14	子どもたち参加の里山体験活動（茨城県）	133
03ZR-15	みんなでつくるみんなの森プロジェクト（栃木県）	134
03ZR-16	石原里山整備で感性豊かな子どもの育成事業（群馬県）	135
03ZR-17	みんなで守ろう 育てよう！よしみ里山プロジェクト（埼玉県）	136
03ZR-18	「森のがっこう」里山再生と木の活用事業（千葉県）	137
03ZR-19	歴史ある学びの森で、地元の小学生へ体験学習（東京都）	138
03ZR-21	災害に強い子どもたちが育つ森づくり事業（東京都）	139
03ZR-22	故郷の里山再生および園芸文化の復活プロジェクト（新潟県）	140
03ZR-23	子どもたちの未来の森づくり事業（石川県）	141
03ZR-24	鬼無里で「みんなの森づくり」プロジェクト（長野県）	142
03ZR-25	小中学生のためのフォレスター養成講座（長野県）	143

03子R-26	名勝「金尾滝」周辺の「森の学び」整備事業（岐阜県）	144
03子R-27	閉校してもみんなの森はみんなで守ろうプロジェクト（岐阜県）	145
03子R-28	子供たちと地域で守る不動の滝と牛妻の森づくり事業（静岡県）	146
03子R-29	修善寺・アカガシの森 環境共育プロジェクト（静岡県）	147
03子R-30	どんぐり交流会の山づくり その2（愛知県）	148
03子R-31	あさくら里山の保全・活用事業（愛知県）	149
03子R-32	六栗西山ふれあいの森整備事業 その1（愛知県）	150
03子R-33	青い鳥の谷子ども広場計画（滋賀県）	151
03子R-34	子どもたちによる都市公園の森での整備事業（滋賀県）	152
03子R-35	遊々の森で子どもたちと行う森林再生（京都府）	153
03子R-37	生駒市西畑町の棚田・里山の再生と創造（奈良県）	154
03子R-38	大地の再生～キャンプ場の復活プロジェクト～（奈良県）	155
03子R-39	みんなでつくるドングリの森（鳥取県）	156
03子R-40	海に見える丘 五十猛小プレイパークづくり（島根県）	157
03子R-41	みんなで育てよう伊部つながりの森の整備事業（岡山県）	158
03子R-42	子ども達に託せる美しい里山づくり事業（高知県）	159
03子R-46	もりもり体験 with 森守（大分県）	160
03子R-48	馬事公苑の森子どもの森づくり活動（鹿児島県）	161

令和元・2年度事業

01K-28	パキスタン北東部における緑の再生・ 保全事業と環境保護第一世代の育成事業（パキスタン）	164
02S-09	森の次代を担う青年森づくり事業（東京都）	165
02S-10	水源を守ろう、森づくり事業（群馬県、東京都）	166
02R-01	森・子どもたちの元気づくり・再生プロジェクト（北海道）	167
02R-07	馬と歩く瞑想と森林浴の森づくりプロジェクト（岩手県）	168
02R-16	「かがやけ白崎の森」プロジェクト（和歌山県）	169
02K-01	中国・内モンゴル自治区アラシャン盟ウランブハ沙漠における沙漠緑化事業（中国）	170
02K-06	フィリピン・マウンテン州における森林農法による植樹と育苗事業（フィリピン）	171
02K-11	ガラパゴス諸島：スカレシアの森再生事業（エクアドル）	172
02K-23	ミャンマー・マインビン地域における水源涵養・ アグロフォレストリー推進と緑化啓発事業（ミャンマー）	173
02子R-08	「つなげよう！どんぐりの森2020」プロジェクト事業（秋田県）	174
02子R-24	子どもがつなぐ未来の森とSDGs（東京都）	175
02子R-29	持続可能な森林管理を生徒児童と学ぶ（神奈川県）	176
02子R-30	地域の多世代交流拠点を目指す園庭緑化事業（神奈川県）	177
02子R-33	広葉樹林の多様な活用事業（山梨県）	178
02子R-53	元気な子も！療育の子もみんなで遊ぶ森作り（熊本県）	179

令和3年度	中央事業実施状況一覧	180
-------	------------	-----

持続可能な開発目標

Sustainable Development Goals

エスディーゼーズ

SDGs

エスディーゼーズ

持続可能な開発目標 (SDGs) は、貧困や不平等・格差、気候変動などのさまざまな問題を根本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。



目標1 ひんこん
貧困をなくすこと



目標2 きが
飢餓をなくすこと



目標3
健康であること



目標4
質の高い教育



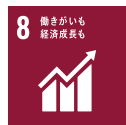
目標5
ジェンダーの平等



目標6
清潔な水と衛生



目標7
再生可能エネルギー



目標8
適切な良い仕事と
けいざい
経済成長



目標9
新しい技術とインフラ



目標10
不平等を減らすこと



目標11
持続可能なまちと
ちいき
地域社会



目標12
責任を持って生産し、
消費すること



目標13
きこうへんどう 気候変動への対策
たいさく



目標14
海のいのちを守ること



目標15
陸のいのちを守ること



目標16
平和で公正な社会



目標17
目標のために
協力すること

森林の整備



木下沢渓谷冒険の森保全活動と環境教育

東京都八王子市



事業概要

東京都八王子市裏高尾町にある木下沢下流域の森林を対象に、市民の憩いの場、レクリエーションの場、多くの生物が生息する場として利活用できる森林にしていくことを目的として、次のような活動を行っている。①歩道・遊歩道、ふれあい広場等の整備、②間伐、風倒木の処理・植樹等の森林整備、③裏高尾・木下沢渓谷連絡会議と連携した情報の共有、④自然とふれあい自然を知る行事の企画・提供、⑤イベント参加者による生物多様性に即した環境づくりの実施と学習。

事業成果

新しい拠点・整備エリアにて周辺生物調査を継続して行い、認知向上に向けたガイドブックの配布も続けて行った。こうした活動によって定期的に参加するメンバーのコミュニケーションは活性化した。また、イベント実施における指導者や協力スタッフの担当制が機能するようになり、結

果初回参加者や親子の満足度の高い植樹や間伐を含めたプログラムが実施できるようになった4月には人数制限をかけた上で15組の親子体験が実施できた。自然体験を希求する都市住民に開かれた活動をという思いで、対策をした上でプログラムを展開できたことは大きな成果と考えている。

事業をよく知る関係者の声

- ・普通では体験できないようなことができるのがうれしい。(リピート参加者)
- ・子どもを連れての参加ではあるが、もっと森の整備を試みたい。(リピート参加者)

参加者の声

- ・木がドーンと倒れたのがすごかった。(小学生)
- ・ノコギリでたくさん木を伐れて面白かった。(小学生)
- ・種に触れたらパチッとはじけたのが気に入って、次々と触っていた。(小学生の保護者)



トチノキ、ヤマザクラ、ウワミズザクラなどを植樹



間伐体験



下刈



水生生物観察

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：120本
 下刈面積：0.2ha
 除伐面積：0.7ha
 間伐面積：0.4ha
 作業道整備：600m
 生物調査：10回
 イベント：14回

参加者数

都内：323人
 都外：122人
 計：445人

樹種

トチノキ、ヤマザクラ、ウワミズザクラ

富士山緑の募金の森造成事業

静岡県富士宮市



事業概要

平成8年の台風7号は、富士山南東斜面に風倒木など甚大な被害を与えた。本箇所は、その復旧を目的に開始された事業であり、国土緑化推進機構が提唱する「国民参加の森林づくり活動」の場として森林ボランティア団体に呼びかけ、今日まで実行委員会方式で緑の募金中央事業として実施してきている。

事業成果

植生調査等を継続するとともに、定期的に防鹿柵の巡視等を実施した。なお、区域内にシカの侵入が見られ、ヒノキに被害が発生した。

事業をよく知る関係者の声

- ・台風被害跡地への植栽開始から20年が経過し、ヒノキ林、広葉樹林ともに順調に生育しているものの、一部、シカによる森林被害が見られる。



かん木整理



下刈作業後



倒木伐採



ツル切り

実績とりまとめ

作業内容

- 歩道整備：200m
- 作業道修理：50m
- シカ柵保全巡視：2300m

参加者数

- 県内：58人
- 計：58人

さいたまの森林づくり支援事業

埼玉県越生町、ときがわ町、三芳町、小川町、桶川市、さいたま市



事業概要

県内において森林ボランティア体験事業（植樹、間伐、下刈り）を実施する企業や学校等に対し、安全に活動できるよう支援・指導する。これにより地球温暖化防止のための森林整備が進み国民参加の森林づくり運動に寄与することを目的とする。

事業成果

予期せぬ事態の中でも、作業時の「基本的ガイドライン」を守って活動することによって森林ボランティア体験活動を実施する企業や小学生に安全な森林作業体験活動をしていただくことができた。

事業をよく知る関係者の声

昨今、子ども達が森林に触れる機会が少なくなくなって

いるため、高校生や小学生が森林ボランティア体験を通じて森林と触れ合い、森林づくりの大切さを感じることができるときは大変貴重である。（緑推関係者）

参加者の声

- ・斜面で木を植えるのは大変だったけれど、貴重な体験ができた。ありがとうございました。（小学生）
- ・社会人になって、コロナもあり自然と触れ合う機会が減っていたので良い気分転換になった。これまで縁がなかった森づくりについて学びきっかけになった。（参加者）
- ・コロナ禍での出社制限や在宅勤務が増える中での自然を相手のボランティア活動、慣れないノコギリ作業や苦手な虫に苦戦しつつも普段使わない筋肉や頭を使うためか良い気分転換になっている。（参加クラブ員）



小学生の間伐体験



慎重に作業



小学生の植樹



ヤマザクラ、ヤマグリ、ヤマモミジほかを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.6ha
 植付本数：163本
 下刈面積：1ha
 除伐面積：4.5ha
 間伐面積：7ha
 森林調査：2ha
 落葉掃き、コースターづくり

参加者数

県内：242人
 県外：28人
 計：270人

樹種

オオヤマザクラ、ヤマザクラ、
 ヤマグリ、ヤマモミジ、コナ
 ラ、アカマツ

玖珠町ふれあいの森づくり事業

大分県玖珠町



事業概要

多くの町民ならびに企業ボランティア参加を募り、大分玖珠地域の里山に生物多様に富む豊かな生態系と美しい景観を創出し、人と森との共生する文化の創造に資する。

事業成果

コロナ感染予防のため森林整備活動が実施できなかったが、森林整備の維持活動はできた。



下刈



シイタケ植菌



ホダ場整備



肥料散布

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：2.98ha
 原木起こし：100本
 シイタケ駒打：3000駒
 肥料散布：20kg

湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県湯河原町



事業概要

湯河原町の協力を得て進める企業の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりをめざすとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深める体験活動を行うものである。主な活動は、間伐、水源整備、自然観察会等。また、この事業は企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う形で活動内容を計画している。

事業成果

コロナ禍で企業社員による体験活動は実施できなかった

ため、①企業事務局社員による現地調査の実施、②森林インストラクターによる基盤整備の取り組み、③森林の植生について広報誌で紹介した。

①では、体験活動で行う予定だった植栽地の下刈や植生調査、活動地の広場へのアプローチを拡幅して改良するために間伐材を多く利用する工法での階段整備を継続して実施。また、活動開始10周年記念植樹に向け、苗畑を整備、活動地内で採取した苗を育苗している。

事業をよく知る関係者の声

- ・メンバー同体験活動の再開を楽しみに維持管理をしっかり行っている。(森林インストラクター)



事務局社員による現状確認



シイタケ栽培、ホダ場の整備



溪流の整備



広葉樹稚樹の移植

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.05ha
 経路整備：20m
 植生調査：1500m
 (経路沿い)
 広葉樹苗畑管理

南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県南足柄市



事業概要

緑の募金に協力する企業の森づくり体験活動が円滑に推進し充実した成果を上げるため、当財団の森林づくり活動に係わる蓄積したノウハウを活かし、活動計画の作成、それに基づく森林整備や環境整備、森づくり活動の指導などを行う。今年度は事務局によるベンチづくりと社員が集まり林内整備や間伐作業を行った。

事業成果

新たな試みとしてCO₂吸収量の算出方法をミニ講座で行い、今後徐々にこの森全体のCO₂吸収量を計ることをめざし定番作業としていくこととした。また、二人挽きノコギリを体験してもらったところ好評で毎回の定番作業とな

った。

事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍で企業からの参加者もままならず、予定した計画内容が予定どおりに実行されないことによって考えさせられる1年となった。これまでの企業の皆さんの成果を絶やすことのないよう基盤整備に取り組むとともに、フィールド周辺で拡大するナラ枯れに対しても、予防や利活用にも取り組みたい。

参加者の声

- ・久しぶりの活動でした。天候は曇り、暑くなかったものの、マスクをしながらの間伐、森林整備は厳しかった。(企業担当者)



作業前のストレッチ



林内整備



活動に参加したみなさん



ミニ講座

実績とりまとめ

作業内容

間伐面積：0.01ha
林内整理：0.05ha
ベンチづくり：3基

参加者数

計：55人

多様性を高めるモデルフォレストづくり「フォレスト21さがみの森」

神奈川県相模原市



事業概要

森と人の関係を再構築し森づくりの輪を拡げ、持続可能な社会の基盤となる生態系豊かな森をつくりながら、事業の展開をめざす。本事業を市民参加によるモデルとして発信し、国内における放置人工林をはじめとした森林への関心離れへの解決に結びつけたい。主な活動は、①生物多様性や地域の環境に配慮した森づくり活動、災害に強い森づくりの推進、②健全な森づくりのための知識・技術のスキルアップ、③初心者や子ども向けの森林環境教育や、森林サービス産業の創出に向けた活動、④森林環境のなかで心身をリフレッシュできる活動など。

事業成果

2019年豪雨災害を受けて、その対策を市民参加でできないかと考え、2021年10月～12月に「災害対策研修」を実施、県内外より96人の参加があった。この研修に合わせてオン

ラインでイベントを行い活動認知を全国に広げることができた。また「人工林の多様性を高める森づくり」を実践していくため、照度・植生のモニタリングと合わせて、虫害にあったコナラ林での多樹種構成のための植林、ナラ枯れ被害拡大防止のための防止テープ貼り作業などを行い、より多様性のある森林へと進めることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティアによる細やかなケアが人工林の育林に活かされていた。今後多様性を高めていく方針であれば、照度や樹冠にも着目すると良い。上空からドローンで調査するのも一手だろう。(林業技術センター研究者)

参加者の声

- ・この森全体の将来展望、育み方などもっと勉強していきたい。(50代)



災害対策研修での作業道補修



土砂崩壊防備



ナラ枯れ対策



カエデ、モミほかを植樹

実績とりまとめ

作業内容
 植付面積：0.02ha
 植付本数：50本
 下刈面積：0.3ha
 除伐面積：2ha
 間伐面積：0.6ha
 森林資源活用：3回

参加者数
 県内：148人
 県外：187人
 計：335人

樹種
 カエデ、モミほか

「赤西溪谷・水源の森」保全事業

兵庫県宍粟市



事業概要

(株)日本触媒および森林管理署と協働して森林整備などを行うことにより、環境林、水源かん養林を保全するとともに、あわせて自然保護、生物多様性について理解を深める。当初予定された企業の従業員などによる3回の森林整備活動は、前年度に引き続き新型コロナウイルスのため全て中止となったが、NPO会員主体で以下の活動を実施した。①令和3年11月にNPO会員で現地を訪問し、植樹地の獣害防止柵の保全作業を実施するとともに、溪谷の自然観察を実施した。②令和4年4月に企業の担当者とNPO会員で現地を訪問し、前年からの冬季の積雪による被害状況調査と以降の活動の課題や必要な作業について検討した。③令和4年8月に企業の関係者とNPO会員で現地を訪問し、植樹地の下刈を実施した。

事業成果

植樹地で、成長したヤマザクラの獣害防止ネットを取り



獣害防止柵の保全



遊歩道の倒木処理



下刈



植樹地の状況確認

外し、雪害や獣害で変形や倒れた樹脂製ネットの一部をワイヤメッシュ柵に取り換える試みを行った。

事業をよく知る関係者の声

- ・社員参加型の森づくり活動は中止となった。本年度もNPO関係者にもご協力いただき、事務局関係者で春と夏に現地査察を実施した。夏には恒例の植樹エリアの下刈など維持管理作業に取り組むことができた。(企業の活動企画担当者)

参加者の声

- ・活動で多くの社員が赤西溪谷のすばらしい自然に接し、森の役割・大切さを理解し「森づくりは人づくり」へのつながりを体験していただいたことは大きな成果であった。今後、植樹木が同溪谷の色どりに一役買ってくれることを願っている。(80代会員)

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.2ha
 獣害防止柵保全：1回
 現地調査：2回

参加者数

県内：36人
 県外：8人
 計：44人

協働によるSDGsの森づくり事業

宮城県利府町



事業概要

コロナ禍により自然体験の機会が減少しているため、企業等との協働により安心して活動できる森を整備し自然体験を普及することを目的として、ENEOS(株)とともに整備活動を行うだけでなく、県内の親子・小学生・高校生に対する自然体験イベントを開催。また、地域ボランティアの充実を図るため森づくり講習会を実施した。

事業成果

高校生ボランティアによる森づくり体験イベントを初めて実施し、100人を超える高校生の協力もあり、大規模な森林整備がすることができた。感染対策を講じた上で、イベントや整備作業を実施できるようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・マスク着用等の感染対策を講じた上ではあるが、イベント数や規模が新型コロナ流行前に戻りつつあるはうれしい。(ボランティア)
- ・たくさんのナラ枯れを処理した。少しは森がすっきりしたように見えるが、伐ると新しい枯損木が見つかるので、これからも根気よく処理していかなければいけない。(ボランティア)

参加者の声

- ・ヒノキが倒れる瞬間はとても興奮した。貴重な体験になった。(ボランティア高校生)
- ・学校では見られない子ども達の姿を見られた。良い学びと体験の場となった。(小学校教員)
- ・植えた木が立派に育つように見守っていきたい。(地域ボランティア女性)



広葉樹を植樹



遊歩道での刈払い



チェーンソーの使い方研修



遊歩道整備

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.11ha
 植付本数：60本
 樹勢回復：80本
 下刈面積：0.8ha
 除伐面積：1.1ha
 間伐面積：0.01ha
 森林資源活用：3回
 クラフト体験：2回
 遊歩道整備：130m

参加者数

県内：392人
 計：392人

樹種

ミズキ、ヒノキ、コキアほか

「安曇野エア・ウォーターの森」森林整備事業

長野県安曇野市



事業概要

エア・ウォーター(株)は関連事業地が安曇野市にあるため、市内での森林保全に貢献していきたいと考えてきた。そこで、市役所と森づくり協定を締結。皆伐地の森林更新をめざし、以下の活動を実施した。①地拵え／植栽地エリアに繁茂するササの刈り取りと、地拵えを実施。あわせてササの根を剪定鋏等で切り取り穴掘りしやすい環境を整備。②植栽／ミズナラを植栽。③下刈／木周りの草の刈り取り。④散策路の整備／ササ刈りを行い散策路の機能回復を行った。⑤看板作成及び設置など。

事業成果

皆伐跡地に繁茂したササ等を刈払い、地拵えを進め、再植林を行うことができた。また、植林後の下刈を行った。

事業をよく知る関係者の声

- ・意欲ある社員ボランティアが多く、集中しての作業は目を見張るほどだった。(行政職員)
- ・人の手で進めるタイプのボランティア活動の有効性を実感した。(林業士)

参加者の声

- ・これから従業員でこの森を育てていきたい。
- ・植えた苗木がきちんと育っている姿を見てうれしかった。



植樹の様子



ミズナラ 300本を植樹



散策路を整備



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.15ha
 植付本数：300本
 下刈面積：0.15ha
 散策路整備：200m
 刈払・地拵え：0.15ha

参加者数

県内：49人
 県外：2人
 計：51人

樹種

ミズナラ

緑の祭典 “かながわ未来の森づくり” 2022 in はだの

神奈川県秦野市



事業概要

平成22年に開催した全国植樹祭を契機として、神奈川県の森林再生の取り組みを発信するとともに、県民との協働による森林づくりを推進していくため、持続可能な森林づくりと自然との共生をめざす秦野市において、放置森林を憩いと潤いを創造する落葉広葉樹林へ誘導する森林づくりを象徴するイベントとして開催した。また、水源環境保全・再生の取り組みなど、県全体の森林・林業関係施策の成果等を示し、森林・林業への見識を高めてもらった。

事業成果

参加者は持続可能な森林づくりと自然との共生を体験で

きたのではないかと思う。県が行う水源環境保全や再生の取り組みなどを発表する良い機会だった。

事業をよく知る関係者の声

植樹が早く終わる方々も多くなったため、午後のプログラムに参加せずに帰る方用の送迎バス発車までの時間が相対的に長くなってしまった。こうした反省点を踏まえつつ、多くの人に参加いただけたことから継続して行っていきたい。(森林再生課長)

参加者の声

- ・森林インストラクターから森林や草花の説明を受けながらの植樹は楽しかった。また参加したい。(公募参加者)



463人が参加



緑の少年団も参加



広葉樹を植樹



丸太切り体験

実績とりまとめ

作業内容
樹勢回復：440本

参加者数
県内：463人
計：463人

日本曹達グループの森づくり事業

新潟県上越市



事業概要

日本曹達グループ起業の地である新潟県上越地域の「くわどり市民の森」内で、地域に貢献するため、新潟県民・上越市民に親しまれる森づくりを実施する。本年度は、スガ池に流量の調節できる管を設置しての排水口の改善、森林整備、植樹、周知用看板の改善を実施した。

事業成果

スガ池湛水化の促進、森林整備の促進を行った。

事業をよく知る関係者の声

- ・上越市と公園指定管理者の要請に応え、森林整備を推進することができ、とてもありがたい。

参加者の声

- ・技術や経験を通じて地域に貢献できてありがたい。



モミジ、アジサイを植樹



支柱を立てる



下刈



森林整備

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.01ha
 植付本数：20本
 下刈面積：0.1ha

樹種

モミジ、アジサイ

木曾川・やおつ水源の森づくり活動

岐阜県八百津町



事業概要

目的は、木曾川流域に生活する住民に潤いと安らぎを与える自然豊かな水源の森を整備し、水源涵養機能を充実させるとともに森林生態系や生物多様性について学ぶことである。主な活動は以下のとおり。名古屋駅前高層ビル群や奥三河の山々が一望できる海拔500mの高原を会場とし、下流域にて生産活動を行うキリンビール(株)名古屋工場の従業員と家族や流域に生活する住民が協力し、サクラの間伐、地域内の遊歩道の補修作業、下刈などの活動を行うとともに間伐材を利用した箸づくり体験などを行っている。

事業成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア参加の交流を含めた整備事業は中止したが、春秋に地元ボ

ランティアによる下刈を実施した。夏と秋に業務委託による下刈による水源の森の保全、整備に努めた。11月にサクラの勉強会を実施し、知識・技術を身につけてもらった。

事業をよく知る関係者の声

- ・年2回の環境整備活動とサクラ勉強会を実施することができて良かった。事業を継続していくことが大切であるため、小規模でも引き続き事業を実施したい。

参加者の声

- ・広範囲の草刈りだったが、参加者も多く天候にも恵まれたため、予定どおり作業が完了した。きれいになった水源の森を見ると大変気持ち良くリラックス効果大です。(40代男性)



下刈



下刈作業に参加のみなさん



サクラの勉強会



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：8ha
サクラの勉強会

参加者数

県内：132人
計：132人

3.11 復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業

千葉県山武市



事業概要

津波により壊滅した千葉県山武市蓮沼海岸林の再生を図るとともにボランティア活動の継続性の向上をめざす。行った事業は以下のとおり。①千葉県北部林業事務所が推奨する海岸林に適した抵抗性クロマツを唐鋏等を用いて、ボランティアを募って1100本植えた。②過去に植えたもので枯れた箇所への補植100本を行った。

事業成果

新型コロナウイルス感染症による影響で、広く市民が参加する活動を展開していくことは困難ではあったものの、県内企業ボランティアの受け入れを積極的に行ったことで、滞りなく作業を終えることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・活動の最初から参加しこのプロジェクトの進捗を体感している。継続していることは素晴らしい。
- ・ボランティアの力が集まり個人個人ができることを続けることで、1つの結果となっている。森づくりは長期的な作業であるが、今後もその機動力に期待したい。

参加者の声

- ・これからは下刈などの作業になるが、体力が続く限り参加したい。(50代男性)
- ・家族で参加した。これからの時代を創っていく世代とのボランティアはロマンがあっていい。(30代男性)



抵抗性クロマツを植樹



作業はていねいに



1100本を植樹



子どもたちも参加

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1.1ha
植付本数：1100本
補植：100本

参加者数

県内：21人
県外：4人
計：25人

樹種

抵抗性クロマツ

「岩沼・荒浜潮除須賀松の森」保育事業

宮城県岩沼市、仙台市



事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた仙台市沿岸域の海岸防災林について、その再生に向けて地域住民等との協働により保育活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深めてもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図る。

事業成果

昨年に引き続き次代を担う子どもたちの参加を促すことに力点を置いた。日常生活で様々な制約を受けている子どもたちが楽しく草取りやツル取りに励む姿は印象的であった。活動に全面的に協力をいただいた団体が、創意工夫して被災地の自然環境の回復状況の観察や釣りなどの活動を組み合わせながら体験学習を行ってくれたこともあり、引率教員から「充実した活動」であり、来年度も引き続きと活

動したいとの要望をいただいた。

事業をよく知る関係者の声

- 子どもたちは校外学習に行く前に震災前の荒浜について学習した。びっしりと植えられていた防災林が津波で流されてしまったことを学習していた子どもたちは、新しく植樹されている防災林を見て「すごい！またあの時のように戻ってきている」と話していた。子どもたちは自分たちも力になりたいと一生懸命除草活動に取り組んだ。「また絶対来たい!」と話す子どももいて荒浜とのつながりが生まれうれしく感じた。(仙台市立小学校教員)

参加者の声

- 大震災で多くの防災林がなくなり、そのためにまたマツを育て直していることが分かった。(小学校5年男子)
- 海岸防災林の役割が理解できた。子どもと一っしょ作業したが、苗を育てるのは大変だと思った。(30代女性)



小学生による保育活動



高校生も参加



親子で活動



「県民協働の保育活動」

実績とりまとめ

作業内容

保育活動：1.48ha
海岸防災林周辺地域の自然環境観察など体験活動

参加者数

県内：596人
計：596人

3.11 復活の森づくり～千葉県一宮町東浪見海岸林再生事業

千葉県一宮町



事業概要

海岸林造成の早期達成のため、2022年4月に植栽したエリアの下刈を実施。150区画、9600㎡に植栽した7350本の苗木の生育を図るため下刈を実施。海岸林所有者の千葉県の森づくり計画に応じて2度刈りで実施。下刈の面積は1.92ha。

事業成果

2022年4月に新規植栽した場所は苗木の活着状況も良く、今後の生長に期待がもてる。

事業をよく知る関係者の声

- ・ 枯れたものは5%未満、苗木の生育状況は良い。
- ・ 2年目となる来年は、今年と比べて雑草の繁茂が激しくなると思われるので、早めの対処が必要となる。

参加者の声

- ・ とても暑い日の作業となったので、ボランティア時間が短めで残念だった。
- ・ 下刈はまた1年後とのことだが、それまでの間に何かあれば参加したい。



1.9haを下刈



作業前



作業後



ボランティアのみなさん

実績とりまとめ

作業内容
下刈面積：1.92ha
参加者数
計：66人

離島社会存続に向けた水源林の整備と活用

北海道羽幌町



事業概要

海鳥繁殖地であり、ナンバンエビやウニなどの豊かな生態系サービスをもたらしてくれる天売島の島社会の存続に貢献するため、水源林とその整備で発生する木材の島内での有効利用を図る。主な活動は以下のとおり。①生態学的混播・混植法による生物多様性が高く持続性のある人工混交林の造成。②育成木施業により、手入れの遅れた単一樹種の水源林を生物多様性の高い安定した森林へと変換。③水源林の手入れで発生する木材を馬で搬出、簡易製材機で製材し、景観に合った木造シーカヤック艇庫を建設。

事業成果

コロナ禍のため、令和3年活動を令和4年に延期し、下記の成果を得た。実生群ポット苗の植栽、次年度用の植栽地の整備、実生群ポット苗の養成。水源林の育成木施業のためのトドマツ林の調査と伐倒、馬搬。集材したトドマツ

の玉切り、簡易製材機による製材、前回の活動で建設した柱と梁への屋根部分の施工。

事業をよく知る関係者の声

- ・活動時期は、島の2大産業である観光と漁業の繁忙期に当たり、本活動に協働するのは困難な時期である。しかし、仕事の合間に時間を割いて活動に参加していただけ。天売島を行政区とする羽幌町の対岸の方々が水源林造成に関わった。

参加者の声

- ・本活動では、森林科学を学ぶ学生が同行している。コロナ禍にあり、彼らは現場で学ぶ機会の多くを奪われてきた。本活動は、彼らに現場で実践的に森づくりを学ぶ機会となり、提出されたレポートには、現場で学ぶ機会を得ての感謝などが熱く記されている。



ポット苗



防草シートを敷設したところにポット苗を植える



トドマツ林の間伐



馬による木材搬出

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
 植付本数：235本
 下刈面積：0.1ha
 間伐面積：0.5ha
 森林資源活用：20m³

参加者数

道内：82人
 道外：2人
 計：84人

樹種

自生広葉樹20種

森の笠地蔵プロジェクト2021

岩手県遠野市



事業概要

間伐材の薪利用の普及拡大と、薪を自力で調達するのが困難となっている一人暮らし高齢者の支援を行う。主な活動は以下のとおり。①森林ボランティアと間伐・造材・集材・搬出・薪づくり及び薪棚整備、②自力で薪調達困難な高齢者の調査、③自力で薪調達困難な高齢者の家に薪を無料で配達、④本事業を広げるためのチラシ作成、⑤森林整備や薪利用の意義をホームページで発信。

事業成果

これまでも森林整備を行い間伐材を搬出し薪にする資源化を行って来たが、薪の入手に困っている高齢者への薪の配達という新たな試みにより、薪づくりのボランティア参

加者も増加し、また、社会福祉協議会の各地域相談員との協力関係も生まれ、森林整備と福祉という新たなネットワークが生まれた。

事業をよく知る関係者の声

・市内には、薪ストーブを使い続けている高齢者が多く、このような事業はありがたい。(遠野市社会福祉協議会職員)

参加者の声

・夫が去年亡くなって、薪をつくれなくなり困っていた。ありがたい。(70代女性)
 ・体を壊して薪づくりできなくなったので助かっている。(80代男性)



間伐



間伐材の搬出



薪づくり



高齢者宅に薪を配達

実績とりまとめ

作業内容

間伐面積：20ha
 薪づくり：13回
 薪棚づくり：12回
 薪配達：19回

参加者数

県内：837人
 計：837人

栗原市行者の滝周辺「癒しの森」植樹活動

宮城県栗原市



事業概要

栗駒山地に地震による大崩落の後、行者の滝周辺の地が工事のための土砂置き場になっていて、草木も生えない荒れ地になっていた。その場所に地元で育った苗や、地域の山でドングリから苗を育て植樹、この地を癒しの森に復元するための活動である。

事業成果

年々増え続けている植樹面積を下刈することは、大変な作業であり苗を誤って刈り込んでしまうということが多々ある。対策として苗のそばにタケを立てる作業を試みた。排

水路増設とイノシシ対策として、テープを植樹周囲の林に取り付けた。

事業をよく知る関係者の声

- ・市が行わなければならないことをしていただき感謝している。(栗原市長)

参加者の声

- ・植樹回数が進むにつれて、下刈面積が増えて作業が大変である。植樹は楽しく、これからどのように育つか楽しみ。



植樹地の整備



ブナ、ミズナラほかを植樹



下刈



イノシシ対策のテープ張り

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
植付本数：300本
下刈面積：0.9ha
排水路作成：3回

参加者数

県内：125人
県外： 2人
計：127人

樹種

ブナ、ミズナラほか

プロジェクトD(どんぐりプロジェクト) 福島

福島県郡山市



事業概要

東日本大震災による津波で被災した森林を回復させるべく、日本環境協会が主催となって被災3県で採取したどんぐりを全国の方々に苗木まで育ててもらい、苗木を国有林等へ植樹する活動。本学は福島ふれあいの森で当初から協力していた縁があり、日本環境協会から郡山女子大学へ「プロジェクトD」を引き継いでいる。年に4回の活動(下刈+枝払い各2回)を実施している。

事業成果

SDGsに関心のある方に広く声をかけたところ、リコージ

ヤパン福島支社からも協力を得られた。

事業をよく知る関係者の声

- ・令和4年6月の開催では、幅広く(全教職員・環境サークル・ボランティアサークル・SDGs活動をしている生徒・SDGs活動に熱心な企業)声をかけたところ、多くの人が参加し有意義な活動となった。

参加者の声

- ・ボランティアで交流ができて良かった。(リコージャパン)
- ・蒸し暑くて大変だったが、いい汗が流せた。(教職員)



作業方法の指導



枝払い



作業に参加したみなさん



どんぐりプロジェクトの発表

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：2.46ha
裾枝払い：2回

参加者数

県内：50人
県外：2人
計：52人

「協力隊の森」事業

茨城県常陸太田市



事業概要

1993年に旧里美村（現常陸太田市里美地域）とフィリピンのトレニダッド町と姉妹町村提携を結んだ。以来、ホームステイを通して国際交流が行われたが、2004年、常陸太田市との合併で終焉となった。その後、住民などから活動を懐かしむ声が聞かれたため、OVらが中心となり約2haの植林を開始。今年で14年目の「協力隊の森」事業だが、市の天然記念物サトミイワナが植林地の下流域に生息することから、落葉広葉樹林による森林群落を整えている。

事業成果

荒廃地は地拵えを行ったことにより、植林を通して樹木学習などの植樹活動が実施された。多種多様な樹種を植えることにより、樹木特徴や森林生態系について学ぶことができた。今後の中学生や高校生の森林環境学習や水域生態系研究フィールドとしても使用されることで、次世代への

環境教育の拡大を確認した。

事業をよく知る関係者の声

- ・植林後の森林セラピーでは気持ちでリフレッシュできた。(50代)
- ・植樹活動の一環としてジビエ料理も食しながら、森や水などの生態系の営みについては会話も盛り上がり、環境教育を見つめ直すきっかけを得た。(30～70代)

参加者の声

- ・密植植林に興味を抱き、毎年その成長を見守ることに大きな喜びを感じた。(70代)
- ・植林を行うことが初めての参加者は感動の様子だった。(30代)
- ・参加者の意識の高さに驚き、環境についての話題に大いに盛り上がった。(50～70代)



ミズナラ、ヤマボウシほかを植樹



ていねいに作業



除伐



森林整備

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.4ha
 植付本数：750本
 下刈面積：0.5ha
 除伐面積：0.3ha
 生物調査：3回
 森林教室：2回

参加者数

県内：91人
 県外：10人
 計：101人

樹種

ブナ、ミズナラ、ヤマボウシ、イロハモミジ、クヌギ、トチノキほか

トトロの森と狭山丘陵周辺緑地での里山保全事業

埼玉県所沢市、入間市、東京都東村山市、東大和市、武蔵村山市



事業概要

生物多様性保全を行うため里山環境を再生し、この様な活動を普及し、経済・人員の支援に繋げ、持続的な里山管理をめざす。そのために下記の内容を行った。①里山管理ボランティア「何かし隊」、地域の協力団体を中心とした里山管理作業を行った。また各団体の自立に向けた基盤整備として、作業道具の確保、作業環境の整備、安全管理と里山管理の技術向上のための研修会を開催した。②危険・支障木等の処理の講習を受講した。③新たなボランティアとそのグループ確保のためのトトロのふるさと基金の活動の理解と普及啓発活動を行った。④裸地化してしまっている土地に関しては、樹林地再生のため所沢市、地域の学生と共にアカマツの植樹活動を行った。⑤ナラ枯れによる森林の荒廃を防ぐため、トラスト地全域を定期的に状況調査を行い、トラップなどを使った対策を行った。また、将来的なナラ枯れ対策という観点から萌芽更新作業も1000㎡行った。

事業成果

様々な普及啓発活動により新たなボランティアの協力と新規トラスト地を得ることができている。危険木・支障木の扱いについては、将来的に自前で処理できるよう、職員が初心者用樹上作業講習を受講し、一定の技術を身につけた。

事業をよく知る関係者の声

- ・トラスト地になる森は、高度成長期に管理が放棄されたものが多く、伐採作業に必要な用具と使いこなせる技術者が必須です。そして安全に作業するための講習や、道具類の補充や修理費用も欠かせません。(当基金評議員)

参加者の声

- ・「自然との共生」を安全に実行できるための心構えと道具の使い方と維持管理を学び、日々の生活に活かされている。(何かし隊40代男性)



「何かし隊」による下刈



湿地環境保全（両生類産卵場作成のための掘削）



落ち葉掃き



ナラ枯れ対策のためのチップ化作業

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.04ha
 植付本数：9本
 下刈面積：8ha
 除伐面積：8ha
 間伐面積：8ha
 看板設置：2基
 ナラ枯れ調査・防除対策

参加者数

計：683人

樹種

アカマツ

自然と人とのつながりを再構築する「大房岬 遊びと学びの森プロジェクト」

千葉県南房総市



事業概要

2019年の台風被害にあった森の回復を、人の手を入れながら、多様性のある森へ育てていくための整備活動を行った。森づくりや伐採木の活用に興味がある方に参加してもらいながら、人と人、人と自然の関係性の構築に務めた。また、作業だけにとどまらず、子どもたちが学習できる活動になるようプログラム開発を行い、実際に体験してもらうような体制をつくった。

事業成果

SDGsをテーマとした森と海をつなぐ体験する学習プログラムを開発した。実際に教育旅行の受け入れとして学校にプログラムを体験していただいた。薪ストーブユーザーが森の整備活動を行い、そこで出た間伐材や伐倒木を

燃料として活用してもらった。森づくりのための土壌改善のノウハウを地域の方に向けて発信できた。安全に作業できるよう講習会を開催し、参加者がボランティアとして関わられるような仕組みができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・作業するだけでなく、どういったポイントに気を付ければ木にとって良い環境をつくれるかを学びながら参加できた。

参加者の声

- ・海と森はつながっていること、木の成育には土の環境が関係していることを実際に体験しながら学ぶことができた。森に棲む生き物と自分たちの生活のつながりについて学ぶことができた。



土壌環境調査



森の整備活動



森に親しむイベント「ツリーイング」



中学生の森づくりプログラム

実績とりまとめ

作業内容

除伐面積：2ha
森林体験：15回

参加者数

県内：772人
県外： 5人
計：777人

ちば里山 都市近郊の集える憩いの森づくり

千葉県千葉市



事業概要

大規模開発で残された放置林を土中環境を基に環境改善を進める。①タケ類の適切に伐採して竹炭をつくり、土中環境改善に利用。②崖地、道路に空気の水の通り道を土中環境に竹炭や枝を利用して、排水でなく大地に浸透させる。③近隣住民に、ごみ捨て、産廃物放置、森の環境再生などに目を向けてもらうようにした。

事業成果

環境改善の認識を広め、遊歩道散策者からの声掛けなどからも、ただ草刈りをしているのではなく、竹炭を使って、土中環境の空気や水の道をつくり、浸透させることが、森を

生き生きさせることがわかった。

事業をよく知る関係者の声

- ・奥山の改善と共通する内容が都市近郊の里山でも十分活用できる。基礎的な土中環境のレクチャーを作業前にできると良いのではないかと。

参加者の声

- ・ただ穴掘りをするのではなく、環境への配慮や土中の環境を知ることができた。また自分の家の庭も同じこととわかり、さっそく自宅の庭、近くの公園などから改善していきたいと感じた人が多い印象だった。



落ち葉集め



落ち葉ステーション



森林整備



竹炭づくり

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：38本
道の段切り：45m
竹炭づくり：24袋

参加者数

県内：76人
県外：41人
計：117人

樹種

コナラ、クリほか

一般市民による湘南海岸林整備事業

神奈川県藤沢市、平塚市、茅ヶ崎市



事業概要

昭和初期から植栽が進められている湘南海岸林において、維持管理をしている神奈川県藤沢土木事務所と連携を取り、海岸林の整備を目的として、①海岸林内のツル切り、下刈、②クロマツの植樹（補植）、③除伐間伐の活動を行った。

事業成果

これまでは維持管理を目的とした草刈り、ツル切りがメインの活動だったが、令和3年度ははじめて植栽（補植）を行った。自分で植えた木に対して愛着をもってもらうことで、自然に親しむ人を増やす機会にもなった。

事業をよく知る関係者の声

- ・毎回、遠くからたくさんの方が来て作業をしてもらっているので、大変助かっている。作業を通じて砂防林の役割を知ってもらえる機会になればいいと思う。（神奈川県藤沢土木事務所）

参加者の声

- ・初めて参加したが、思っていた以上に大変だった。でも達成感も感じられて楽しかった。（30代女性）
- ・砂防林の果たしている役割を学ぶことができた。木を伐るのも非日常な感じで良かった。（40代男性）



クロマツの植樹



下刈



ツル切り



間伐

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1ha
 植付本数：50本
 下刈面積：0.9ha
 間伐面積：2.0ha

参加者数

県内： 58人
 県外： 84人
 計： 142人

樹種

クロマツ

市民参加による森林づくり「山と緑の協力隊」

滋賀県多賀町、長野県上松町



事業概要

かつてマツ林だった高取山ではヒノキの人工林として整備が進められている。この場所で生育している木の維持管理を目的として除伐・間伐などを令和3年11月に実施。今回は間伐に加えて、滋賀県多賀町内の製材所を見学し木材の流過程を学ぶ機会にもなった。赤沢自然休養林（長野県）での活動は令和3年10月と令和4年5月の2回計画したが、新型コロナウイルスの影響に伴い、令和3年10月は中止とした。木曾ヒノキの生育を目的とした間伐・除伐を行った。

事業成果

今年度は高取山（滋賀県多賀町）、赤沢自然休養林（長野県上松町）で合計4日間実施。高取山では当初2日間、間伐を行う予定だったが雨のため、1日は町内の製材所を見学した。参加者からも積極的な質問もあり木材の加工・流通

を知る機会になった。赤沢自然休養林での活動はコロナの影響でこれまで実施できなかったが、今回ようやく開催することができ、活動の再開を楽しみにしていたリピーターも参加してもらえた。

事業をよく知る関係者の声

- ・遠いところから参加していただきありがたい。木材の流通や加工など、林業の抱えている課題を今回の参加者にも考えてもらえる機会になったと思う。(大滝山林組合)

参加者の声

- ・コロナ禍で旅行もほとんどできずにいたので、長野木曾で2日間充実した日を過ごすことができて良かった。(50代男性)
- ・製材体験、歩留りや木取りなど、普段耳にしない言葉を知ることができ、また材木加工の現場体験をすることで、木への愛着がさらにわいた。(20代男性)



間伐



玉切り



製材所見学



製材品について説明を受ける

実績とりまとめ

作業内容

間伐面積：1.86ha

製材体験：1回

参加者数

県内：13人

県外：36人

計：49人

高田松原再生整備事業

岩手県陸前高田市



事業概要

東日本大震災で壊滅的な被害にあった名勝・高田松原（岩手県陸前高田市）。2017年以降は地元NPO団体が中心となりクロマツの植樹も始められている。植えられたクロマツの苗の背丈ほどの雑草も生い茂っているため、マツの生育など維持管理を目的として、除草活動を行った。あわせて震災の様子を学び次世代に語り継ぐことを目的として、地元ガイドと市内の震災遺構を巡り、震災当時の状況や今の復興の様子を学ぶ防災学習も行った。

事業成果

令和3年9月と令和4年5月の2回を予定していたが、令和3年9月は新型コロナウイルスの影響を考慮して開催

を中止した。5月については、人数を限定したうえで草刈りを実施。植樹した木々も順調に生育していることを確認できた。

事業をよく知る関係者の声

- ・コロナのため、ボランティアが集まらない状況があるが、今回も来てもらっていっしょに作業ができて、良かった。除草作業もはかどった。

参加者の声

- ・分たちが植栽した苗木が順調に育っているところを見られて良かった。(50代男性)
- ・除草作業は大変だが、きれいになっていくのを見ると達成感も得られた。(40代男性)



除草作業



参加者のみなさん



防災学習



防災学習

実績とりまとめ

作業内容

除草：0.08ha

参加者数

県内：7人

県外：7人

計：14人

千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の再生事業

千葉県山武市



事業概要

津波被害からの減災や大雨による土砂流出の予防と国民の森づくりへの関心喚起から参加機会の創出をめざし、津波被害林で以下の森林整備事業を実施。

- ・千葉県山武市(海岸防災林) ①下刈(植栽エリア4ha)、②間伐・枝打ち:中止(オミクロン株の急速な拡大のため)

事業成果

新型コロナウイルスによる影響で、広く市民が参加するボランティア活動を展開していくことは困難だったが、県内企業ボランティアの受け入れを積極的に行ったことで、滞りなく作業を終えることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティアで植えた苗木が成長していることが分かる、参加して良かったと実感する。(社員ボランティア担当)
- ・きちんと手入れを続けてくださっているお陰で、苗木が大きく育ってきた。(行政関係者)

参加者の声

- ・プロでなくても参加できるボランティア機会がうれしい。暑くてもがんばりました。(40代男性)
- ・人の手が集まると広い面積が刈り終わる。その場に立ち会えると嬉しくなる。(50代男性)



下刈



木を傷めないように作業



下刈作業後



海岸防災林

実績とりまとめ

作業内容
下刈面積：4ha

参加者数
県内：52人
県外：32人
計：84人

八王子市上川の里特別緑地保全地区の整備事業

東京都八王子市



事業概要

手入れ不足から照葉樹林化が加速している人工林の伐採と地拵えを行い、暗い森から明るい森へと再生させている。以下の事業を行った。①除間伐と支障木の伐採・整理。②未整備のエリア2haの除間伐と支障木伐採と整理、枝払い、ツル切り。③伐採木の利用。階段や落ち葉ストッカー等に利用した。土砂流出の可能性のある場所への立ち入りが困難となったため土留作業は中止。

事業成果

伐った木の利用までを一連の流れとしたボランティア活動へと変化を見せている。

事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティア活動を通じて、報道で目にする土砂災害が森づくりと密接な関係にあるのだと理解できた。(一般参加者)
- ・従業員の環境意識を高めたく参加した。地道な取り組みだが、長く関わりたい。(企業CSR担当者)

参加者の声

- ・自分たちで伐った木を使って山の手入れができるのはうれしい。(40代女性)
- ・子どもの学校の授業でSDGsを勉強していると聞いて、実践的なことをしたくて参加した。(30代男性)



森林整備



支障木を除去



伐採木を杭などに活用



作業道整備

実績とりまとめ

作業内容

間伐面積：2ha
森林資源活用：600本

参加者数

都内：97人
都外：75人
計：172人

北浅川上流地区の森にホタルを飛ばそう！

東京都八王子市



事業概要

目的は、森林内の土壌改善を通じて沢を復活させ、森全体を健全化させるとともに水源かん養機能を高めながら生物多様性の高い豊かな森を創出する。主な活動は、①沢水の流れを停滞させている箇所を枝や土砂等の除去、②沢周辺の法面で表土が流出しやすくなっている箇所に、枝葉を利用して小規模な土留めを作成、③炭や有機物を活用した土壌改善、④溝や穴を掘ることでの大地の呼吸口づくり、⑤活動エリアの危険木等の伐採等。

事業成果

枯れた沢の両側斜面に入って簡易な作業道をつくったり、林床に散乱した落枝等を用いた雨水を大地に受け止めるための造作を広範囲に進めた。法面に通した簡易な作業道脇に溝を掘ったり道沿い法面に土砂崩落を抑えるための点穴づくりなどの造作を地道に続けた結果、沢底まで崩落して

堆積してしまう土砂の流出を大幅に抑えることができ、長く雨が降らない時でも、水が残り続ける場所なども現れてきた。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林再生や生物多様性の創出のため、場当たりの生きものの放流をせずに環境そのものを改善していこうという会の活動は高く評価している。環境問題を語るだけでなく身近な場所から行動に移している点が素晴らしい。(環境活動団体)

参加者の声

- ・手作業で、こうした取り組みをして来たのを見て、すごいと思った。沢水の詰まりを取って流す作業をしたが、人が手を加えることで良くなる。こうした取り組みが、もっと広がっていくといいと思った。(40代編集者)



広葉樹を植樹



沢の整備



法面の整備



階段づくり

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：20本
地拵え等：20回

参加者数

都内：170人
都外：49人
計：219人

樹種

落葉広葉樹

自然と森を学びながら行う富士山南麓の森林復元活動

静岡県富士市



事業概要

静岡森林管理署との協定に基づき、富士山南麓の国有林を天然林に復元する活動。1996年に台風被害を受けたヒノキ人工林跡を広葉樹林に戻すための維持管理、保育活動。遷移を進めるために天然林の構成樹種を補植する。補植に使用するために天然林から種子や山取苗を採取、苗木の育成を行う。季節に応じて春期に補植、夏期に下刈・ツル切り・低木類の刈り払い等、秋期に種子採取、通年の保育作業として苗木の育成、土壌保全等を行う。同時に環境教育の効果に合わせて持った活動にすることを目標としている。

事業成果

新たに企業から社員ボランティアの打診がある等、いく

つかの新規問い合わせがあった。柔軟に対応して継続的な活動参加、協力関係に結びつけていきたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・新型コロナの影響により学校主体の行事や活動は大きく影響を受けてしまう。一方、外部で継続的に活動を受け入れている団体があることは、その団体の受け入れ状況に応じて相談をできるため、参加しやすくありがたい。(東京農業大学教員)

参加者の声

- ・進路を検討するため様々なフィールド活動に参加している。話を聞くことができ参考になった。(高校生)
- ・家族で楽しく学び活動ができた。(40代会社員)



種子採取



参加者が育てた苗木の仮植え



低木間伐と下刈



自然林での学習活動

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.3ha
 植付本数：350本
 下刈面積：0.6ha
 除伐面積：0.6ha
 自然観察会：4回

参加者数

県内：19人
 県外：142人
 計：161人

樹種

広葉樹23種

世田谷・川場上下流連携の森林活性化事業第II期

群馬県川場村



事業概要

放置されている群馬県川場村内の人工林を下流域の東京都世田谷区住民が地元の地権者等の村民と協力して整備する。主な活動は、①地元住民と協力した除伐・枝打ち・間伐、②植林後の低木育成のための下刈、③間伐材を燃料に。近くにある広葉樹や竹林・マツ林の整備で発生する材を原料として炭焼きならびに地元で計画されているバイオマス利用への協力、山間地散策路整備への材料提供・作業協力等による「循環型」の森づくりのサイクルの完成。

事業成果

川場村で進められてい間伐竹材のバイオ肥料づくりへの

協力である竹材の粉碎機による材料づくりが進展した。新たな間伐材利用方策として保養施設(世田谷区民健康村)近くの林間散策路整備に間伐材を提供するとともに道づくりを実施した。ただ、コロナの影響で参加者が大幅に減り、地元との共同作業も中止となった。一方、地元森林組合の指導で大型機械との連動作業の研修会を実施、一定の間伐実績が残せた。

事業をよく知る関係者の声

- ・村で推進しているバイオ肥料づくりへの協力に感謝している。(川場村村長)
- ・散策路づくりへの材料提供と参加は大変に助かっている。(世田谷区民健康村所長)



下刈



森林整備



道づくり



竹材処理

実績とりまとめ

作業内容

間伐本数：10本
下刈面積：0.8ha
除伐面積：0.4ha
間伐面積：0.8ha
木炭づくり：2回

参加者数

計：99人

都市近郊の新しい里山づくり

東京都八王子市



事業概要

大都市近郊の里山が放置されたままになり、対象地も近隣の人々が近づかなくなっている現状を、森林の手入れをする事で解決したい。①その一歩として、繁茂し過ぎたササを駆除する必要がある。②タケの繁茂で、里山が暗くなりかつ生態系が壊れているのでタケ伐倒が必要。③伐倒したタケの処理、その方法としてタケ粉碎とタケベンチを作成。④タケを伐倒してできた空き地に、元の植生であるコナラやクヌギなどの苗木の育成。⑤高齢木が多くなり、枯れ木も増えているので、森林の若返りと里山としての美化作業。⑥地域の人を対象地に関わり、今後の森林文化を成熟させたい。

事業成果

ササ刈をした所が、再度ササが出てきたので草刈機で払う。伐倒したタケは自治体の規則で緑地の外に出せないで積み上げた。タケベンチを製作、防腐のため焼入れをし

た。広葉樹の苗が育ち、大苗植林の準備ができた。高齢木の伐倒は特殊技術が必要で、その段取りができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・きれいになり散歩しても気持ち良くなった。タケベンチは金具を使わない凄い技術だ。(近隣住民)
- ・八王子市だけでなく全国的な里山手入れのモデルになると思う。(イベントプロデューサー)

参加者の声

- ・刈った後すぐにササが生えて来て、これはどうなるのかと思ったが、2～3年経つとササが弱まるのが少しずつ実感できている。
- ・伐倒が進んで斜面がだいぶ明るくなった。しかし明るくなると草がすごく生えてくることも分かった。
- ・近所の人たちに声かけし、なるべく地域の人間で管理していけるようなシステムを整えられたらと思う。



ササ刈



高齢木の伐採



高所での作業



林内が明るくなってきた

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：5ha
除伐面積：5ha
間伐面積：2ha
竹材によるベンチ製作

参加者数

都内：200人
計：200人

秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と保全

埼玉県秩父市



事業概要

荒れた里森を整備し、山野草豊かな森、ホタルの棲息する多様性豊かな森づくり活動を、地権者、地域住民と交流を深めながら取り組む。①月2回の定例活動日、②人工林(スギ)の除伐、林床整理、③湧水路の整備とホタルの放流、④竹藪を除去・地拵え、一般参加者とともに広葉樹の植樹会を開催、⑤一般参加を呼びかけ、タケ・除伐材を使ったイベントや対象森林の視察・調査を兼ねた観察会を行った、⑥地域物産まつりの実行委員会との交流などを進めてきた。

事業成果

「竹鉢づくり」「水てっぽうづくり」「ブンブン独楽をつくって遊ぼう」など親子参加の体験会、除伐地を地拵えして

「植樹会」を行った。

事業をよく知る関係者の声

- ・ 藪化していた林地もツル植物の除去や生育不良木の除去が行われ、林床に光が届くようになった。水はけの悪かった林床もだいぶ改善された。複数の活動で親子の参加があったことも意義深い。継続性のある体制を築くことが課題と思う。(森林インストラクター)

参加者の声

- ・ 里森について何も知らずに入会し、少しずつ勉強している。これからも、先輩会員の作業を見習いながら、技術を身に付けていきたい。



除伐



広葉樹を植樹



ノコギリを使うのは初めて(竹鉢づくり)



「竹鉢づくり」「水てっぽうづくり」に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：20本
除伐・下刈面積：0.6ha
イベント：7回

参加者数

県内：10人
県外：120人
計：130人

樹種

ヤマザクラ、トチノキ、カツラ

相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動

神奈川県相模原市、東京都小金井市、江東区



事業概要

中高生が主体となって、放置林の間伐・枝打ち作業を行った。さらに拡大するニホンジカの本対象地での影響を調査するためにセンサーカメラを設置し、継続的にモニタリングした。またこれらの成果物を中心に、紹介動画、森のVR体験などをエコプロ2021「森と木で拓くSDGsゾーン」に出展した。

事業成果

台風崩落地と周辺放置竹林を整備し、100㎡と狭い範囲であるが、センダンを植樹した。また、小金井市環境政策課の事業を受け、計4回の森林体験、間伐材搬出体験を実施、材は市施設を中心に成果物を寄贈するために活用した。

事業をよく知る関係者の声

・多くの若者が森に定期的に通い、間伐などの森林整備を行うだけでなくその間伐材を自分たちで活用し社会に実装させることで、中学生、若者の社会に対してポジティブな影響を与える能力や意志が育成されると同時に、新しい森林の活用のある方を提示している。(東京学芸大学教授)

参加者の声

・長い時間かけて頑張ったので達成感があった。今回の活動で木の伐るコツを学んだり、自然の恵みや凄さを感じた。日光の当たる部分を増やして、木が大きく成長してくれたら良いと思う。(中学1年男子)



森林整備



間伐



枝打ち



環境展に参加

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：30本
間伐面積：2ha
木工製作、積み木イベントほか

参加者数

県内：55人
県外：490人
計：545人

樹種

センダン

都市の里山資源の活用推進事業

神奈川県横浜市



事業概要

都市の里山保全活動では、活動によって産出する間伐材や樹林地内の植物等が資源は、自団体が活用する他ほとんど活用されていない。持続的な里山保全及びその活動を推進するため今年度は、当会が活動する川井特別緑地保全地区のボランティア、スタッフ、一般参加者を対象にグリーンウッドワークにかかる入門講座及び、グリーンウッドワークで使用する「削り馬」づくりワークショップを開催した。

また、当該団体の定例活動日である第2、第4日曜日に、木材の伐採、定例活動として樹林地整備や製材作業を継続して実施した。

事業成果

昨年度習得したグリーンウッドワークによる生木の活用技術の取得、今後この技術を活かした講習会の開催などに向けた、準備を行うことができた。ウマの整備、講習方法の習得など。

事業をよく知る関係者の声

- ・生木から完成品をつくり上げ、ものづくり体験として完結できている。
- ・間伐材を使用しており、地産地消を実現している
- ・フィールドで自然を感じながら活動できた。今後の課題は、①道具を拡充する、②講師のスキルアップ、③作品実例を増やすなど。これらよりWSが活性化する事により、森づくりNPO活動の安定化につながると考えられる。(担当者)

参加者の声

- ・生木を加工するので、材料となる木材の特性を活かす点に魅力を感じた。木を削るときには集中して無心になれる。(50代男性)
- ・複数の講師がいたため、作業中にわからないことなど、きめ細かに指導してもらえた。(60代男性)



ミズキの伐採



木作業の台「削り馬」づくり



「削り馬」を使って木工作



草刈り

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：5.4ha
除伐面積：5.4ha
間伐面積：5.4ha
研修会：2回

参加者数

計：393人

山北町丸山地区森林整備

神奈川県山北町



事業概要

整備地は小高い山の斜面で30年生以上のカシ類が多く未整備な森林である。カシ類の実生木が多く林内に乱立している、これらを間伐や枝降しを行い森林の機能回復を図る。年間2回草刈りを行う。学生達のチェーンソー作業体験として薪づくりを行っている。

事業成果

令和2年3月に山北町丸山地区整備隊を結成して活動を行っている。もともとここで活動していた「森友」の学生への森林整備活動の指導を兼ねていて、いつコロナ禍が終っても指導できるように体制を整えている。幸い今年4月より学生の参加が始まり体験と指導ができるようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・雑然とした森林が活動の回数や年月が経過するごとに見違えるほど森林になってきた。(山北町職員)
- ・コロナ禍により学生達が参加できず今後は非常に心配、山北町丸山地区整備隊の方々の高齢化も心配される。(森林ボランティア団体職員)

参加者の声

- ・常緑広葉樹の伐採は樹間上部の枝絡みやツル絡みでロープワーク作業をしないと難しく危険だ。(経験者)
- ・斜面が急峻でまともに歩けず滑りやすい、このような所での間伐や除伐作業は安全に充分気を付けたい。(経験者)



カシの伐採



協力して安全に伐倒



森林整備



機材整備の研修

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.9ha
伐採本数：54本
チェーンソー体験：1回

参加者数

県内：39人
県外：65人
計：104人

親子が安心して遊べる「フーのきの森」整備

新潟県魚沼市



事業概要

当施設「絵本の家ゆきぼうし」の一部である「フーのきの森」を訪れた親子が安心して遊べるような森の整備である。主な活動は以下のとおり。①団体メンバー、ボランティアによる工事前の除草・伐採作業、②工事前の森の環境・生物現状把握のための観察会、③団体メンバーとボランティアによる池の環境整備、④森と池周りの安全面を考慮した環境整備工事、⑤森の環境・生物の変化調査のための観察会。

事業成果

森の奥に入るための作業道、新たに周回コースができ、森で遊びやすくなった。また作業道具の搬入が容易になり森の環境整備がしやすくなった。道が細くなり危なかった池の間の道が、工事により足場が固められ、子ども達も安心

して通れるようになった。来年度に向けての依頼も増えた。

事業をよく知る関係者の声

- ・貴重な動植物が生息している良い森。今回、森と池周りの安全面での環境を整えたことで、今までよりも安心して、子ども達も遊べる。地元の人でも、ここを知らない人もいたので、そのアピールをもう少しできるとより良いのではないか。(魚沼自然大学)

参加者の声

- ・池の周りだけでもたくさんの生き物がいるのがわかった。(小学生)
- ・池の整備は胴長を履いて池の中に入ったら、だんだん楽しくなって、みなさんと協力しながら、楽しく整備ができた。(ゆきぼうしスタッフ)



池の整備



下刈



歩道整備



動植物観察会

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：4ha
 除伐面積：4ha
 森の観察会：2回
 作業道づくりと補修

参加者数

県内：50人
 計：50人

丹波山みんなの森づくり・防災事業

山梨県丹波山村



事業概要

事業の実施場所は急峻な箇所やがれ場があり、崩れる恐れがあるため、どのような整備をすべきか専門家の意見を取り入れながら、住民、企業が連携して防災の森づくりを行う。また、体験を通じた森の利活用や生業づくりをめざす。主な活動は以下のとおり。①1年目の現状評価及び森林全体の整備・活用方針を具体化する全体デザインの検討、②遊歩道の改修計画の策定・実施、③防災を目的とした森林整備、④枝葉を活用した精油の抽出等に関する勉強会、⑤間伐材を活用した木製品製作ワークショップ。

事業成果

防災の森づくりを専門家や住民や企業等と共に進めることができた。また、森林の利活用、生業づくりとして枝葉

を活用した精油の抽出などの事業も進み、商品化まで進めることができた。作業歩道とともにながれ場の崩れ防止が進んだ。

事業をよく知る関係者の声

- ・丹波山村を知る良い機会になった。(企業担当者)
- ・枝葉がお金に代わるとは思っていなかったので新たな可能性を感じた。(林業者・蒸留所)

参加者の声

- ・プロによる間伐施業地を見学し、森の循環とその果たす役割を学べた。小さな力が今は必要だと感じた。(企業参加者)
- ・整備された森にすがすがしさを感じた。(企業参加者)



検討会



作業道整備



作業道整備後



木材活用ワークショップ

実績とりまとめ

作業内容

ヒノキ枝葉：約70kg
 横木用木材：300本
 歩道整備：約226m
 木材活用WS：1回
 蒸留勉強会等：4回

参加者数

県内：67人
 県外：70人
 計：137人

間伐整備活動で取組む三河湾の生態系の保全

愛知県安城市、岡崎市、豊田市



事業概要

愛知県三河湾の約41%の干潟が失われた。栄養分と良質な砂を持続的に供給する森づくりを目的に間伐整備に取り組む。

事業成果

愛知県岡崎地区私有林で54回、豊田市羽布町県有林の間伐整備活動を1回実施した。また、会員の安全性の確保と間伐技術スキルアップを目的とした研修会を2回実施した。

事業をよく知る関係者の声

・間伐こもれび会は、年間（週1回）を通して間伐活動を実

施している。熱中症対策として一部会員は空調服を使用しているが、参加者全員の熱中症対策が必要だ。（会員）
 ・参加者のための貸し出し用の安全装備等の充実が望まれる。（会員）

参加者の声

・環境保全の重要性やSDGsに関する知識や興味はあった。間伐整備作業の現場を親子で体験できたことは大変良かった。（50代主婦）
 ・間伐作業体験者のSNS等に上げられた感想や画像・動画を見て、活動を知り間伐体験に参加した。初めての体験ばかりで新鮮だった。（40代主婦）



間伐



間伐材搬出



作業道新設



間伐材でつくった積み木を保育園に贈呈

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：5.18ha
 除伐面積：5.18ha
 間伐面積：5.18ha
 森林資源活用：130㎡
 作業道整備：200m
 ワイヤー設置：150m
 講習会：2回
 イベント：5回

参加者数

県内：238人
 計：238人

資源利用と環境学習によるやまんばの森再生

滋賀県米原市



事業概要

放置された里山を持続的に保全するため、森林資源を薪等として積極的に循環利用するとともに、森林環境学習・自然体験により将来の人材を育成した。また、老朽化した環境学習等の拠点施設の修繕を行った。

事業成果

除伐作業において、会員が刈払い機で行ったところ、キックバックが起きることがあり、注意深く行う必要があった。また、ガールスカウトなど小学生であっても手ノコであれば安全に除伐作業を行うことができた。今年度も滋賀県内において何度かコロナ感染拡大の波があったが、相互に感染予防措置を行ったことでクラスターの発生はなかつ

た。

事業をよく知る関係者の声

- ・墓等を損傷することなく伐採を行っている状況を見て信頼感が生まれた。また、隣接する保育施設に影響を与えそうな所有地の樹木伐採の依頼にしっかり応えたことで大変感謝された。

参加者の声

- ・高所伐採を含めチェーンソー作業に関心のある若手会員が、安全技術を習得したうえで、もっと積極的に参加したいと思うようになった。米原市に移住してきた薪ストーブユーザーが新たに会員となり、楽しく活動に参加している。(会員)



高所での枝払い



除伐 (森林環境学習)



竹材の運び出し (自然体験)



施設の修繕

実績とりまとめ

作業内容

間伐面積：1.1ha
 森林資源活用：軽トラ48台分
 施設修繕：2回
 高所伐採作業：10回
 自然体験：5回
 森林環境学習：2回

参加者数

県内：324人
 計：324人

放置竹林を生産性のある竹林モデルに変換

京都府木津川市



事業概要

放置竹林を整備して、タケノコを生み出してくれる竹林にし、タケチップや竹炭などを作り生産性のある竹林に改革していく。ボランティアグループで月に2回以上を目標にタケの間伐を行い、竹炭や竹チップを生産している。また子どもたちにも竹林風景に親しんでもらうように竹林内にタケでブランコやツリーハウス、ターザンロープを設置してイベントを開催している。

事業成果

竹のブランコ製作、原木シイタケ栽培や竹炭やタケチップ

の製作およびイベントでの参加者増など。

事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティアに来てくれる若者は増えたが責任をもって会の運営を考えてくれる後継者がいないのが課題。(理事)

参加者の声

- ・整備された竹林は気持ちが良いし、癒し効果がある。子どもを連れて時々遊びに来たい。(イベント参加者)



タケ伐採



竹炭づくり



遊具づくり



ターザンロープで滑る

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：10本
下刈面積：1.2ha
間伐面積：1.2ha
森林資源活用（竹炭）：0.4ha
イベント：6回

参加者数

府内：317人
府外：158人
計：475人

樹種

サクラ

里山整備事業

兵庫県加東市



事業概要

里山地域の森林整備を実施する。①温暖化の要因であるCO₂の吸収、②森林資源生育、③野生生物の生存エリア確保と植物の生育、④災害発生要因防止、⑤生物多様性維持などを目的とする。当地域では農業・林業が衰退し、過疎化が進んでいる。森林活動を通じて地域の活性化に貢献することを考え活動を実施。

おもな活動は下記のとおり。①下刈、枯木・形状不良木除伐、②雑木除伐・間伐、スギ・ヒノキの間伐など。

事業成果

本年度は前年実施分に隣接する森林整備を実施する。ヒノキ・スギの間伐よりも繁茂した雑木・雑草の下刈、倒木、

雑木除伐、形状不良木除伐が主たる活動であった。今回の森林整備により森林機能が回復され、地域活性化に寄与できれば良いと考える。間伐材の有効利用先をさがしている。

参加者の声

①生物調査

林内(ため池含)生物調査は他団体との協同実施を考えたがコロナ禍で見送り、自団体のみで実施した。生物(野鳥、カエル、ヘビ、昆虫、野草ほか)の確認と野生動物(イノシシ、シカ)が住居域へ出没しているのを確認した。

②森のようちえん

昨年に引き続きイベントを実施予定であったが、コロナの影響もあり活動を自粛した。



森林整備



下刈



林内で見られるエビネ



地域の活性化をめざして活動

実績とりまとめ

作業内容

- 植付面積：2.5ha
- 樹勢回復：7000本
- 下刈面積：2.5ha
- 除伐面積：2.5ha
- 除伐本数：6000本
- 間伐面積：2.5ha
- 間伐本数：300本
- 作業路設置：10m

参加者数

- 県内：219人
- 計：219人

樹種

スギ、ヒノキ、広葉樹

矢田山の憩いの場とする豊かな自然の森づくり

奈良県奈良市



事業概要

活動の場所は県立矢田山遊びの森の芝生の広場に続くハイキング道であり、多くの利用者が訪れる玄関口でありながら、沿道沿いは枯損木が残っていたり、雑草が繁茂していたりと景観を悪くすると共に危険な状態でもあった。活動内容は主に、下刈、ナラ枯れして倒木となると危険な枯損木処理で、公園開設ときに植樹したモミジなどを残し景観回復に努めた。間伐で出た木材は薪やクラフト製作の材料として利用した。また、森林環境教育の講座を実施した。

事業成果

ナラ枯れの枯損木処理や広範囲の下刈の実施、今まで気づきにくかった谷筋の整備なども合わせて行った。年々枯損木の伐採の危険性・難易度が上がる状況であったが、メ

ンバーは伐採や工具の取扱いスキル、チームワークの向上をしながら安全に作業ができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・谷全体を見渡しても明るく陽が差し込み、野鳥が観察しやすくなり森林環境が改善された。伐採木を利用して公園管理棟での薪を使った暖房利用が進み灯油代の節約につながった。(公園管理者)

参加者の声

- ・定期的に整備をすることでこの谷に愛着が湧くようになってきた。
- ・明るくなった谷筋は気持ちがいい。
- ・作業中にハイカーさんから感謝の声を聞くことができ、やりがいのある活動になった。



枯損木の処理



モミジを補植



下刈



環境教育講座

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
 植付本数：40本
 下刈面積：2.1ha
 間伐面積：0.4ha

参加者数

県内：186人
 県外：9人
 計：195人

樹種

モミジ

根来山げんきの森再生事業

和歌山県岩出市



事業概要

活動する森林公園では2020年からカシノナガキタイムシによるコナラの枯木が目立ってきた。歩道への倒木や落枝の危険や、景観上の問題がある場合は、安全面と景観面に配慮した枯損木の処理を行った。伐採したコナラは木炭や薪として活用した。また、子どもたちを中心にコナラが枯れた森の再生を考えてもらうため、クヌギの植樹を行った。特にこの森は県内唯一とっていいオオムラサキ生息地であるが、カシナガ被害木の樹液はタンニンが多く混じるため樹液に昆虫たちが集まらなくなる。それら昆虫たちの新たなエサ場としてクヌギ林の育成をめざした。

事業成果

県木炭共同組合会長の協力を得て満足の得られる炭窯を完成することができた。これを活用して、コナラ枯損木を活用し、月1回の木炭生産と薪の生産を増やしている。炭と木炭はコロナ下でのキャンプ利用が盛んになり、販売利

用も大幅に増加してきた。また、カシナガ激害地の復元のためクヌギを植樹した。これらの活動を通して公園利用者に里山での生命の営みと、昔ながらの里山利用についての理解を深めていただくことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・良い窯をつくったので、これを活用して良い木炭を焼いてほしい。スタッフは熱心な人たちが揃っているので期待できる。(県木炭共同組合会長)

参加者の声

- ・森の作業は危険が多いので安全に気をつけながら進めていきたい。整備された森は気持ちが良い歩いていて楽しくなる。(60代ボランティア会員)
- ・クヌギの植樹は穴を掘るのが大変だった。がんばってササを刈って木を植えた。大きくなってたくさんのオオムラサキが飛ぶようになってほしい。(小学生男子)



クヌギの植樹



被害木伐採



炭窯づくり



枯損木で木炭づくり

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：150本
 枯木処理：42本
 処理木運搬：35m³
 木炭生産：1200kg
 薪生産：7m³
 植樹体験：3回

参加者数

県内：608人
 計：608人

樹種

クヌギ

災害に強く脱炭素社会に貢献する森林づくり

島根県大田市



事業概要

国立公園内にある荒廃林（スギ人工林）を、災害に強く二酸化炭素の吸収源となる持続可能な循環型の森林へと再生すること。主な活動は以下のとおり。①荒廃林の一部を皆伐、スギ苗を1000本植栽、②植栽は、地元小学生及び市民主体で実施、③皆伐に伴う材の搬出用作業道の新設、④小学生向けにはSDGsと森林の役割についての学習会を実施。

事業成果

国立公園内の荒廃林を皆伐し植栽という新たな内容であった。遊歩道に隣接していることもあり、地元の市民は、森林の様変わりに驚いていた。児童及び市民による植栽活動は、ポット苗ということで作業効率が高く軽作業で終了した。児童達は、SDGsと森林の関りを体験を通じて学ぶ機会となった。これらのことにより循環型林業の緒に就くこと

ができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・二酸化炭素吸収との関連での事業は、今日的で意義あるものだ。（森林インストラクター）
- ・ポット苗の効果が抜群で作業性が高った。（林業従事者）
- ・市民が森林整備の一部を担うことができることが分かった。（林業事業体）

参加者の声

- ・体験を通じて、児童と森林の関りの大切さが理解できた。（校長）
- ・遊歩道に隣接した山林がきれいになり嬉しい。（30代女性）
- ・進入路が整備できて車の横付けができ助かった。（60代男性）



荒廃林の伐採



作業道整備



植樹地の整備



小学生がスギを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.5ha
 植付本数：1000本
 伐採・集材等面積：0.5ha
 地拵え：0.5ha
 草刈面積：0.5ha
 片づけ面積：0.5ha
 作業道整備：100m

参加者数

県内：65人
 計：65人

樹種

スギ

番所鼻海岸防災林保全計画

鹿児島県南九州市



事業概要

荒廃した海岸防災林の整備を進めてその機能増進する。主な活動は次のとおり。①ツル切り、侵入竹の除伐を実施したのち、ギャップの生じた空間に植樹、②保健保安林としての機能を増進を図るため歩道98mを整備、休息のためのウッドデッキ等を整備した。これらの活動にあたっては、「穎娃おこそ会」との協働作業で実施するとともに近隣の大川子ども園の子どもたちも参加した。

事業成果

地域の方々との連帯感が醸成されるとともに活動参加者は受益者として海岸防災林保全の必要性の理解が進んだ。

事業をよく知る関係者の声

- ・当該保安林は地域にとって重要な森林であり、かねて外から見ているが、中に入ると想像以上に荒れており、整備を進めることができて良かった。(南九州市都市計画課職員)

参加者の声

- ・いつも見ている保安林の整備活動に参加できてうれしい。(穎娃おこそ会メンバー)
- ・木を植えるのは初めてだけど楽しかった。(大川子ども園園児)



ツル切り



歩道にスギのウッドチップを敷く



子どもたちがマテバシイ、ハマヒサカキほかを植樹



防風垣の設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
 植付本数：180本
 除伐面積：0.4ha
 スギウッドチップ：12㎡
 ウッドデッキ、防風垣作製

参加者数

県内：81人
 計：81人

樹種

マテバシイ、ハマヒサカキ、ヤブツバキ、シャリンバイほか

緑化の推進



緑のまなび事業(豊後大野市立大野小学校)

大分県豊後大野市



事業概要

第45回全国育樹祭関連行事のうち、お手入れ行事が予定されている豊後大野市内でみどりの少年団を有する大野小学校において、敷地内の学校環境教育向上を目的として事業を行った。子どもたちの緑のまなび環境の整備を行い、子どもたちに森林、緑に対して関心を深めてもらうため、樹木医の指導のもと、体験学習会という形で作業を実施した。校庭内の樹勢が衰退している古木12本周辺の土壌改良、校舎裏斜面のピオトープ型緑花ブロックの侵入雑木の伐採・整理を行った。また、市花であるボタンザクラの植樹を行った。

事業成果

日常での遊び、学びの場である校庭内で、植樹や木の周辺の土壌整備をすることで、緑や森林に対する関心を持つことができた。また、植樹など体験学習をすることで、環境整備をする大切さを実感することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・土壌が硬くなりやすいため、本事業での土壌改良は木にとって非常に良い。体験学習会をしたことで、木々に必要な作業、その作業によってどのような効果を発揮するかを教えることができた。(樹木医)
- ・身近な校庭の中で、身近な植物について学ぶことができるとても良かった。今後の管理を通して、継続的に木や緑に対する教育をしていきたい。(小学校教員)

参加者の声

- ・木を成長させるためにはただ肥料をあげるだけでなく、しっかりと土づくりが必要ということがわかった。(小学5年)
- ・ひとつの環境には、多くの生物がいることがわかった。(小学6年)
- ・子どもたちの木や緑に対する関心が深まったと実感できる。(小学校教員)



市の花・ボタンザクラを植樹



土壌改良



緑花ブロックを整備



大野小学校みどりの少年団(団員157人)

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.02ha
 植付本数：3本
 土壌改良：0.15ha
 除伐面積：0.03ha
 記念植樹：1回

参加者数

県内：208人
 県外：2人
 計：210人

樹種

ボタンザクラ

緑のまなび事業(葛巻町立江刈小学校学校林(バンザイ広場)整備事業)

岩手県葛巻町



事業概要

学校林を核とした教育活動の充実を図り、子どもたちが安心・安全な森林活動が実施できるよう、学校林内の環境整備を行う。主な活動は以下のとおり。①バンザイ広場整備(手洗い場設置、木質チップ敷設)・遊歩道整備、②学校林案内看板作成・設置、③作業道の整備、④活動用装備物品(ヘルメット)の整備、⑤記念式典、⑥学校林ゲート修繕など。

事業成果

バンザイ広場整備では、設置が望まれていた手洗い場の整備やチップを敷設することにより、衛生面にも配慮した学校林活動が可能となった。また、チップのほか間伐材を使って手洗い場を整備したことにより、森林資源(間伐材)の有効活用が図られた。遊歩道整備では、学校林内を効率

的に回遊できる遊歩道が整備された。

事業をよく知る関係者の声

- ・毎年5月に開催している学校林育樹祭では、低学年は森林散策を行っているほか、高学年は植樹や枝払い、間伐体験、鉛筆づくり体験など、学校林の状況にあわせた体験を行っている。学校林の環境が整備されたことにより、より充実した体験を実施していきたい。(団体職員)

参加者の声

- ・森の大切さとか木が役に立っているところなどを知った。(小学3年男子)
- ・木を植えて20年くらい経つと、その木がたくさん二酸化炭素を吸ってくれると学べた。(小学6年女子)
- ・いい空気になったり、いい水が流れたりするから、これからも木をいっぱい育てたい。(小学2年男子)



遊歩道整備



手洗い場整備



広場にチップ敷設



ベニヤマボウシほかを記念植樹

実績とりまとめ

作業内容

- 育樹祭：1回
- 看板作成・設置：1基
- 作業道整備：300m
- 記念式典：1回
- ゲート修繕：1か所

参加者数

- 県内：118人
- 県外：2人
- 計：120人

「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業

宮城県登米市、南三陸町



事業概要

緑とのふれあい等を通して、沿岸被害住民と山村住民の交流も図りながら、東日本大震災からの復興を誓うと共に森林づくりの重要性を普及する。

事業成果

コロナ禍の影響により、南三陸町の被災者との交流活動を回避するため分離開催となったほか、参加者数を制限しながら式典や活動の簡素化を図った。そうした制約の中での開催は、参加者にとって心が和み、本当に楽しいひとときを過ごすことができた。特に被災地住民参加者からは、コロナ禍で外出する機会が少ない中での野外活動であり、さらなる継続を望む声が大きかった。

事業をよく知る関係者の声

- ・新型コロナウイルス感染予防対策で今年も開催が危ぶま

れたが、開催方法や移動手段を工夫して開催することができた。被災者の方々に喜んでいただけたことが何よりである。来年も感染予防対策をしっかりと講じながら開催していただきたい。(登米市担当課長)

参加者の声

- ・植えた苗木が立派な大木になってほしい。(小学生女子)
- ・動物たちがたくさんいて緑豊かな森になってほしい。(小学生男子)
- ・地元の自然の中で植樹活動ができて、とても心が癒やされた。久しぶりの野外での作業だったので、気分が爽快であった。(70代女性)
- ・地元での植林体験をとおして、生きることの根底には自然があるということを改めて感じる事ができた。(70代男性)



「市民参加の新たな森林づくり植樹祭」(登米市)



カラマツほかを植樹(登米市)



「海の見える命の森植樹祭」(南三陸町)



ガマズミ、ドウダンツツジを植樹(南三陸町)

実績とりまとめ

作業内容

植樹本数：1690本
播種活動、山菜採り、木工教室

参加者数

県内：140人
計：140人

樹種

ドウダンツツジ、ガマズミ、カラマツほか

「森と海を結ぶ・絆の森林づくりプロジェクト」事業

宮城県石巻市



事業概要

東日本大震災からの復興と被災から甦った「みやぎの豊かな海」を県内外に発信した「全国豊かな海づくり大会」の開催を機に、森と海、そして人々の絆をさらに深めていくため、沿岸養殖漁業の盛んな女川湾に流れ込む女川（おんながわ）上流域にある荒廃森林を対象に、林業と漁業の関係者が協働して健全な森林の回復をめざして植樹活動を実施した。

事業成果

昨年とは別の地域において、林業と漁業との関係者による協働での植樹活動を行うことで、より広く「森と海」の関わり、森も海も豊かにする森林づくりの意義を関係者へ伝えることができたほか、今後も林業と漁業の関係者による協働での植樹活動を促進することで、県全体の豊かな森と海を育む活動を促進する。

事業をよく知る関係者の声

- ・県行政においても「みやぎ森と海の交流促進事業」として、沿岸域での森と海との協働活動を推進しており、連携することで相乗効果が期待される事業である。今後も、協働プロジェクトを推進するツールとして取り組んでいきたい。（県水林政部水産林業政策室長）

参加者の声

- ・沿岸漁業の盛んな地で協働で森林づくりをすることは、山と海を守ることにもつながる。（60代森林組合理事）
- ・最近、磯焼けなどの海洋環境の悪化や、マツ枯れ等で荒廃していることを危惧していた。植樹活動により森林が豊かになり養殖ものがたくさん育ち、美味しい海産物を提供していきたい。（50代漁協運営委員）
- ・今後も林業と漁業の関係者による協働での植樹活動を促進することで、観光資源でもある豊かな森と海を育み、その保全に努めていきたい。（50代自治体職員）



ヤマザクラを記念植樹



クヌギ、コナラ、カラマツなどを植樹



植樹に参加したみなさん



獣害防止柵の設置

実績とりまとめ

作業内容

植栽面積：0.1ha
植栽本数：203本

参加者数

県内：63人
計：63人

樹種

クヌギ、コナラ、カラマツ、ヤマザクラ

倒木や土砂の流出を防ぐ保水力の高い森作り

熊本県水上村



事業概要

目的は、斜面地における降雨による倒木や土砂の下流側への流出を防ぐために山の保水力を高めること。①令和2年球磨川豪雨によって斜面崩壊を起こした場所の現地状況確認。②作業道上に崩落した土石の除去及び崩壊斜面に残る倒木の移動。③崩落斜面への植樹。④崩落斜面近傍にあって河道に接する崖地際一帯への植樹。⑤上記①～④について、地元高校（林業コース）の教員・生徒と協働。⑥昨年度に植樹したエリアの刈払いの継続と獣害を受けた苗木のチェック及び保護。⑦湧水源地とその水道（みずみち）の確認と周辺への多様な樹種の植樹、必要な作業道づくり。

事業成果

林業コースのある南稜高校の教員・生徒との協働体制を組むことが可能となったこと、また、豪雨災害からの復興に向けて国県などの支援も得て進める「緑の流域治水」のプロジェクトチームとの接点を持つことができた。球磨川下

流域にある高専生徒や佐賀大学の教員学生の参加も得ることができたことは、森が抱える多面的な課題に取り組む大きな力となってきた。

事業をよく知る関係者の声

- ・この広大な土地の中に植樹した苗木を健全に育てるためには、できるだけ多くの担当者を充てる必要がある。今年度参加を得た高校や大学との連携関係を持続させられないだろうか。

参加者の声

- ・サクラを植えたことが、日本に滞在した良い思い出となった。（アメリカ人女性）
- ・森に入ったことのない女性や子育て中の母親も気軽に参加できるようにするためには、活動エリアの中に休憩する場所やトイレが必要。（大学教員）
- ・植樹は世代を超えてその記憶が継承され得るものだと実感した。（会社員男性）



除間伐



作業道整備



傾斜地での植樹講習



ヤマザクラ、モミジ、ケヤキほかを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1.4ha
植付本数：513本
下刈面積：3.6ha
除伐面積：0.2ha
間伐面積：0.2ha

参加者数

県内：78人
県外：2人
計：80人

樹種

ヤマザクラ、モミジ、ケヤキ、クヌギ、センダン、コシアブラ、ハリギリ、リンゴほか

令和2年7月熊本豪雨復興支援事業

熊本県八代市、水俣市、芦北町、津奈木町、あさぎり町、相良村、球磨村



事業概要

被災地域の復興を支援するため、緑化及び間伐材を使った木製品の提供により、地域住民や子どもたちの共同生活の充実を図るとともに、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらおう。令和2年7月熊本豪雨被災地域の公共的施設、学校等に豪雨の記憶を後世に残すとともに心の癒しを図ることができるような樹木や花苗などを植える木製のプランター、ベンチ、木製遊具などの資材を地域や学校等に提供する。

事業成果

特に被害の大きかった地域の幼稚園や災害公営住宅等に、

植樹苗木66本、木製プランター57個、ベンチ22個、積み木セット21個、丸太20本、切株30個を配布し、緑や木材による潤いを被災者に届けることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・新しく建て直した幼稚園や保育園には園庭に緑がなかったので、樹木が園の潤いとなる。また、初めて木を植える園児も多く良い経験となった。(市町村関係者)

参加者の声

- ・地域住民や生徒がみんなで植栽や水やりを行っており、木や花が大きくなるのが楽しみ。



園庭に植樹



中学校に植樹



木製プランター



ベンチ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：66本
プランター、ベンチ、積み木
ほか木工製作

参加者数

県内：222人
計：222人

樹種

サクラ、キンモクセイ、コナラ、モミジほか

【週末は森へ】近隣住民と森との橋渡し事業

北海道富良野市



事業概要

森を整備していくことは持続可能な社会を築いていくには欠かせない理念である。さらに、コロナ禍という事態に伴う自粛生活で、人々のストレスは高まり、出歩かなくなったことによる体力低下も懸念されている。上記背景を踏まえ、【週末は森へ】を合言葉に、森づくり活動+αのイベントを通して、「森への理解」を深めると共に、「近隣住民のストレス発散」「体力向上」を目的とする。主な活動は以下のとおり。①子どもたちを森に誘う「へそ森クラブ」活動を新設、②元ゴルフ場跡地のフィールドに木を植える、③森づくり活動の重要なフェーズである間伐の意味を知り実際に間伐を行う、④間伐材を利用した調理やクラフトプログラムを開発する。

事業成果

令和2年より開始した「へそ森クラブ」が軌道に乗り、町の子ども達と森との距離感が縮まった。作業に必要な機材

を充足することができ、効率良くより安全な森づくり作業ができた。コロナ禍も落ち着きを見せ、多くの人が外に出るようになり、一般参加者による植樹がまた活性化し始めた印象にある。

事業をよく知る関係者の声

- ・間伐のルールをしっかりと定めた方がいい。(林業関係者)
- ・小中学校向けよりも、今後は企業のCSR活動として展開すると、さらに森づくりの大切さが伝わるかもしれない。(市職員)

参加者の声

- ・富良野は観光地なので、観光客が「木を植える」という取り組みをもっと前面に出すと、いま流行りのサステイナブルツーリズムとして世界中にPRできる。(40代女性)
- ・間伐材を活用したバーベキューやテントサウナをやってみたい。(20代男性)



間伐体験



ポット苗づくり



アカエゾマツ、イタヤカエデ、キタコブシほかを植樹



子どもたちの植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1.2ha
 植付本数：1025本
 間伐面積：0.8ha
 植樹会：3回
 森イベント：6回

参加者数

道内：83人
 計：83人

樹種

アカエゾマツ、イタヤカエデ、キタコブシ、シナノキ、ハルニレ、ナナカマド、ミズナラほか

森と緑と湖のマチ そららの森づくりプロジェクト

北海道弟子屈町



事業概要

現在遊休地となっている弟子屈空港跡地を、観光客や地域住民が楽しむ為の森づくりをすることを目的としている。主な活動は、①自然を活かした観光資源の充実を図るための植樹活動、②環境に対する意識向上と共生社会の実現をめざした木育教室の開催である。

事業成果

コロナ禍の中で開催が危ぶまれたが、昨年同様に感染対策を十分に行っての植樹祭を開催することができた。参加者はこのような状況にもかかわらず昨年より多く集まっていたが、植樹面積の拡大を行うことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・できるかどうか不安な中、去年よりもたくさんの人が集まってくれて開催できて良かった。ソーシャルディスタンスを保つことで丁度良い植樹間隔が取れていた。今後も定期的なメンテナンスを行って維持管理をお願いしたい。(植生業者)

参加者の声

- ・安全面に考慮して開催してくれてうれしい。(40代女性)
- ・思った以上に木が育っていた。(50代男性)
- ・こうして植物や土に触れての作業は楽しい。来年どうなっているかも楽しみ。(30代男性)



そららの森



カラマツ、イヌエンジュ、ドロノキ、シラカバ、ミズナラなどを植樹



47人が参加



300本を植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：300本
下刈面積：0.7ha
苗床作り：1回

参加者数

道内：47人
計：47人

樹種

カラマツ、イヌエンジュ、ドロノキ、シラカバ、ミズナラ

いのちの森づくり植樹祭 IN おたる奥沢水源地 VOL.9

北海道小樽市



事業概要

地域住民との協働で植樹を行う事で、防災や自然環境への意識を高めるとともに、その土地本来の植生が失われつつある「いのちの森」を守り再生させることで、ここに暮らす人々が自然を愛し大切に思う心を育み地球温暖化問題を考えることの一つとして、「いのちの森づくり植樹祭」を開催した。当日は、三密の回避に注意を図り開催した。

事業成果

土地所有者の北海道が小樽市に土地を移管した中で、8回の植樹により、小樽市、ライオンズクラブ、ロータリー

クラブなどからの信頼も高まり、財政面を含め協力体制が取れた。

事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍での開催で心配したが野外での活動でもあり、子どもたちを含め久しぶりに家族での野外活動となり楽しかった。(男性)

参加者の声

- ・昨年より参加、高齢でもあり大変だと思い参加を躊躇したが、スタッフの温かい励ましの中で楽しめた。(女性)



ミズナラほかを植樹



植樹には147人が参加



下刈



森の大切さを伝える写真パネルを展示

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：1200本
 樹勢回復：165本
 下刈面積：0.15ha

参加者数

道内：192人
 計：192人

樹種

ミズナラほか

陸奥湾の海と山のつながりを植林を通して体験する事業

青森県平内町、鱈ヶ沢町



事業概要

陸奥湾のホタテを守る為に、海の近くの国有林(社会貢献の森)に広葉樹の植林活動を行う。毎回多くの参加者が森づくりの必要性を感じ参加している。また植林地の除間伐材を利用して薪割りや、エネルギー問題や身近な里山の手入れや雑木を活かして暮らしを学ぶ体験を通して、地球環境を守る活動の実現につなげていく。

事業成果

コロナ感染者数が減らない中での植林活動だったので、

開催できた事の意義は大きいと思っている。

事業をよく知る関係者の声

- ・参加者が定着してきている。

参加者の声

- ・自分達が植えた広葉樹で、海がきれいになってくれる事はとてもうれしい。これからもこの植樹祭にはできる限り参加していきたい。(高校生)



植樹には高校生も参加



広葉樹を植樹



親子での参加も



薪割り

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.7ha
 植付本数：200本
 下刈面積：0.7ha
 除伐面積：0.7ha
 森林資源活用：20本

参加者数

県内：133人
 県外：29人
 計：162人

樹種

広葉樹

沈黙しないでピカピカ里山にしませんか!

秋田県仙北市



事業概要

城下町に隣接した里山が住民の高齢化等により、利用されず放置されている状況を改善し、木の文化への理解と地域との交流を図る。主な活動は以下のとおり。①林内環境整備として刈払いやツル切り、②不良木の伐採とヤマザクラ植栽、③遊歩道整備の藪刈払いや崩落地の整備、④市民を対象したトレッキングなど。

事業成果

足場の悪い場所や老朽化した作業路があったために作業が進まなかった箇所が、安全かつ効果的に作業実施ができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・刈払い作業を継続的に実施することは大変だが、里山が目に見える形で変わってきており、市民の参加意識の向上につながっている。(元教員)
- ・それぞれの参加者にあった条件下で作業できるような環境を望む。(支援学校教員)

参加者の声

- ・植えた木の成長が楽しみ。(小学生男子)
- ・高齢者でも参加できるようなトレッキングコースが必要である。(60代女性)
- ・自然とふれあうことで子どもも大変喜んでいった。(40代女性)



サクラを植樹



森林整備



遊歩道の草刈



冬のトレッキング

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：9本
 樹勢回復：12本
 下刈面積：6.0ha
 遊歩道整備：6.0km
 トレッキング：2回

参加者数

県内：40人
 県外：15人
 計：55人

樹種

ベニヤマザクラ

八幡山桜(はな)の森整備事業 コブシ・ハンノキの森整備事業

山形県飯豊町



事業概要

農地としての再生が困難な元採草場を「里山の森」に再生することを目的にこの事業を始めた。サクラの森のほか、早春・初夏・初秋の花木の森、新・深緑の森、紅葉の森をつくり、雪解けから降雪までの期間、人々が楽しめる里山を整備する。今年度は、昨年度に引き続きコブシ・ハンノキの森の整備を行った。

事業成果

湿地再生のためにコブシ・ハンノキの森を造成した。あわせて八重桜の森整備を行った。第6回「里山を考える」集いは諸般の事情から中止した。自然林(広葉樹林)造成の重要性と、林業再生、農山村振興のカギを学んだ。「苗づくり」からの森づくり事業では、ブナ林から採取した稚苗を竹ポットに移植する作業を行った。子どものときから「森」と人間のかかわりや森の重要性を知る機会を提供する必要性、

重要性を痛感している。なお、新型コロナ感染防止のため参加者を今年も制限した。児童の参加については、新事業が1件、児童全員参加が1件と着実に成果が上がっている。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもの参加対策が必要。「焼き芋パーティ」を加えたらどうか。(協議会役員・県職員)
- ・農山村の暮らしと里山をどう結び付けていくか、しっかり追及する必要がある。(参加者)

参加者の声

- ・植樹が30分で終わった。ほかのイベントを加えたらどうか。(60代男性)
- ・植樹、講演会、いずれもとても大事な取り組みだと思う。(40代女性)
- ・「森」の大切さを全く知らない人が多い。ノーカーボン社会をめざすならこのことも大事。(60代男性)



コブシ、ヤマハンノキを植樹



森づくりの集い



ブナを育てる(森のホームステイ事業)



森の学習会

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.5ha
植付本数：50本
下刈面積：1ha

参加者数

県内：86人
計：86人

樹種

コブシ、ヤマハンノキ

しらかわ本沼花見山づくり緑化環境整備事業

福島県白河市



事業概要

荒廃した里山の自然緑化整備を推進する。里山を整備して桜を中心とした植樹を実施、地域の憩いの場創出、名所づくりと後世に残す豊かな緑地環境を整備。また、東日本大震災復興のシンボルとして地域元気活動を推進。整備した里山では四季を通じた散策・散歩、地域学校連携の緑地学習など多目的利用をめざす。

事業成果

県産間伐材を使った案内看板を設置して来場者散策に役立てた。小学生卒業記念桜植樹ができ、自然環境整備の意義を感じてもらった。枝木片付け運搬工事、下刈委託で里山自然環境と景観向上が図られた。

事業をよく知る関係者の声

- ・志の高い取り組みに感心している。住民団体が里山を花々で彩ろうと活動している。
- ・草刈、下刈、ツルツタ駆除などの作業を手伝いたい。

参加者の声

- ・植樹した桜の成長が楽しみ。大きくきれいな花を咲かせてほしい。(小学6年)
- ・草刈ボランティアを大勢で支援したい。(60代男性)
- ・総合学習野外活動として利用させてもらった、教育の場として良い環境。(50代教員)
- ・散策時の休憩場所があると助かる。(70代女性)



卒業記念に桜を植樹



野外学習



下刈



桜の手入れ作業

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.6ha
 植付本数：20本
 樹勢回復：1000本
 下刈面積：5.3ha
 除伐面積：0.2ha
 野外学習活用：3回

参加者数

県内：126人
 計：126人

樹種

桜

渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業

栃木県日光市



事業概要

銅山の煙害で荒廃した足尾の山々に木を植え、緑したたる森に還すとともに、自然環境を大切にすることを育む。主な活動は以下のとおり。①小学校等の体験植樹及びボランティアを募集する植樹会の開催、②植樹後の下刈等の管理作業、③荒れている植樹予定地の地盤改良工事。下部は当会スタッフで作業し、上部の急傾斜地は外部委託する。

事業成果

植樹地盤整備により、今まで一般参加者が植えられなかった場所に安全に植えることができるようになった。また、土壌改良剤を配合した黒土を入れたことで苗木の活着率は高くなった。長年にわたり植樹している久蔵口植樹地では、育った木を見ることができるようになった。自分の植えた苗木の生

長を想像することができ、リピート参加者が多い。

事業をよく知る関係者の声

- ・植樹地の悪い土壌の影響から苗木の枯死が課題であった。現地調査および科学的な土壌分析の結果を基に最適な緑化改善方法を提案し、委託業者とも連携し植樹地の土壌改良工事を行っている。また、試験施工を行い経過観察中であり、結果を共有し今後の緑化に活かしてほしい。(緑化技術支援企業)

参加者の声

- ・とても良い行事でまた来年も参加したい。足場作りなど下準備に本当に感謝。(植樹デー参加70代)
- ・自然に対しても色々と考えさせられる機会になった。(植樹デー参加20代)



春の植樹デー



苗木をていねいに植え付け



丸太で木柵をつくり土の流出を防ぎ苗木の活着率を高める



モノレールで運んだ黒土をまく

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1ha
 植付本数：1万1379本
 下刈面積：0.5ha
 イベント：110回
 地盤整備面積：0.05ha

参加者数

県内：2321人
 県外：3033人
 計：5354人

樹種

コナラ、クヌギほか

関東一のつつじ公園の復活と百年生美林散策

栃木県鹿沼市



事業概要

ヤマツツジの群落の再生・復活及び百年生美林による森林浴を体験できる環境整備を図るためツル切りや下刈を行った。

事業成果

ツル切りと同時に高齢木や枯れ枝の除去をしたので今年の花が例年より見事に咲いた。

事業をよく知る関係者の声

- ・散策路整備されているので歩きやすい。(60代夫婦)
- ・頂上からの景観が素晴らしい。(50代女性)

参加者の声

- ・参加する方は全員会員で、ほとんどが還暦を過ぎた方なので、時間に余裕があり、健康増進を図りながらの作業であるため楽しんでいる。



下刈



ツル切り



肥料散布



作業参加者のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

ツル切面積：4ha
下刈面積：2.5ha
ツル切イベント：1ha

参加者数

県内：206人
計：206人

樹種

ツツジ

ヤマアジサイの森の清掃活動とボランティア育成講座

群馬県高崎市



事業概要

貴重なヤマアジサイが自生する森を保護してきたが、ボランティアが高齢化して保護活動が難しくなってきた。そのため、次世代を担うボランティアの育成を兼ねて、ヤマアジサイの森の清掃活動を実施した。

事業成果

今回、清掃活動が実施でき若い方が参加してくれた。森がきれいになり「また参加したい」と希望してくれたことは、大きな成果だった。

若い参加者が集まり、森に来るとすがすがしいことを実

感し、森での活動の楽しさを学ぶことができたと思う。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもの時から山や作業道具に親しむ活動は、次世代の人材育成に大変有効だと思う。今後とも続けてほしい。(講師)

参加者の声

- ・森の中での活動は大変楽しかった。この森の活動を、会員だけの活動としないで、年間いろいろな活動をもっと皆さんにアピールして若い世代を取り込む工夫をしてほしい。



森の清掃



枯枝などでチップづくり



チップ



作業に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容
 清掃活動：0.2ha
 チップづくり

参加者数
 県内：45人
 計：45人

市民参加型森林整備・森林環境教育推進事業

千葉県山武市



事業概要

都市住民や地域住民を対象に、人工林の保全作業を通じた自然環境への理解活動を実施した。初心者でも参加しやすいように、季節ごとに作業内容に変化を持たせつつ、安全性が確保されたフィールドで森林環境教育イベントを計画するなど、参加者のモチベーションを維持するために工夫した。令和元年の台風により活動地の森でも風倒木等の甚大な被害が発生したため、台風被害からの復旧を主とした活動を行ってきたが、ようやく目途がついた。一方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、予定していた活動や環境教育イベントに影響が出たが、感染症への対策を講じながら活動を継続した。

事業成果

感染症拡大により参加者減少が懸念されたが学生の参加が増えた。理由は、授業がリモート化されるなどで、実習が減少している模様。そのため自らボランティア活動を探

して申し込みに至っている。事務局としては、活動を継続するためのノウハウを蓄積するとともに、学生に対して気づきや学びになることを、しっかり伝えることができるようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・参加する方々の年齢や居住地が幅広いことがこの団体の特徴だが、一方で、熟練者が少ないため道具の選定や手入れにはより注意を払ったほうが良い。(危険木除去委託先NPO)

参加者の声

- ・雨天時の緊急避難場所など、屋根のある場所を確保したほうが良いのではないかと。また水道やトイレなどを改善したほうが良い。(定例活動リピーター)
- ・授業でSDGsが取り上げられたことをきっかけに参加したが良い学びの機会になった。森づくりに貢献できたという実感があつた。(高校生と保護者)



クヌギ、コナラなどを植樹



子どもたちの枝打ち体験



ササ刈り



間伐体験

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：200本
 下刈面積：0.5ha
 間伐面積：0.2ha

参加者数

県内：133人
 県外：116人
 計：249人

樹種

クヌギ、コナラほか

みんなの森づくりプロジェクト

山梨県大月市



事業概要

本事業の拠点である「みんなの家」周辺には、手つかずの森林が多く残っている。この地域は高齢化が進み森林整備ができる人たちがいないためだ。そのため、地域の森林を守るとともに、都市部では体験できない森林での活動を通して自然との共生や重要性に気づくことを目的として活動を実施した。主な活動は以下のとおり。①幼児を対象としたキャンプ2回実施、②幼児を対象としたデイキャンプ4回実施、③当法人ボランティアスタッフが行う森林整備8回実施、④家族を対象としたデイキャンプ2回実施。

事業成果

都市部から離れた里山の中で思う存分体を動かすことは、とても良いリフレッシュの機会となったに違いない。また、都市部で生活する私たちには身近でない里山でのさまざまな体験は、子どももスタッフも多くのことを感じ学び体験することができた。近隣住民の方たちが活動に協力してく

ださり、様々な場面で共に学び合う関係性が築けている。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちの姿を見ると元気になる。何か困っていることがあったらいつでも手伝いたい。(地元住民80代)
- ・活動を通して、地域が好きになり定住してくれる人が出てくるとうれしい。(地元住民80代)
- ・もともとホタルや川魚がたくさんいた。少しでも昔の風景や環境に戻したい。(地元住民80代)

参加者の声

- ・たくさんあそべた。むしをたくさんみつけたよ。(幼児)
- ・ここに来るとリフレッシュできる。森林整備をして地球にも良いことをしているのがより嬉しい。(40代男性ボランティアスタッフ)
- ・ここに来ると自然と一体化できる気がする。風の匂いか自然の音とか普段感じられないことが感じられる。(20代女性ボランティアスタッフ)



森林整備



子どもたちの里山体験



自然観察



木の実を使って工作

実績とりまとめ

作業内容
 除伐面積：5ha
 間伐面積：2ha
 自然体験活動：6回
 森林整備：8回

参加者数
 県外：75人
 計：75人

国民参加による災害に強いめぐりの森づくり

神奈川県横須賀市



事業概要

水源林でありトウキョウサンショウウオも生息していた神奈川県有地「湘南国際村めぐりの森」は、現在、バブル期に開発された跡地として荒廃している。なだらかな丘陵地帯でありながらススキやメドハギなどの河川の植生のような貧栄養な景観が続く。当該地にて2009年より神奈川県のコア事業として、植樹による土地本来の森の再生を実践している。本年は、春と秋に潜在自然植生種を植樹し、累計2.06haの緑化につながった。

事業成果

当法人が2015年に全体統括となってからは、造園業者の刈草や廃棄予定の東京都使用済活性炭を再資源化し、森の再生に活かしている。焼却処分予定の海藻拾いなどを含めると年間100トン以上の二酸化炭素排出量を削減している。

こうしたSDGs貢献にも繋がる地道な取り組みが外部より評価を得て、年始早々より企業や団体・教育機関からの講座・講演会依頼が三割増しで増えている。

事業をよく知る関係者の声

・土壌づくりや環境づくりがいかに大切かを学ばせてもらった。かかわっておられる多くの方々の大きさを感じ、とても重要な日に参加できた喜びを感じた。森の環境を守っていくことはいかに難しいかについて考えさせられた。小さなことから取り組んでいきたいと思っている。(Silva 森林再生指導員)

参加者の声

・植樹は、木々の中で清々しい気分がエネルギーもたくさんいただいた。成長する森、豊かな森に育てていく過程、その一端に参加できて良かった。(NPO会員)



植樹場所の整備



植樹のためのリーダー研修



4067本を植樹



家族連れも参加

実績とりまとめ

作業内容
 植付面積：0.07ha
 植付本数：4067本
 下刈面積：2ha
 除伐面積：2ha
 間伐面積：0.7ha
 森林資源活用
 廃材再資源化

参加者数
 県内：1328人
 県外：968人
 計：2296人

樹種
 潜在自然植生種

船来山里山環境整備事業

岐阜県本巣市



事業概要

船来山の古墳などの歴史遺産、多様な樹木、そこで生きる動物、濃尾平野を見通す景観などの魅力を小中学生や市民に伝え、安全に利用できる里山づくりを行う。また、伐採したタケを有効利用することで、空気中の二酸化炭素を固定化し、地球温暖化を防ぐことに貢献する。主な活動は以下のとおり。①竹林の伐採整備、雑草や灌木地の草刈り、②伐採したタケで竹炭や竹細工を製作販売、③体験会を開き里山の魅力を小中学生や市民に紹介、④市のイベントに協力、活動場所の整備など。

事業成果

独自のイベントとして「自然観察会」「竹炭作り体験会」「タケノコ掘り体験会」を実施できた。また、各学級にチラシを配布することで、市内の4年生以上の小中学生に船来山で楽しめる活動を伝えることができた。

竹炭により空気中の炭素の固定を活動に取り入れることができた。今年度は整備4年目、子どもや市民の活動場所として使えるようになってきた。

事業をよく知る関係者の声

- ・無煙炭化器による炭づくりは、ゴミの有効利用となるのでやってみたい。(果樹農家)
- ・歴史遺産を維持しやすくし、人が入れるように整備してもらえ感謝している。(市社会教育課長)

参加者の声

- ・身近な山で、鳥や木のことを知ることができて良かった。(中学生)
- ・自分たちの出したゴミによる環境破壊に関心があった。伐採竹を竹炭や竹細工として利用する体験ができて良かった。(中学生)



草刈り



竹林伐採後



竹炭づくり(無煙炭化器)



タケノコ掘り体験会

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：1ha
 除伐面積：0.1ha
 間伐面積：0.4ha
 竹製品製作販売：11回
 タケノコ掘り：6回
 体験会：4回

参加者数

県内：369人
 計：369人

猿投山北西山麓の環境林整備

愛知県瀬戸市



事業概要

猿投山北西山麓において健全で活力ある人工林の育成と環境林としての機能を向上させる。主な活動は以下のとおり。「県有林やまじの森」「日本山岳会所有地」「東大演習林」において放置された人工林の間伐を行い、保健保安林として近郊市民が森の恵みを楽しめるよう自然観察道・ハイキング道などを「春夏秋冬」楽しめるよう除伐・ササ刈などの整備を行った。なごや環境大学・せと環境塾・法人会員や一般や応募者に対して森の手入れを体験してもらいながら森の機能について学習し併せて「SDGs」について学んだ。

事業成果

新たな感染対策を実施しながら人工林の間伐、特に東大

演習林では2年計画で243本の間伐を完了した。雑木林や自然観察道の除伐・ササ刈も予定通り実施することができた。また「せと環境塾」での炭づくりや「なごや環境大学」での現地講座“森からのプレゼントⅡ”は好評であった。

事業をよく知る関係者の声

- ・森が明るくなり安全確保の観点も含め良くやっていた。 (ハイカーほか)

参加者の声

- ・コロナ禍のなかでも活動ができて良かった。
- ・森の中で汗をかきながらの作業することで「ストレス」が解消できる。



間伐



伐採体験



自然観察会



落ち葉を踏んで腐葉土づくり

実績とりまとめ

作業内容

除伐面積：0.6ha
 間伐面積：0.5ha
 森林資源活用
 自然観察道整備：1.8km
 作業道整備：1.2km
 イベント：2回

参加者数

県内：780人
 計：780人

グリーンベイ OSAKA 海岸防災森を創る活動

大阪府堺市



事業概要

南海トラフを震源とする大地震はいつ発生してもおかしくない状況であるといわれている。大地震で発生が予想される津波から都市や市民を守る手段として防潮林がある。少しでも早く苗木を大きく育てて、理想的な海岸防災林をつくることを目的に植樹を行う。

事業成果

新たに364本の苗木を植樹したことによって大阪湾の南北方向への防潮林としての効果が期待できる。

事業をよく知る関係者の声

- ・他の場所では企業や府主催の植樹活動が行われているが、私たちの苗木の成長を見て、植樹方法がこの地に適していると感心している参加者がいた。

参加者の声

- ・植樹エリアの対岸の工場やその関係企業から毎回多数が参加している。参加者のほとんどは複数回参加しており、樹木の成長ぶりに毎年のように驚いている。



アキニレ、ウバメガシなど12種を植樹



植樹の様子



家族で参加



植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.07ha
植付本数：364本
下刈面積：0.25ha

参加者数

府内：125人
府外： 9人
計：134人

樹種

アキニレ、ウバメガシほか

里山保全活動からSDGsを学ぶ

兵庫県三木市



事業概要

①13年目の里山保全活動を達成する。内容：兵庫県三木市蓮華寺の森に繁殖したタケの伐採を行った。小学生から大人まで総計39人が参加。主に小中高大学生が伐採をして大人が運び出した。②自然保護に携わる若者を育成する。内容：作成したチラシは小中高大学生を中心に配布するように配慮した。今回は伐採したタケで竹炭を作る試みを行い、飢餓と食物栽培、安全な水、質の高い教育、気候変動、陸、海の豊かさなどSDGsと関連させ自然環境の大切さをアピールした。

事業成果

今年度は竹炭窯をつくりSDGsと関連させた。大学で世界のSDGsを研究するボランティアグループ「未来の家」の会

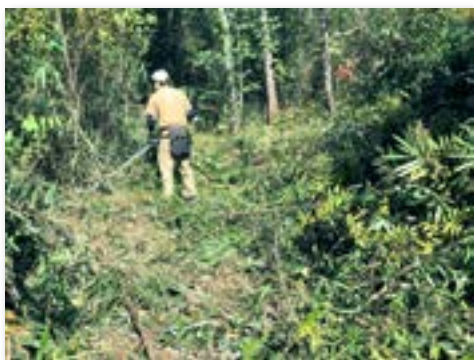
員の研究にも寄与している。

事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティアグループ「未来の家」の未成年会員は保護者の登録を必要としている。8年前から2人の子どもが会員でその保護者は竹林の中にあった小さな木が見違えるほどに大きくなっていることに驚かれ、こうした地味な活動を支援していきたいと話していた。

参加者の声

- ・コロナ禍で参加を躊躇したが山の中なので思い切って参加した。色々な自然活動にボランティアとして参加しているがほとんど私くらいのシニアだが、今回の活動ではコロナ禍なのに若い人の参加が多く驚いた。



下刈り



タケ伐採



SDGsと炭づくりについての説明



炭窯づくり

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.3ha
 間伐面積：0.3ha
 山道整備、資材運搬、窯造り、竹林伐採

参加者数

県内：83人
 県外：3人
 計：86人

丹波平松の森づくり

兵庫県明石市、丹波市、宍粟市、姫路市、神戸市



事業概要

住みよい丹波の住みよい地域で安全安心の森づくりのため、丹波市春日町の森林愛好会と一体となり、ドングリ植樹を通して地域の交流をはかり、魅力ある森づくりを推進する。

事業成果

丹波市春日町平松区の新たな植樹場所での活動に伴い、ドングリの植樹を通して平松区森林愛好会との交流をはかり、この地ならではの体験をすることができた。

事業をよく知る関係者の声

・植樹活動、ドングリ拾いを通じて森を育てる大切さと地域交流が生まれることを期待してる。長年主要イベントで一般会員との交流があったがここ数年は交流が少なくなっている。(会長)

参加者の声

・植樹は傾斜面での作業で、苗木も背の高い大きいものだったため、穴を掘るのが大変だった。大径木の伐採などの見学もでき、森林の管理の大変さを感じた。(森をつくる会役員)



植樹地の整備



獣害防止ネットの補修



クヌギを植樹



植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：2ha
植付本数：250本

参加者数

県内：118人
計：118人

樹種

クヌギ

100年先も誇れる彩の森づくり事業

島根県雲南市



事業概要

荒廃化を防ぐため山林の伐開作業を行うとともに、人々が集まる彩りを創出し地域振興につなげる。主な活動は以下のとおり。①荒廃してきた山林の伐採と下刈、②森林資源の活用（間伐材を炭に加工）、③森林環境学習と植樹の体験など。

事業成果

地元で炭づくりを行っている団体に間伐材を提供することで、草刈り作業にボランティアとして参加してもらうことができ新たなつながりが生まれた。

事業をよく知る関係者の声

- ・今回の事業で周辺一帯の植樹が完了し、さくらおろち湖周辺の景観の美化に役立つと思われる。植樹ができ、会場と森林保全に関してはPRになった。今後は植樹地を体験等できる場所としての活用を考えたい。(雲南市役所職員)

参加者の声

- ・植樹した場所は高くて少し怖かったが、とても楽しく木を植える事ができた。今後も森や木の大切さを考えながら生活していきたい。(小学生)
- ・参加児童にとって今回の植樹は卒業の記念となるとともに、身近にある自然の大切さを知る良いきっかけとなった。(小学校教員)



荒廃した森林での伐採



森林整備



サクラ、カエデを植樹



植樹の様子

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.05ha
 植付本数：10本
 下刈面積：0.02ha
 除伐面積：0.05ha
 森林資源活用：50本

参加者数

県内：64人
 計：64人

樹種

ハウチワカエデ、エドヒガン

おおつか里山桜並木回廊事業

島根県安来市



事業概要

殿川内溜池の完成を記念して当時の老人会がサクラの植樹を行ったが、地域の高齢化や若者の流出もあり、今では雑木林となってしまった。地域住民が花見をしていた頃の環境を復活させるため、大塚寿会により桜並木回廊事業を実施した。主な活動は以下のとおり。①殿川内溜池周辺の雑木の伐採と下刈、②5品種計200本のサクラを植樹、③次世代の子どもたちにサクラを継承するため、地域のこども園と小中学校にPR活動を実施。

事業成果

雑木を伐採したことで、溜池周辺にサクラを植樹した当初の環境を復活させることができた。また、事業を実施することで、手入れや整備の大切さを学んだ。

事業をよく知る関係者の声

- ・サクラを植樹した当時の環境を復活させる取り組みは、森林保全の大切さを再確認する良い機会となった。また、地域にサクラ並木の景観を継承することができ、意義ある活動であった。

参加者の声

- ・児童がサクラの苗木を手にする事で、これから地元の里山で順調に育つ期待感を抱いているように感じた。(教員50代男性)
- ・植樹作業に参加し、昔溜池周辺で花見をしたことを思い出した。(70代男性)
- ・里山にサクラ並木が復活する日が待ち遠しい。(地域住民40代男性)



植樹場所の整備



サクラを植樹



サクラ



植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：2ha
 植付本数：200本
 下刈面積：2ha
 除伐面積：2ha

参加者数

県内：29人
 計：29人

樹種

サクラ

「山の日」祝日5周年記念植樹祭

広島県廿日市市



事業概要

「山の日」の5周年を記念した植樹祭を小室井山（標高1072m）の山頂付近で行った。参加者の手で植えて育てる、山の恩恵に感謝し、森の大切さを理解して行動する人の輪を広げることを目的に植樹した。主な活動内容は以下のとおり。①7月コロナ感染防止を徹底するため参加規模を縮小して行った。②小室井山に登り、山頂付近にレンゲツツジを植栽した。③事前準備では、安全登山のために登山道整備を行った。また、植栽地は木やスキの根株を除去し、耕耘を行い植栽しやすい環境に整えた。

事業成果

今年は密集を避けるため植栽は奇数、偶数の順番で一人4本程度植栽してもらった。植栽場所を山頂と麓の2か所に区分し体力、体調にあわせて参加しやすい環境で植樹した。毎年参加している広島市内の児童（知的障害者）の参加がコロナ禍のため参加できなくて残念だった。

事業をよく知る関係者の声

- ・植樹祭は1日だが事前準備等が大変である。体力の維持管理に気を付け、健康でこれからも喜ばれる活動にしていこう。(75才男性)
- ・植樹活動は、環境に貢献する活動でもあり大切な啓蒙活動である。5000本のツツジ群落造成をめざして努力しましょう。(50代男性)

参加者の声

- ・飛び入りで植樹をさせてもらい楽しかった。来年も参加させてもらいたい。(60代夫婦)
- ・これまで植えた5本の苗木が元気に花芽が付いているのが確認できた。5月末に花見に来たい。(60代女性)
- ・温暖化防止に少しでも協力したいと思い参加して4回目、植えたツツジも確認でき満足、来年も参加したい。(60代男性)



植樹地の下刈



植樹地の整備



レンゲツツジを植樹



植樹祭参加のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
 植付本数：200本
 山道草刈り：2000m
 地拵え面積：0.1ha

参加者数

県内：103人
 計：103人

樹種

レンゲツツジ

竹林跡地を活用した森の再生事業

香川県丸亀市



事業概要

目的は、水路のコンクリート化によって失われた緑を取り戻し荒廃した竹林を整備し森の再生を図ることである。

主な活動は、①竹林を伐採、重機を活用してタケの根株を掘り起こし乾燥させて焼却、②花崗土を投入し、土壌整備するとともにタケ根浸入、防止のため掘削して、遮蔽板を挿入、③土壌整備地へサクラ、クスノキ・ケヤキほかを植樹。

事業成果

整備対象地域は、荒廃した竹林に多くの粗大ゴミが放置され、近寄りたがたい所であった。整備が進むにつれ周囲が明るく開放的になって、近くのウォーキングコースの利用者から感謝されるとともに、親子連れやカップルの皆さんが立ち寄ってくれる程に環境が様変わりし、親子防災キャンプ場としても利用された。

事業をよく知る関係者の声

・植栽の施工技術についてアドバイスした。参加者の熱心さ、謙虚さ、行動力に感動した。(造園業者)

参加者の声

- ・森の再生を始めて丸2年が経ったがまだ半分もできてないと思う。身体が動けるうちは頑張りたい。年々景色が変わっていくのが楽しみだ。(コミュニティ環境部員80代男性)
- ・女性スタッフがツツジの植樹を担当、つるはしで穴を掘るところから始めた。石やタケを取り除き穴を掘り広げ、愛情をこめて植付けと水やりをした。大変疲れたが、花が咲く光景を想像しながら見守っていききたい。(コミュニティ部員60代女性)
- ・あれほどに荒れていた竹林がこんなにも変わっていく様は楽しみのひとつとなった。四季折々楽しめる公園になるまで頑張りたい。(コミュニティ防災部員70代男性)



植樹用地整備



倒木処理



ツツジの植樹



サクラ、クスノキほかを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.6ha
 植付本数：67本
 下刈面積：2ha
 除伐面積：0.7ha
 遊歩道の整備作業：0.5ha

参加者数

県内：180人
 計：180人

樹種

サクラ、ウメ、ツツジ、サザンカ、クスノキ、ケヤキほか

脱炭素化社会へ! 都市部市民と里山応援企業の協働活動2021

大分県大分市



事業概要

大分市街地の人工林育成と整備作業。大分スポーツ公園の人工林にツルが巻き付いて枯れ木が増え始めたため下刈とあわせて育成整備する。

事業成果

本年度は新人研修的な要素を交え新入社員の参加で団結が深まった。またフリーマーケットを開催し緑の募金に募金をしてもらった。

事業をよく知る関係者の声

・コロナ禍のなか、このような形で行えたことは一つの成果だ。安全に作業ができたことがなにより。

参加者の声

・他社の方とのコミュニケーションがとれて良かった。(20代)



ツル切り



安全に心がけながら作業



子どもたちも参加



参加のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：1.3ha
除伐面積：1.3ha
ツル切り：2ha

参加者数

県内：40人
計：40人

森林がもたらす恩恵に感謝！～森林資源の利活用と四季を彩る森林体験～

鹿児島県日置市、いちき串木野市、始良市、霧島市



事業概要

森林のもたらす恩恵や大切な働きを学び、豊かな生態系を育む森林づくりや、森の恵みを感じてもらうことを目的に、以下の活動を行った。センリョウ・イチョウ植栽による森林づくり活動や、森林と海のつながりについての講話、県内の木材動向についての学習。さらに、木工ろくろ、小鳥の巣箱づくり、タケ一輪挿しづくり、シイタケ駒打ち、タケノコ掘り体験等、森林資源の利活用を四季を感じながら体験していただき、森林を守り育てることの重要性に対する理解を図った。

事業成果

小鳥の巣箱づくりやシイタケ駒打ち体験も組み込み、森林資源の利活用体験による森林の恵みを、より深く体験していただいた。

事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍の中で、多数のイベントが中止となるなか、感染拡大防止対策を取りながら活動を実施したことはすばらしかった。参加者は楽しみながら、森林・林業についていろいろなことを学び、理解を深めている。今後は、さらに若い世代の参加者が増えるような企画にも取り組んでいただき、次世代育成につながる活動を多数実施されることを期待している。

参加者の声

- ・森林の大切なはたらきを知り、自然が破壊されないよう、森を守っていかねばと感じた。初めて参加したが、とても勉強になった。
- ・木工ろくろ皿づくり体験は、普段経験できないので、とても楽しかった。木のあたたかみを感じられる作品を自分で作ることができ嬉しかった。



センリョウ植樹



タケノコ掘り体験



一輪挿しづくり



歩道整備

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：310本
下刈面積：0.6ha
森林資源活用：6回

参加者数

県内：121人
計：121人

樹種

センリョウ、イチョウ

國際協力



島嶼国フィジーにおける防災に向けた緑化と環境教育

フィジー・ビチレブ島ナンドロガナボサ県、ナイタシリ県、ラ県



事業概要

気候変動や自然環境の劣化等により、自然災害による被害が深刻化するフィジー・ビチレブ島において、レジリエンスの高い地域づくりをめざし、地域の環境保全と環境意識の促進を図るため、植林活動及び実践的な環境教育を実施。主な活動は以下のとおり。学校及び周辺地域における植林・環境教育活動、育苗活動、マングローブ植林、パイロット的海岸林植栽など。

事業成果

フィジー国内で新型コロナウイルスの感染が拡大し、前年以上に厳しい規制措置がとられた。学校も再び閉鎖となり、年が明けても全面再開とはならず、特に学校単位での活動は困難を極めた。規制が厳しい時期には、コミュニティを活動の場として、少人数体制で育苗や植林活動を実施。パイロット的に開始した海岸林を育てる取り組みでは、防風防潮効果のある樹木の種を採取して育苗し、植林へとつ

なげた。2022年4月頃から規制も緩和されたため、植林を精力的に実施。当初の目標を達成することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・地元の人々を巻き込み、母なる自然を保全することの重要性を伝える活動を継続できることを期待している。(シガトカ砂丘公園管理責任者)
- ・村を守ってくれるような海岸林を育てる活動は重要だ。村の若者たちを巻き込み、自分たちでも苗木を育てられる技術を身に付けていきたい。(村環境委員会リーダー)

参加者の声

- ・学校の近くにある海でマングローブを植える活動がとても好きだ。魚も増えると思う。(7年生)
- ・気候変動の影響を大きく受けるフィジーでは、その対応策について考え、取り組むよう政府が各校に呼びかけている。この活動により、子どもたちの理解も深まった。(教頭)



マングローブの育苗



マングローブを植樹



砂丘公園での植樹



小学校での環境教育

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：7.75ha

植付本数：7894本

参加者数

フィジー：764人

計：764人

樹種

モモタマナ、マホガニー、レインツリー、ココナッツ、グアバ、マンゴー、マングローブほか

地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業(マリ)

マリ・クリコロ州バマコ北、バマコ南、ファナ地域



事業概要

人々の生活に密接に関わるアフリカの「里山」に対して、住民自らの手で苗木を植え育て、将来的に育てた木を利用していくことで、「里山」を再生・保護し、さらに住民の生活を安定させること。主な活動は以下のとおり。①住民による里山の再生、②里山再生モデルの実践、③試験地での植生回復技術及び栽培技術の開発など。

事業成果

3地域30か所の村・学校に苗木を配布して、住民による小さな林づくりと学校林の育成を進めた。里山再生の実践では、新たに近隣の住民と作業をしながら、これまでに育った実践者から自身の経験や技術を共有してもらい、里山再生の実践活動を広げた。その結果5村5人の住民を新実践者として選抜し、地域の里山再生を進める牽引役として育てていく。

事業をよく知る関係者の声

- ・校舎建設、学校管理委員会の運営など日本の援助を受けてきたが、こうしてまた日本のNGOの援助で学校林を育成できることにとても感謝している。(小学生の保護者)
- ・息子が樹木の育苗・育成の技術を学び、私が保護してきた林を引き継ぎ守ってくれることを期待している。(村長)

参加者の声

- ・技術を持つ地域苗畑主との交流の中で、果樹の接ぎ木の技術が学べ有意義だった。自分の里山にある在来種に改良種を接いで果樹栽培を進めたい。(新実践者候補者)
- ・土地の分譲が進み里山が失われて、ますます薪炭や建材が得にくくなっている。近い将来、生活ができなくなることを防ぐためにも、今から木を植えていくことが本当に大切だ。(新実践者候補者)



実践者が育てた苗木を配布



学校林を広げる



自分の敷地に植樹



植樹後1年のユーカリ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1万1370本

参加者数

マリ：3224人

計：3224人

樹種

ユーカリ、バオバブ、カシュー
ナットノキ

カンボジア国コンポンチャム州における持続可能な森林管理を目指した植林事業(フェーズ3)

カンボジア・コンポンチャム州プレイチョール地区



事業概要

コンポンチャム州は森林密度が非常に低い上に、洪水や干ばつ等の気候変動による影響に対して非常に脆弱な地域である。貧困な地域住民にとってはこれらの災害の緩和は喫緊の課題である。森林の増加によりこれらの災害による影響の緩和が期待され、住民の生計向上が期待される。そこで、本事業では、急速な森林減少と劣化に伴い生物多様性の減少が進む同地域において、地域住民の生活に深く根付いている寺院および小学校を軸に、持続可能な森林管理をめざした植林事業を実施した。また、植林や森林保全の重要性に関する理解の向上をめざしたワークショップを実施した。

事業成果

プレイチョール地区のため池周辺に植林を行うことがで

きた。カンボジアも気候変動の影響を受けている。雨期の始まりに植林予定だったが、土は乾ききっていて植林は大変だったが、参加者の協力で植林することができた。また、植林地管理グループが各村で管理するエリアを決定して定期的な水やりやモニタリング活動を行った。2022年6月に実施した補植活動では、2021年7月に植林を実施したため池周辺や寺院周辺にも植林を行うことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・村人が植林活動を通して、森林の重要性について理解を深めることができた。こうした村人が協働できる活動はすばらしい。(村長)

参加者の声

- ・村の共有地であるため池に周辺全体に植林できて良かった。これからもみんなで管理を行っていきたい。(40代)



メンガ、ケランジィ、コキなどを植樹



植樹に参加したみなさん



植樹した樹木のモニタリング



補植

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：4.6ha
 植付本数：6440本
 ワークショップ：1回
 研修：2回

参加者数

カンボジア：102人
 計：102人

樹種

メンガ、ケランジィ、コキ

インドネシア マドゥラ島 水保全に向けた緑化と環境教育の推進

インドネシア・東ジャワ州スメネブ県、パメカサン県



事業概要

乾季には深刻な水不足、雨季には洪水等の被害が多発しているインドネシア東ジャワ州のマドゥラ島において、水保全に向けた植林活動と持続的な環境保全活動を促進するため、環境教育・啓発活動を実施。主な活動は以下のとおり。「まちの森」における植林活動、20の学校における植林活動・環境教育活動・水保全学習の実施、マングローブの植林活動、雨水貯蔵設備設置（2校）、教員向けワークショップの実施、他地域からの教員の視察の受け入れ・意見交換の実施など。

事業成果

活動に参加した20校のうち、十分な水源のなかった2校に、雨水貯蔵設備を設置し、乾期における水源を確保することで緑化活動を推進。さらに両校を含む3校に手洗い場を設置することで、衛生環境の改善に貢献した。今年度は参加校のうち2校が、国レベルと県レベルの環境賞をそれ

ぞれ受賞した。さらに、各校における環境保全活動を担当する教員のスキルアップや情報共有を図るため、教員を対象としたセミナーを実施し、新たに他地域の教員のスタディツアーを受け入れるなど、指導者育成にも注力した。

事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍以前から、本事業で毎年雨水貯蔵設備と共に手洗い場の設置したお陰で、県内の多くの学校で十分な感染予防対策が実施できた。（スメネブ県教育事務局長）
- ・プログラムの継続発展のためにどのような活動展開が可能か話し合う必要がある。（スメネブ第1中学校教員）

参加者の声

- ・マングローブの特徴や役割を知ることができて、植物により興味が湧いた。（児童）
- ・活動により、校内にさまざまな樹種の木々が増えた。子どもたちが管理作業を通じて環境保全の意識を高めることができています。（40代小学校教員）



小学校での植樹



中学校での植樹



設置した雨水貯水設備



教員向けに実施した環境保全活動推進のセミナー

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：8.72ha
植付本数：1万4567本
環境教育：2回

参加者数

インドネシア：4401人
計：4401人

樹種

マダガスカルアーモンド、マホガニー、ヤシ類、マジェンダチェリー、マングローブ

地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業

中国・内モンゴルエジンホロ旗



事業概要

(株)日本触媒が植樹した苗木の生育を目的として、現地林業局ホロ林場の協力のもと、日常的な維持管理の活動を実施した。具体的な作業として、枝打ち、消毒薬の散布、自然発火による森林火災防止策として下刈などを実施した。また家畜の放牧、モグラなどの小動物による食害の被害対策としての定期的な見回り巡回も実施した。

事業成果

新型コロナウイルスの影響もあり、日本側から中国への

訪問はかなわなかったが、当センターの中国事務所を通じて、定期的に林業局と連絡を取り合い、植林場所の様子や維持管理の作業内容を伝えてもらい、日本側の協力企業側にも情報共有することができている。

事業をよく知る関係者の声

- ・日本の皆さんに植えてもらった木は大きく成長している。生育状況を見てもらいたいと思っており、来られる日を楽しみに待っている。(エジンホロ旗林業局)



状況確認



防火対策の見回り



枝打ち



枝打ち

実績とりまとめ

作業内容

これまでの10年間で植林した苗木の維持管理として、年間を通じて、水やり・下刈などの作業や日常的な巡回活動を行った。

参加者数

中国：16人
計：16人

バリ島シンガラジャ市内公園の緑化植樹事業

インドネシア・バリ州ブレレン県プダワ村



事業概要

コロナ禍により、当初の計画地であったバリ島シンガラジャ市内の公園の植樹作業が竣工してしまい、活動場所がなくなったため、次年度以降に活動する予定だったプダワ村の水源地における植樹作業に計画を変更した。近年、バリ島では伐採等により涵養機能が低下、各地で洪水が問題となっている。当計画地であるプダワ村の水源地においても、伐採は深刻な問題であり、水源地での涵養機能を維持するために、将来の森林を形成するための苗木を植栽する。プダワ村4か所の水源地において、岩手大学学生、ガネーシャ教育大学学生、地元NPO職員とともに植樹を行う。

事業成果

バリ島北部プダワ村にある約20か所の水源地のうち4か所に100本の苗木を植えた。活動は2日に分け、1日目は、地元NPOが学生とともに植林活動、2日目は地元NPOのみで活動した。一番広い活動場所には、活動を説明する看板

が設置され、水源地を利用している人に活動を周知した。

事業をよく知る関係者の声

- ・今回の活動では交流ができ、日本人や日本の環境・文化を理解できるようになった。環境に対する意識を高める重要な活動だと考えている。現在、インドネシアでは多くの環境被害が発生しており、環境教育は重要になっている。これからも水源地を改善するためのサポートをしていただければありがたい。(ガネーシャ教育大学教授)

参加者の声

- ・この活動に参加したことにより、水源地を保護することは現地の文化や伝統を守ることに繋がるのだと気づかされた。(岩手大学2年)
- ・この活動を通して、私は環境を守るためにどうすれば良いか、についてより深く意識するようになった。岩手大学の友達に文化を紹介できたことがとてもうれしかった。(ガネーシャ教育大学4年)



植樹の様子



協力して植樹



環境保全活動は文化交流活動ともつながっている



設置された看板

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：2.2ha
植付本数：100本

参加者数

日本： 7人
インドネシア：70人
計： 77人

樹種

アボガド、ガジュマル、イチジクほか

エチオピア・ラリベラでの養蜂業拡大を目指した市民参加型緑化事業

エチオピア・アムハラ州ラリベラ市



事業概要

ラリベラでは養蜂業を推進するが、花蜜の採れる樹木の不足から量産できない。アカシア等の木を集中生産し、市民が屋敷林として植え、市民の自立した緑化を促す。主な活動は、①シマノ農園で苗木の生産。②6～9月の雨季に市民に苗木を配布して、市民が自宅周りの屋敷林、学校、ホテルなどに植林。③苗畑に必要な堆肥の生産を行う。

事業成果

コロナ禍と内戦下にありながら、苗木づくりを継続したいという現地の強い意志を受け、事業を継続している。予算規模が縮小され、植林も山岳地帯での組織された植林はなく、ラリベラのタウンに苗木が配布され、それぞれ個人や地区、組織のメンバーが自ら植林をしている。自分たちで緑化を継続していく意思が感じられる。

事業をよく知る関係者の声

- ・内戦で疲弊していて緑化に回せる予算がない中、日本からの支援に感謝している。ラリベラ市の農業局にも苗木を提供し、市との協働関係が進んでいる。緑化活動の源になる、シマノ農園での苗木づくりだけはぜひ継続してほしい。(ラリベラ市農業局)

参加者の声

- ・シマノ農園での活動は2010年から続いているので、畑を維持していくためにも苗木づくりの継続に感謝している。(シマノ農園労働者)
- ・カバレ(地区)に苗木の配布があり、各家から人々が出て植林に参加した。地区にはまだ木のない裸地があり、緑を増やしていきたい。(住民)



シマノ農園で生育中の苗木



搬出を待つ苗木



苗木の搬出



市民による植樹

実績とりまとめ

作業内容

苗木生産：14万6128本

中学生によるナイロビ市街地の自然林再生

ケニア・ナイロビ郊外マキナ



事業概要

ケニア国ライラエドゥケーションセンターの中学生が、植物による炭酸ガス固定、生物多様性復帰等の環境について、継続的に学ぶ機会を得る事を目的とし、自分達の校庭に植樹を行った。コロナ禍、ウクライナ情勢の勃発等から、ボランティア派遣は中止、日本から一人が現地に行き事前に用意した中学生向けの植樹テキストの使用、講演などを行って植樹祭を実施、生徒、関係者が苗を植えた。

事業成果

キベラ地区における植樹として注目された。ライラ教育センター財団理事長やNPOの若者も参加。日本からの新しい植樹方法を学んでいた。今回、参加できなかった小学生も中学生の植える姿を見て、参加したい様子だった。いず

れ小学校での植樹も行いたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・自分達で植樹を行う活動は、環境を良くする取り組みとして素晴らしい。(教育センター理事長)
- ・生徒が熱心に取り組んでいた。一回限りでなく今後も続けてほしい。日本からはるばるナイロビに来て植樹の指導をしてくれたことに深く感謝する。植樹祭は大成功だった。(校長、NGOグループ、教員)

参加者の声

- ・森づくりにおける植樹の方法と植林の関連性を学ぶことに感銘を受けた。また、苗木の生長を楽しみにしているし、さらに講義を聴きたい。(中学生)



植樹予定地で灌木の伐採



用意された苗木



植樹祭



植樹祭参加のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1ha
 植付本数：3030本
 植え穴掘り：3030か所
 マウンド造成：1ha

参加者数

日本： 4人
 ケニア：300人
 計： 304人

西アマゾン・アグロフォレストリー普及事業

ブラジル・アマゾナス州



事業概要

住民の流出により森林減少がすすむ地域において、森林再生と収入向上を両立させ、長期的な森林保全をめざす。主な活動は以下のとおり。①生態系回復・食料確保・収入向上に寄与するアグロフォレストリー技術指導（集合研修）、②コミュニティ苗床・灌がい設備の設置、③森林生態系回復のための在来種を用いた養蜂の導入、④小中学校と連携した環境教育（植林活動含む）など。

事業成果

95人の農家に対し定期指導を行い、アグロフォレストリー一栽培面積が約1425haとなった。アグロフォレストリーカカオの高付加価値化の指導も行い、2022年は販売価格が未加工品の約3倍に上昇した。コミュニティ苗床を3か所に

設置しアサイーとカカオの苗木を生産。3回の養蜂研修を実施。5つの小学校と1グループで環境教育を実施した。授業の一環として植林活動も行った。

事業をよく知る関係者の声

- ・アグロフォレストリー普及や作物の高付加価値化は、アマゾンの保全にとって重要です。そのためには、本プロジェクトで行ったような個別性を尊重した丁寧な指導や教育が欠かせません。（連携先地元NGOスタッフ）

参加者の声

- ・若者が農業に可能性を見い出せば、ここを離れたたり、自然を破壊する産業に従事しなくて良くなる。結果、アマゾンの森が守られる。（60代農家）



苗づくり



アグロフォレストリー技術研修



養蜂の集合研修

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：124.5ha
 個別技術指導：306回
 集合研修：5回
 苗床の設置：3か所
 環境教育：7回

参加者数

日本： 3人
 ブラジル：1041人
 計： 1044人

樹種

アサイー、カカオ

正藍旗における地域密着型生態林再生事業

中国・内モンゴル自治区ホンシャンドーク沙地



事業概要

ボランティア組織「正藍旗博日嘎思公益緑化協会」協力のもと、地域に根付いた生態林を再生し、砂漠化防止と緑化、事業自立化をめざす。以下4項目を中心に取り組む。

①急速に進行する砂漠化を低木類を中心とした植栽で防止する。②在来種を中心に植栽することで、植生を回復させ生態林を再生する。③植栽した苗木から挿し木や種子を得ることで緑化資材の自給化を図り、自立化した事業へと移行する。④地域住民及び現地団体と共同で事業を進め、緑化活動に対する技術及び意識の向上を図る。

事業成果

ホンシャンドーク沙地での緑化活動は、他の地区ではあるがこれまでも行ってきた。これまで同様、同地周辺住民からはできる限り在来低木種を中心に植栽し、緑化を進め

てほしいという要望が多かった。本事業では在来低木種で住民の生活に結び付く樹種を選択して植栽することで、現地の要望に沿うかたちで砂漠化地域の緑化を進めることができた。

事業をよく知る関係者の声

・新型コロナ感染拡大によりロックダウンされた時期や地域がある中、地球緑化クラブ現地スタッフの熱心な指導や説明のおかげで、近隣住民の緑化活動に対する意識は確実に向上した。(正藍旗博日嘎思公益緑化協会担当者)

参加者の声

・これまで砂漠化した土地が利用価値があるとは考えもしなかったが、植林作業を通じて緑地が回復している姿を目の当たりにすると、今後は積極的に苗木を植えたいと思った。(近隣住民60代男性)



黄柳の挿し木作業



挿し木



在来低木種苗の仮植



在来低木種を植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：6ha
植付本数：4万2500株
防護柵：1000m

参加者数

日本：87人
中国：269人
計：356人

樹種

黄柳、旱柳ほか

ジャカルタ湾岸 マングローブ林再生プロジェクト

インドネシア・西ジャワ州ブカシ県パンタイ・バハギア村



事業概要

ジャカルタ西部湾岸地域におけるマングローブ林の回復事業。エビ養殖池において森林回復を目的とし、オオバヒルギの植林を実施した。植林事業により将来的に自然生態系の回復が見込まれ、特に天然のエビ・カニなどの漁業資源の回復が期待できることから、森林回復活動と地域住民の生計向上効果の両立が見込まれる。また、当該地域は政府が定める森林保全区であることから、本事業の成果が政府公認の森林回復活動として承認され、インドネシアの森林保全政策におけるモデル事業として位置づけられた。

事業成果

エビ養殖池を活用したマングローブ林の回復事業。事業実施地における優先種であるオオバヒルギ植林。計8haの

エビ養殖地に2万本を植林。林業公社技官による技術指導を通じて、政府が定める基準に則った植林を実施。植付に際しては、地域住民の要望に基づき海岸浸食の被害が発生している地点に防護林として線状に植林し、浸食による養殖池の流亡を防ぐ工夫を行った。

事業をよく知る関係者の声

- ・予定通りの植林が地域住民の参加によってできた。地域の森林回復活動にとってモデルとなる取り組みだ。(林業公社職員)

参加者の声

- ・マングローブ林が回復することに伴ってエビ・カニなどの漁業資源が増加することに期待している。今後も森林回復に努めたい。(地域住民)



6か月間育苗ののち植樹



オオバヒルギ



養殖池の縁部に沿って植樹



順調に生育している(2020年植樹)

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：8ha
植付本数：2万本

参加者数

インドネシア：80人
計：80人

樹種

オオバヒルギ

パレスチナ・セルフィート県の耕作放棄地への植樹を通じた緑化事業

パレスチナ・セルフィート県マスハ村



事業概要

放っておくとゴミの不法投棄や違法接収の対象になりかねない耕作放棄地や公共地に植樹を行うこと。主な活動は以下のとおり。①入植地周辺の農地に土地を持つ農家の公募、植樹場所の公共地の選定、②議会、農家、学校からボランティアによる作業、③穴掘り・施肥、④議会、農家、学生、ボランティアが植樹、⑤個人農地への苗木の配付と植樹、⑥灌漑網の設置、⑦木の植え付けと生育のモニタリング、⑦追加の施肥と灌漑など。

事業成果

イスラエルとの境界線沿いに位置する対象村は、土地の違法接収や入域制限によって農業活動に大きな制約が課されている。入域許可が必要な土地も多く、植樹やモニタリングが困難な場所は、各農家が植樹を行った。また、村議会を通じた住民同士のつながり強く、植樹会の前から穴掘

や施肥の準備が進み、当日も多くの農家や村の若者が参加し、清掃、苗の搬入、植樹、個人農地への苗の配付などを行った。

事業をよく知る関係者の声

- ・重機や土地の没収により、困難を強いられている農家が多いなか、農家支援と町の緑化を同時に行えたことに意義がある。(村議会メンバー)
- ・子どもたちが楽しんで公共地のゴミ拾いを行う一方、清掃活動を躊躇する大人も多かった。ゴミを捨てないことを慣習づけられるかが課題。(コーディネーター)

参加者の声

- ・自由は制限されていても、こうした植樹会にも村の人みんなで参加して助けあう。今回の植樹や清掃を通して、自分たちの土地を守り、美しく保つことの大切さを学んだ。(農家20代男性)



植樹会オリエンテーション



植樹会



西洋ヒノキ、果樹、バラほかを植樹



農家への苗木配付

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：2.7ha
植付本数：1215本

参加者数

パレスチナ：54人
計：54人

樹種

西洋ヒノキ、果樹、バラほか

バングラデシュ国テクナフ半島の住民による森林再生

バングラデシュ・テクナフ半島



事業概要

テクナフ半島は豊かな森林が広がっている。しかし、近年ミャンマーからのロヒンギャ難民流入による人口圧により、2000ha以上の森林が居住区確保や材木調達のために伐採されている。その結果、食料や燃料、住居の材料を森に依存している地元住民は困難に直面している。また、当該地域は地元住民の多くが漁業で生計を立てており、森林伐採は将来的に水資源や漁業にも影響を与える恐れがある。

本プロジェクトではその周辺地域の学校や宗教施設などで植林活動を行った。

事業成果

植林地に植林する種は沿岸地域に適した在来の伝統的な植生とし、地域コミュニティや地元行政との協議を踏まえ、地元住民の生活の安定や収入につながるフルーツ、樹木、薬

用樹などを選定した。

啓発活動として生徒向けにワークショップを開催。さらに「世界環境デー」のイベントでは、植林の重要性を学校の生徒、教師、地域住民等の関係者に発信した。

事業をよく知る関係者の声

- ・植林活動は生態系や天然資源に多様な利益をもたらすため非常に評価が高い。特に、薬用樹、木材、果樹の植林を行うことを奨励している。(森林局担当官)

参加者の声

- ・森や林や海など、自然資源の大切さを学ぶことができた。(植林参加者学生)
- ・植林活動を通して地元住民や関係者と交流できた。コミュニティの環境に対する意識に良い影響を与えると感じる。(教員)



植樹のワークショップ



植樹前



植樹後



世界環境デー

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：6.65ha
植付本数：1万本

参加者数

バングラデシュ：1250人
計：1250人

樹種

グアバ、レインツリー、ニーム、マホガニーほか

中央カリマンタン国立公園周辺地域の環境保全事業

インドネシア・中央カリマンタン西コタワリンギン県クマイ町



事業概要

開発で焼失した森を再生させるため、村の公園づくりを通して森の再生を行い、国立公園近隣住民の環境保全の意識向上をはかる。主な活動は以下のとおり。環境保全を目的として村の有志が集まりオランウータンの棲む森の公園づくりを2年前から始め、国立公園に隣接するエコパーク内のバッファゾーンに植樹する。また、現地受け入れ機関と村の有志の協力により、村の小中学校1校で郊外授業による環境教育活動を行う。授業内容は「宮脇メソッド」を学べるような教材を作り、参加した村人や村の教育関係者、生徒たちが現在世界中で注目されている植樹方法を学べる機会を設けた。加えて植樹を行っている在来種の「葉」をモチーフにした教材も作成し生徒たちに在来種の種類を覚える機会を創出している。

事業成果

今年度より「宮脇メソッド」の導入により、苗木の着床率が90%近くになっている。また、5月～6月にかけてコロナの影響が弱まった機会に2年ぶりに渡航し、公園計画の見直しを有志と行うことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・宮脇メソッドによる苗木の植樹効果が現時点でも現れていると報告をもらっている。村の植物や植樹くわしい方から、村の小中学生と共有するととても良い機会を持たせたと伝えられた。今後も続ける価値のある活動だ。

参加者の声

- ・植樹場所は村から10kmほど上流で、生徒たちには慣れ親しんだ場所であった。新しい植樹方法や身近な在来種を知り、学びがあった。



在来種を植樹



下刈



植樹について学ぶ



教材を使って在来種の樹木について学ぶ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：2940本
下刈面積：0.03ha

参加者数

インドネシア：75人
計：75人

樹種

ウータンマンギス、ニヤトー、メンタワ、パプン、ガハル、ペランゲランほか

パンチカール市 地域の緑化推進のための公園づくり

ネパール・カブレパランチョーク郡パンチカール市



事業概要

地域の緑化推進のために、若者グループを中心に共有地に公園づくりをした。若い世代が中心となり、地域の共有地を公園として整備して、近隣住民とともに植林した。持続的に植林できるように苗木育成のトンネルを設置したり、森の木々への水確保のため、用水池の補修、木々に施肥するための堆肥づくり研修などを実施した。若者グループが公園の維持管理をできる体制をつくった。

事業成果

地元の若者グループが中心となって植林活動を行った。堆肥づくりも研修で行い、今後の木々の育成のために自分たちでつくった堆肥を活用していくことができるようになった。小中学校での環境教育は継続して実施して、地域の

緑化への理解を促している。

事業をよく知る関係者の声

- ・ラブグリーンとは協働で農業支援や緑化を進めてきている。パンチカール市において初めて「公園」という場ができたことに感謝している。今後も地域の住民グループの活動に期待している。これから市の観光開発も進めて行く予定だが、同時に環境保全対策も大切である。(パンチカール市長)

参加者の声

- ・公園ができてうれしい。たくさんの人に来てほしい。(若者グループメンバー)
- ・自分たちでつくった公園なので大事にしていきたい。(若者グループメンバー)



植樹場所の整備



ネズ、イチヨウ、グアバほかを植樹



用水池の補修



小中学校での環境教育

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.43ha
 植付本数：998本
 堆肥づくり研修：1回
 環境教育：4回

参加者数

ネパール：412人
 計：412人

樹種

ネズ、イチヨウ、グアバほか

中国内モンゴ・ホルチン砂漠の砂漠化防止活動

中国・内蒙古自治区通遼市



事業概要

過放牧や過開墾等の人為的な経済活動により急速に砂漠化が進行した中国・ホルチン砂漠の植生の復元、及び地元住民の自立支援を目的として以下の緑化・砂漠化防止活動を行った。主な活動は以下のとおり。①通遼市庫倫旗アオルン地区の荒漠地130haを封柵し、マツ・ポプラほかを植栽して植生の回復を図った。②井戸を14本掘削し、灌水機材も準備して植栽した苗木の灌水を適宜実施した。③ニンテアオの種を播種し、植被率の向上を促進した。④ポプラの草取りを実施して活着率を向上させた。

事業成果

植栽した樹木の加着率が高い。とりわけ、マツは9月中旬時点では100%。播種したニンテアオも順調に発芽・成長をしている。アオルン村からの参加者は、意欲的積極的

な人が多く、当会現地スタッフが休憩時などを利用して事業内容の説明や今後の展望等を話す機会を多く持ち、緑化事業への更なる関心喚起と理解深耕に努めた。

事業をよく知る関係者の声

- ・今回はガボウの隣のアオルン村でも緑化事業が広がり、ガボウの緑化事例を知っているアオルン村の住民もとても期待している。広がった緑をしっかりと活用していきたい。(庫倫旗ガボウ牧場副場長)

参加者の声

- ・今回自分たちの故郷を自分たちで緑化する機会を得られ、とてもうれしい。すぐには砂漠化する前の様子には戻らないと思うが、毎年少しずつ緑に戻していきたい。(旧アオルン村民30代男性)



ポプラ・マツほかを植樹



家畜などから樹木を守るため柵を設置



井戸の掘削



播種作業

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：47.1ha
植付本数：46万4000本
播種面積：24ha

参加者数

中国：337人
計：337人

樹種

ポプラ、ニンテアオ、マツ

森林保全と森林防火管理における養成の強化

ボリビア・サンタクルス県マシクリ市、ポストレルバジェ市



事業概要

2020年に大規模森林火災があったポストレルバジェ市ほかの各自治体における森林保全と森林火災予防管理における人員を強化し、ボランティアの消防士や地域住民に焼き畑農業の適切な管理と啓発、森林火災の際の消火訓練を実施する。主な活動は以下のとおり。①森林火災の影響を受けた地域の村人を対象に、環境管理、天然資源管理、防火、火災に直面した行動方法を訓練する。②森林保全と森林防火、管理、管理の問題に関するバジエグランデ郡のボランティア消防隊を訓練する。③ボランティア消防隊に、消火活動に必要な道具を装備する。④山火事の影響を受けた地域での森林再生のための植林。

事業成果

今年は消火道具を必要とする森林火災は発生していないが、道具を使用した訓練が行われ緊急時に効果的に活用できる。植林やアグロフォレストリーに農民が関心をもつ

ており、今後継続的に植林ができるように自分の村の苗木センターを作ることに積極的になっている。

事業をよく知る関係者の声

- ・アグロフォレストリー農法は環境的には良いが短期収入の面からみるとインパクトは少なく、また畑の使用効率も悪いので定着しにくいだろう。(森林管理局関係者)
- ・酪農が多い地域には農業だけでなく酪農とアグロフォレストリーを指導してほしい。(農家)
- ・ボランティア消防団の支援は消火道具より装備の方が大切。(ボランティア消防団)

参加者の声

- ・アグロフォレストリーは初めての経験で、森を模倣するところがすばらしいと思った。(農民)
- ・本当に木の横にトウモロコシを植えて実がなるのかと思ったが倍以上実が付き、しかもとてもエネルギーいっばいに育っている。(高校教員)



アグロフォレストリー講習会



トウモロコシ畑には果樹ほか植えられている



植樹



ボランティア消防隊

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：4.7ha
植付本数：4280本
下刈面積：4.7ha

参加者数

ボリビア：404人
計：404人

マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業

マダガスカル・アラトラ省アンボヒダヴァ村



事業概要

アンボヒダヴァ村の4つのコミューン(村)の住民とともに植樹した。草原を整備し、土砂災害を防止するための植樹を行った。樹木は、アカシア・ユーカリほかを植樹した。また、肥料と新たな農具を購入した。住民はあらかじめ集会所で日程や方法についての説明を受け、現場で専門家から指導を受けつつ植樹した。集会所での説明会は8月以降12月までほぼ毎月1~2回開いた。

事業成果

住民は自然環境保全のために植樹しているのだという自覚がしっかり根付いてきたと感じた。住民は、樹木の生長

を大切に見守っていくはずとの期待感が我々にふくらんだ。

事業をよく知る関係者の声

- ・①サイクロンが来ると地すべりなどの被害が出て苗木にダメージが出る。植樹した苗木の管理を徹底したい。②これまで数年近隣で植樹を行ってきたが、住民たちの植樹に対するモチベーションは下がっていない。③植樹はこれからも続けたい。(調整員)

参加者の声

- ・木を植えることで、土壌の崩壊を防げ、建築のための木が育っていく。緑の環境が広がっていくことが楽しみ。



植樹の説明



ユーカリ、アカシアほかを植樹



植樹に参加した子どもたち



しっかり育つよう水やり

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：20ha
植付本数：1万8500本

参加者数

日本：1人
マダガスカル：2000人
計：2001人

樹種

ユーカリ、アカシア、ピナスほか

ネパール シンドウパルチョーク郡におけるコーヒー育苗と栽培による環境保全

ネパール・バグマティ州シンドウパルチョーク郡インドラワティ村



事業概要

コーヒー植樹により、産業づくりにつなげて持続可能な環境保全活動を実施する。対象地は地震で崩壊した環境の復興を行うために複数年植林を実施してきた。しかし、植林のみを多エリアで実施することは保全維持を行う上で限界がある。そのため、換金作物であるコーヒーを選んだ。主な活動として、コーヒー植樹を継続的に実施するために、コーヒー育苗の正しい方法の講習、育苗の実践と植樹に加えて、コーヒーの木に直射日光が当たらないようにするために日陰をつくる樹木の植林をコーヒー農業に関心の高い農家を中心に実施した。

事業成果

コーヒー栽培の中心となる場所は山であるために、植樹および育苗ができるように土地の形状を整えて、育苗1万、コーヒー植樹200本、日陰樹を農家のコーヒー植樹対象地域を含め4000本を植えた。植樹及び育苗に関しては現地と日

本の専門家による指導を行い、コーヒー特有の技術やノウハウの提供することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・近年、ネパールにおいてもコーヒー栽培が可能であると証明され栽培地が広がりつつある。そんな中、我々の地域でもコーヒー栽培ができることは、資源がないこの地域において大変注目度が高くなっている。より多くの農民がチャレンジしてほしい。(インドラワティ村元区長)

参加者の声

- ・コーヒーには関心を持っていたが、この地域では栽培することが無理だと思っていた。しかし、専門家がこの村でも栽培できるという説明をしてくれ、必要なノウハウをしっかりと教えてくれるので、コーヒー栽培にチャレンジすることに決めた。日本の方法はこれまでの農業指導では得られなかった情報がたくさんあり、良い木が育てられると感じている。(農家)



育苗



整地して植樹の準備



コーヒーの植樹



日本人専門家による講習

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：40.05ha
植付本数：4000本
育苗：1万200本

参加者数

ネパール：87人
計：87人

樹種

コーヒー、カスタノブシス、ユーカリほか

フィリピン・ベンゲット州における鉱山開発地域の森林再生事業(2年目)

フィリピン・トゥバ町



事業概要

ルソン島北部山岳地方は古くから鉱山開発が盛んに行われてきた。特に大規模採掘が長年行われてきた地域では、近隣のコミュニティで、土砂崩落、土壌侵食、地盤沈下、水不足、水質汚染など様々な環境への影響が起きてきた。トゥバ郡での当事業2年目では、露天掘り採掘地域に隣接する地域住民を対象に、森林保全と生計向上を同時に行うためにアグロフォレストリーを推進し、現地協力団体の調整と森林専門官の指導により15家族がアラビカコーヒーの植樹を日陰樹のもとで行った。また、水源共有林で土砂崩落を防止し水源を守るために植樹を行った。

事業成果

コミュニティの水源共有林において1週間にわたる植樹活動を実施することができた。2009年の台風で集落の一部が土砂崩落で大被害を受けた場所であるが、災害が10年以上たって住民の防災に関する意識が風化し、森林の農地へ

の転換が進んでいる。1週間の植樹活動は防災意識を呼び戻すものとなった。

事業をよく知る関係者の声

- ・新型コロナウイルスの感染による規制は大変厳しいものだった。観光地であるバギオ市では多くの商業施設が閉業し、働いていた若者たちは仕事を失い、また感染を恐れて出身地の村に帰った。そして生きていくために農地を広げようと山岳部では森林破壊が進んだ。環境と経済の両方を考慮した新しい村の形を、村に戻った若者たちが率先して実現して欲しい。(現地協力団体CGN共同創業者)

参加者の声

- ・過去に土砂崩落が起こったエリアでタケを植えているとき、2009年の台風による甚大な災害を思い出した。もう2度とあんなことが起こってほしくない。(コミュニティ植樹活動参加者)



アラビカコーヒー苗の運搬



コーヒーの植樹



水源共有林での植樹



収穫したコーヒー豆の選別方法を学ぶ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1万8650本

参加者数

フィリピン：51人

計：51人

樹種

アラビカコーヒー、ハンノキ、オオベニコウカン、アカギ、タケ

水源保全とアグロフォレストリー推進事業

ホンジュラス・エルパライス県、フランシスコモラサン県



事業概要

ホンジュラス山間部において、自然との共生、および環境と調和した持続可能な農業を実現するため、アグロフォレストリーを推進し水源を保全する対策を実施する。主な活動は以下のとおり。①土壌流出の防止や食料源となる苗木の植樹および苗床の設置、②湧水地の周りに囲いを設置。

事業成果

①対象地域35コミュニティで38種 1万9450本の苗木を植えることができた。②乾燥地帯に位置する本事業対象地にて、農民が自然環境と調和した農業について意識を高めることができた。また、事業への参加を通じてコミュニティの団結力が増し、より良い社会づくりに向けた取り組みが活性化した。③湧水地の周りにも植樹し柵で囲むことにより、水源への獣害を減らすことができた。④果樹は農作物として栄養不足解消の一助となることが期待される。

事業をよく知る関係者の声

- ・自然環境保全の意義について、コミュニティの人びとに知識をもたらした大変意味のある事業であった。(植樹指導スタッフ)
- ・植樹活動に参加した生徒から、多くの樹木の種類を知り楽しんだ様子がうかがえた。授業の一環として、植樹された場所を歩きながら、生徒たちが自然の大切さを学べるような校外学習の機会をつくりたい。(小学校教員)

参加者の声

- ・自然のありがたさを感じるとともに、緑を育てていかなければならないという強い使命感を持った。(テクシグア市住民)
- ・水源保全活動を通じて、汚れていない貴重な水とともにある持続可能な未来を思い描けるようになった。自然を守り、自然と共生し、次世代に望ましい環境を残したい。(サン・アントニオ・デ・フローレス市住民)



水源の整備



植樹前の準備



果樹ほかを植樹



苗づくり

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：5.94ha
 植付本数：1万9450本
 苗床設置と管理：35か所
 水源整備と管理：35か所

参加者数

ホンジュラス：1824人
 計：1824人

樹種

マンゴー、マクエリソ、アカシア、コルテス、赤リンゴ、サワーソップ、ヨーロッパナラ、アボカドなど38種

タイ北部山岳地域パンカー村の森林再生と農村開発

タイ・パヤオ県ポン郡パーチャンノイ地区



事業概要

祖国を逃れ約40年前に難民としてこの地に定住し、代々の農地を守ってきた。この地で安定した農業収入を得るために「GMO トウモロコシ畑」を「果樹林」に転換し、持続可能な森林農業と共に荒廃した大地を緑豊かな農地にする。そのことにより森林をよみがえらせ、自立と持続可能で安定した豊かな生活の向上をめざすとともに環境保全型森林農業と循環型社会形成のモデルとして地域に波及させる。植栽面積58.56haを完了し、生育調査にあわせて病害虫や土質などの調査も行った。

事業成果

植栽地の一部は住民所有地のため、各住民たちのコミュニティが良く、農作物の共同収穫や共同出荷に加えお互いの学習など盛んである。今回の植栽や成育など事業に関する知識が豊富であり、近郊の村の模範となって他の村か

ら学習に訪れる農家が続けている。

事業をよく知る関係者の声

- ・これまで遺伝子組み換えトウモロコシ栽培だけを栽培していたが間違いだった。農業により目が悪くなったり、健康がおびやかされている。(村役員)
- ・他村の人から出稼ぎに行かなくても生活できる収穫が始まり喜んでいると聞いた。ドリアンを育てたい。(副村長)
- ・みんながんばっている。とてもうれしい。(村長)

参加者の声

- ・果樹を植えるのは初めてだったが、みんなに手伝ってもらって植えたが、収穫をめざし勉強しながら栽培したい。(30代女性)
- ・3年前マンゴーをもらって植えたのが大きく育ち、来年は花が咲きマンゴーがなるようがんばって育てている。苗木をありがとう。(小学校6年女子)



植栽ミニ講習



苗木の搬入



マンゴー、ラムヤイほかを植樹



地球環境セミナー

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：58.56ha

植付本数：7597本

参加者数

タイ：600人

樹種

マンゴー、ラムヤイ、アボガド、ランブータン、ドリアン

モザンビーク共和国モリンガプロジェクト

モザンビーク・カーボデルガド州ペンバ、ナンプラ州ナンプラ



事業概要

貧困率の高い北部地域のスラム地区において、開発による自然の荒廃といった環境問題や貧困問題と栄養不良の改善の複合的問題を解決するため、持続成長可能かつ実効ある活動を行う。主な活動は以下のとおり。①モリンガとカシューナッツなどをカーボデルガド州ペンバ・ナティティ、カリアコ地区及びナンプラ州ナンプラ・ナミコボ地区の各家庭の庭に移植する。②子ども環境学習を4回実施する。③ナンプラ寺子屋の浅井戸の設置。

事業成果

イスラム過激派のテロ紛争により食糧難が深刻化、かつ避難民が流入しているため、ペンバに加えて、ペンバから

南に車で6時間の距離にある当会が設置した疎開施設ナンプラ寺子屋での「食べられる緑化」に初挑戦した。但し、ナンプラ寺子屋では予算の関係から浅井戸しか掘れなかったため、今後、深井戸を掘削し、ナンプラ地域も人と緑が調和するコミュニティへと発展させたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・テロの影響でこれまでとは違う地区でも播種育成を行うことにした。過酷な状況にある農民を支える活動として役に立っているので続けてほしい。(農業グループ)
- ・食料難がさらに深刻になっているので、より栄養価があり、栄養補給しやすい樹種も選定していくと良い。(講師)

参加者の声

- ・次は違う木を植えたい。(子ども)
- ・調理に使えるぐらいモリンガが育っている。(移植した家庭の主婦)



モリンガの移植



井戸掘り



大きく育ったモリンガ



環境学習

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
植付本数：808本

参加者数

モザンビーク：186人
計：186人

樹種

モリンガ、グアバ、レモン、カシュー

次世代の森づくりを担う 人材育成事業



地域を巻き込み、森林・森の恵みを活用したSDGs学習を展開する！

山形県村山市、天童市、山形市



事業概要

農業環境科では、学科生徒と教員を中心に「みどり活用グループ」をつくり、森林の維持管理や保全、森の恵みであるキノコや山菜の生産や間伐材などを活用した木材加工の学習を積極的に取り入れ、持続可能な開発目標（SDGs）に沿った様々な視点の学習を行い、その成果を地域住民に還元したいと考えた。活動は次のとおり。①地球温暖化防止や生物多様性の保全を目的とした森林管理の学習、②間伐材やキノコ・山菜などの有効活用に関する研究、③地域住民を対象とした森林・森の恵みを活用したSDGs学習の展開。これらのことを通して、本校の演習林内を整備する。また、間伐材などを薪として活用するとともに、生徒が学習の成果を地域に発信する取り組みに注力した。

事業成果

助成により、刈払機、チェーンソー、薪割り機、ヘルメットの購入ができ、安全・安心な状況で林業教育ができて

いる。本校の活動はマスコミなどでも取り上げられ、地域住民の関心も高かった。また、地域住民を対象とした出前講座などもできた。

事業をよく知る関係者の声

- ・村山産業高校は林業系の学校であったが、林産物の生産はキノコだけであり、間伐材なども放置していた。それらの資源を薪などにして活用することができたため、森林や林産物を学習するの重要なピースがはまったと考えている。（地元会社関係者）

参加者の声

- ・参加者の年齢層は広がった。木工体験などを実施した際の参加者からは、木材に親しむことができたことや、高校生が管理・生産する森林から得られた木材を用いた環境学習に驚きの声があった。木材を生産し、それらを活用した環境学習を実施・運用できる組織として貴重である。



樹木調査



チェーンソー講習



森林教室



高性能林業機械講習

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：4.2ha
 除伐面積：4.2ha
 間伐面積：2.2ha
 森林調査：23回
 イベント：5回

参加者数

県内：275人
 計：275人

『創』美しいもり!!プロジェクト

群馬県みどり市



事業概要

若者向けに、SDGs目標達成のためのプログラム開発及び社会実験を行い、SDGs活動や映像創作を通して将来の森林づくりのリーダー育成をめざす。また創作された映像をもとに「美しいもりが、人・環境・豊かさの調和のとれた地域が創生・再生された社会=SDGsが達成された社会に寄与する」ことを前提とした問題意識の共有、実績の共有、じぶん事化を進めるための取り組みを行った。内容は「美しいもりと次世代の森づくり」を考えたり、SDGsに取り組んでいる高校生を招き意見交換を行った。

事業成果

宿泊参加者についてはSDGs活動を通してSDGsにおける思考法を学んだり、実際に山仕事に従事し高い技術技能を有する人との交流を行った。「生業」ということを理解できたのではないかと思う。

事業をよく知る関係者の声

- 参加者の真剣な態度に驚いた。人材育成には多少なりと



宿泊研修林業体験



苗を移植



映像創作



高校生によるパネルディスカッション(大間々高校未来塾)

も貢献できたかと思う。講義講演内容もアップグレードできたしこれからも行っていきたい。(宿泊研修)

- パネルディスカッションでの聞き手はストレートで聞きやすい話を欲していると思う。SDGsを表に出すとかえって聴く人は理解しにくい、今みんながやっていることが自然にSDGsになっているという方向が聞きやすいのではないか。

参加者の声

- どこにいたとしても森林と繋がっている事に気づけて良かった。将来林業に直接かかわりたいが、もし難しかったとしても森林にかかわり続ける事を生活に落とし込んで考えていけることに気づけた。
- 実際に森林で働いている人の話を直接聞くことができ、自分の目標をはっきりと実感できた。
- 自分も貢献できることを考えて実際にやらなければと感じた。
- 実際に見て触って感じる事が改めて重要だと思った。

実績とりまとめ

作業内容
 植付面積：0.2ha
 植付本数：20本
 映像創作

参加者数
 県内：113人
 県外：10人
 計：123人

森林ボランティア青年リーダー養成講座

東京都青梅市、奥多摩町、京都府亀岡市、兵庫県宍粟市、香川県さぬき市、丸亀市、まんのう町、徳島県三好市ほか



事業概要

目的は、体験から一歩進んで、森林ボランティア活動に継続して関わる若い担い手を育てるためである。主な活動は、東京、関西、四国3か所での18歳～40歳を対象とした講座の実施で、それぞれ5回連続の講座を実施した。第1回：オリエンテーション、レクチャーなど。第2回～第4回：道具の使い方、間伐など人工林の整備、雑木林の整備、竹林整備など。第5回：振り返りなど。

事業成果

今年度は新たに36人が参加し、森林・林業・農山村について理解するとともに、森林保全活動に参加する若者を増やすことができた。

事業をよく知る関係者の声

・森林所有者、林業研究グループなど講座の受け入れ側の

高齢化が進んでいる。そこに若手が参加し、手入れをすることには大きな意味がある。今回のメンバーは前向きで一所懸命取り組んでいた。ボランティアであり、参加できない回もあると思うが、だからこそ今後も講座を継続して参加できる人を増やしてほしい。(四国講座に関わる行政関係者)

参加者の声

- ・木を伐るのは初めての体験だったが、やはりとても大変だった。多種多様な植物が生えている豊かな風土を改めて実感した。(関西講座)
- ・今後も多くの現場や人と関わりながら、まずは自分の知識や経験を増やしていきたい。そして、子どもに森林の働きについて伝えられるようになりたい。(四国講座)



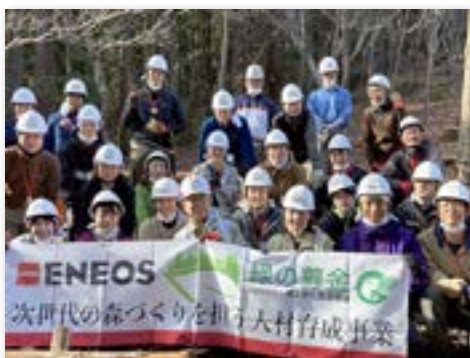
間伐 (京都府亀岡市)



竹林整備 (亀岡市)



間伐 (徳島県三好市)



東京奥多摩町での参加者

実績とりまとめ

作業内容
 除伐面積：1.5ha
 間伐面積：1.5ha
 参加者数
 計：36人

大学生による森林保全活動推進プログラム

和歌山県田辺市



事業概要

国内における森林保全活動の推進をめざし、学生の森林保全に対する興味関心を生み関わる機会を増やすこと。ターゲットは就職活動を控えた大学生と、中長期的にキャリア選択を行う中学生である。主な活動は、①植林を体験するイベント。②学生が森林保全に関心を持つために有効なワークショップ。③参加者の森林保全への関心度が①②に参加した前後で変化したかを効果測定する。

企画・運営は当団体と協力関係にある大学生が主体となって行うことで、彼らが森林保全に関わる重要性や、楽しさを知るきっかけを与える。また、林業を学んでいない学生が企画することで、森林保全や林業に関心のない人が関心を持つための新たな視点の企画を作成する。

事業成果

林業や森林保全における課題を問題提起し、関心を持つ

きっかけを与えた。

事業をよく知る関係者の声

- ・山との関わりが少ない方が山での作業を体験してくれることはありがたい。今後はどのように山を面白がることのできるのか若い目線で提言いただけるとこちらの学びにもなります。(造林業者)

参加者の声

- ・林業が今後発展していくためにどうすればいいか考える機会になった(大学生)
- ・ゲームを通して林業のことについて知ることができて良かった。(中学生)
- ・環境に配慮したものを選んで買うことが森林保全につながるので、生活の中で意識していきたい。(中学生)



ウバメガシを植樹



植樹の様子



41人が参加



参加者の皆さん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.06ha
 植付本数：200本
 植林プログラム：1回
 ワークショップ：2回

参加者数

県外：41人
 計：41人

樹種

ウバメガシ

気候変動対策、土地本来の森づくりを協働！

神奈川県葉山町



事業概要

コロナ禍が長期化し子どもたちはストレスを抱えている。2019年より森の講座を総合学習の時間に5年生全クラスで定期開催している葉山小学校の先生方より、森づくりの体験の場が校庭内でできないだろうかとの希望があった。卒業を控えた6年生130人が130本を植樹した。植樹地は、児童たちにより『葉っぱいの森』と命名され、児童が描いたイラストと共に記念碑に刻まれた。

事業成果

5年生時に座学で森の役割や機能を勉強した児童が6年生となり、卒業記念に実際に森づくりをすることが決定した際、児童たちから歓声があがった。植樹祭の準備作業で

は、昼休みや放課後に自主的に残り、森づくりを手伝う児童もいた。植樹祭当日には、保護者も早朝より集まり、各クラスごとに三密を避けながら行う植樹を見守っていた。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちの記念樹を育む取り組みに関われたことに、一卒業生としても感謝している。(記念碑を製作した石材店主)

参加者の声

- ・みんなに愛される森になってほしい。森がみんな思い出となり、そして森の成長と自分たちの成長を重ねてほしい。(プロジェクト担当の教員)



5年生4クラスでの森講座(4年目)



植樹地を整備



6年生が植樹



「葉っぱいの森」と命名

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.002ha
植付本数：130本
枝で粗朶づくり：50m分

参加者数

県内：322人
計：322人

環境リーダー育成 実践型森林ワークキャンプ

栃木県益子町、福島県いわき市、大阪府富田林市、静岡県裾野市、三重県名張市、青森県鱒ヶ沢町



事業概要

森林保全活動を通じて、学生と地域住民をつなぎ、森林保全への意識と行動を共に高め、交流や連携を生み出すこと。主な活動は以下のとおり。①全国6か所で8事業、7～6月に5～14日間（計77日間）、間伐・草刈り・歩道作り・植樹等の森林保全ワークキャンプの実施。②リーダー訓練合宿に合わせ、成果報告会を東京で1回開催。③6月にこの事業の受入団体代表を大阪府富田林市に招き『森林ボランティア開催地サミット』を実施。

こうしたワークキャンプが新しい活動モデルとして全国各地に広がり、また参加したボランティアや住民が保全活動の新たな担い手として活動を発展していくことも期待。

事業成果

地域側で地域住民の理解を得た上で、作業中・生活面でのコロナガイドラインを作成したり、withコロナ時代にお

ける合宿型のボランティアのベースができあがった。コロナ禍における合宿型ボランティアの森林保全事業について、コロナ後のビジョンなどについて議論することができ結束力が高まった。

事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍で参加者が集まるか不安だったが、大学のグループは既に何回か会っているようで、最初から結束力を感じられた。(いわきの森に親しむ会会員)
- ・地域側との交流ができなかったことは、参加者にとっては残念だった。(白神山地を守る会)

参加者の声

- ・自然に寄りそった昔ながらの生活を体感することは、人間と自然の共生について身をもって学べる貴重な機会であり、今後もこのスタイルを続けてほしい。(富田林GRリーダー)



ササ刈 (福島県いわき市)



間伐後の皮むき (大阪府富田林市)



伐採木を運び出す (三重県名張市)



ブナ、ミズナラほかを植樹 (青森県鱒ヶ沢町)

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.5ha
 植付本数：220本
 下刈面積：0.5ha
 除伐面積：0.7ha
 間伐面積：0.5ha

参加者数

計：65人

樹種

ブナ、ミズナラ、イタヤカエデ

若者主導の多世代参加型の里山再生事業

神奈川県二宮町



事業概要

台風等で崩落が続いている町内の小山群はかつて薪山であったが今は誰も入らずヤブ化し真っ暗な森で獣害も深刻である。若者、子育て世代がチームになり多世代の住民参加の里山再生事業の道を開き安全講習を経て専門家とともに作業計画を作成。7月から川勾地域の竹林整備に入った。コロナ禍リモート学習となった大学生数名が大量のタケを伐採。さらに高所伐採の技術習得にも努めている。散策できる山道づくりにより今まで入れなかった地域の森をダイナミックなワークショップ会場として提供できた。

事業成果

若い世代が山林整備の基礎力を付け川勾山林で作業実績を示せた。他の里山整備団体と交流を推進、周辺事業であるタケチップパー、竹炭づくり、クラフト等伐採した木材の活用方法学び生ごみ処理機普及団体等と繋がり展開した。令和4年のフォーラムを機に複数地主と繋り、現在は手続

を進めている。町と情報共有を続け山林整備の協働の道を開きつつある。また、他市の山林整備現場と連携、町内原木椎茸農家と協力して技術を学び若い世代に事業を繋げる道を開いた。

事業をよく知る関係者の声

- ・町は法人の新しいビジョンと子ども達と若者、大人と繋がる地域の輪を評価。当法人が中心に提案した協働の環境フォーラム「ぼくたちわたしたちの地球会議」の定着を環境基本計画で宣言、令和5年度のフォーラムで気象非常事態宣言をさらなるワークショップを踏まえて子どもたちを真ん中に発令することを決めた。(教育委員)

参加者の声

- ・若い世代や子育て中の保護者が地域の山林整備に関わることで新しい学びや気づき、さらに防災、災害時のセーフティネットに繋がることも分かった。(小学生の保護者)



歩道整備



竹材を活用して歩道づくり



竹炭づくり



林内整備

実績とりまとめ

作業内容

樹勢回復：30本
 下刈面積：0.5ha
 除伐面積：1.2ha
 間伐面積：0.05ha
 ワークショップ、シンポジウム

参加者数

県内：280人
 県外：50人
 計：330人

大学生による森林・竹林整備

京都府京都市



事業概要

大学が所有する大枝演習林サカイ谷で下刈を行った。2回実施した。キノエ谷でも下刈を予定していたが、ヒノキの成長度合いを見て判断した。三山木竹林活動は2回実施、竹林内の整備等を行った。また、間伐を2回実施した。

事業成果

大枝演習林サカイ谷の下刈は完了できた。また、三山木竹林の活動は12月に1回予定していたが、雪の影響で中止となった。しかし、2回の活動を実施できたので竹林内が整備できた。

事業をよく知る関係者の声

- ・活動計画は森林整備に加えて竹林整備や炭焼きまでと多彩なものとなっていて若い人たちにとって緑化活動に対する考え方が変わってくれたものと思う。SDGsにつながる活動を体験することで社会に対する向き合い方も違ったものになっていくとともに、後輩や友人にも伝えてほしいと期待している。(演習林職員)

参加者の声

- ・天気に恵まれ、例年の暑くてしんどい下刈というイメージが払拭できた。(3回生)
- ・初めての活動参加で竹林整備を行ったが、タケを切る感覚が気持ちよかった。(1回生)



下刈



竹林整備



間伐



作業参加者

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.3ha
 間伐：42本
 森林資源活用：0.44ha

参加者数

府内：61人
 計：61人

次世代と共につくる里山と菊炭の未来

大阪府能勢町、池田市



事業概要

里山保全に重要な地域固有の製炭業（菊炭）が放置林や獣害で衰退している。この課題解決に次世代と共に取り組み、植樹を通じて次世代が継続的に関わる持続可能な里山をめざす。

次世代の森づくりを意識し、地元や近隣の高校生大学生の参加を積極的に働きかけ、菊炭窯の見学や里山見学会、里山管理作業体験等を実施。昨年より継続している近隣市の小学校への里山出前講座で里山学習と里山のドングリを小学校園庭で育苗。5月にはこうしたかわりを持った学生も参加して植樹会を行った。

事業成果

「次世代の森づくりを担う人材」を意識し、里山フィールドワーク等との積極的な連携活動を行った。昨年に続き、近隣市の小学校での出前講座の継続、また新たに園芸高校で

も試行的にドングリ苗の育苗が始まる等、教育機関との連携も深まっている。

事業をよく知る関係者の声

- ・植樹の意義を学び、実際に植樹することは今後の里山保全を学ぶ機会になる。（高校教員）
- ・楽しみながら学ぶことができ、めったにない良い機会だ。（高校教員）
- ・山に来て土に触れてその感触を知り、色々な木や葉に触れてその違いを知る。現場でしか学べないことは山ほどある。（森林ボランティア）

参加者の声

- ・里山は人が入って整備していたから里山だったんだ、ということが分かった。（高校生）
- ・町の日常の生活では体験できないことを体験できた。今度は炭焼きも体験したい。（小学生の保護者）



クヌギの植樹（菊炭と里山を未来につなぐ植樹会）



獣害防止ネットを見学



製炭を学ぶ



参加のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.35ha
 植付本数：280本
 下刈面積：0.1ha
 除伐面積：0.25ha
 製炭学習、里山見学

参加者数

府内：46人
 府外：157人
 計：203人

樹種

クヌギ

緑をとりもどせ！土砂崩壊防止をめざして

鳥取県智頭町



事業概要

目的は、学校林内にある以前はススキの草原であったが、シカの食害により裸地となった山腹斜面を復元緑化するために、シカの不嗜好性植物を植栽して土砂崩壊を止め、ススキの繁茂をめざすこと。主な活動は以下のとおり。①植栽個所である山腹斜面は、30°前後の傾斜があり、冬季には1m以上の積雪と北西風の風衝地であるため、厳しい環境にあっても成林が期待できる地元で自生の確認された樹種(外来種は使わない)を選定した。②高校生が地元の林業研究グループの代表者から指導を受け、急斜面での安全を確保しながら10種類の苗各20本を植栽した。③シカの食害被害の有無に加え、雪圧による倒伏、根こげ、幹折れなどの被害を継続観察した。

事業成果

今回、新たな試みとしてシカが不嗜好性を示す忌避樹木

による緑化を開始することができた。植栽を行った高校生は、授業で保林全般を学習するが、植林の経験はなく、今回、急傾斜地での植栽は貴重な経験となった。

事業をよく知る関係者の声

- ・山腹斜面の緑化には、斜面の土砂移動を止めることが第一である。そのためには斜面に階段状の平坦地を造成するなどの工夫も必要だ。また、植林後の観察は数十年単位の期間が必要である。対照区を設けて検証することも必要である。(県林業試験場研究員)

参加者の声

- ・すぐに結果が出る事業ではないので、これから後輩たちが植林面積を広げて研究を続けていってほしい。(高校生)
- ・ひとつひとつの作業によって裸地から緑豊かな場所になっていってほしい。(高校生)



計画立案の打ち合わせ



指導者と現地踏査



学校林斜面にシカの忌避樹木を植樹



ネジキ、ソヨゴ、エゴノキ・アセビほかを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1.5ha
植付本数：200本
活着・雪害調査

参加者数

県内：37人
計：37人

樹種

ネジキ、ソヨゴ、レンゲツツジ、ウリハダカエデ、ゴマギ、エゴノキ、アセビ、シロダモ、ミツマタ、シキミ

子どもたちの未来の 森づくり事業



緑の募金では、「ファミリーマート夢の掛け橋募金」並びに㈱ファミリーマートの募金寄付により都道府県緑化推進委員会推薦事業として「子どもたちの未来の森づくり事業」を実施しています。

にちようびの森～森で育つ子どもたち

北海道帯広市



事業概要

地域の公共財としての帯広の森に子どもたちが足を運び、森づくりや自然観察、体験活動などを通じ、森への興味関心や愛着を育む。主な活動: 森の手入れ(草刈り、外来種除去、ツル切りなど)、馬搬(間伐材の搬出)、木こり体験、ネイチャーゲーム、シイタケの植菌体験ほか。子どもたちが森づくりの体験を通じ、自然に興味関心を持ち、森が多世代の交流スペースになるような活動を行った。

事業成果

隔月の活動にとどまらず、当該事業実施の他にも親子で森に足を運び、あそびや交流ができる活動がスタートした。毎月定期的な活動を行うため、森の景観が一層整備されているほか森が市民にとって身近な場所として定着してきた。また、コロナ禍で比較的安心して集える森づくり活動では、森は子どもたちが心豊かにたくましく育つための大切な場

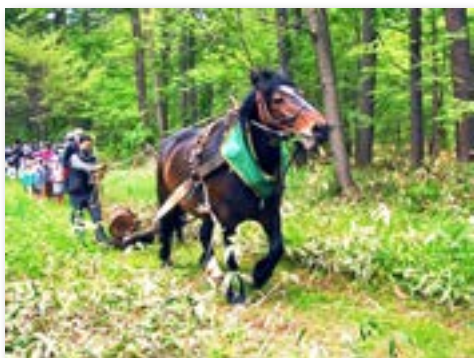
所となっている。

事業をよく知る関係者の声

- ・3年間共に森づくりを行ってきて、安心して子どもが訪れることのできる森になったと感じている。大きな間伐作業も一区切りつき、これからもこの環境を維持する活動を継続していき、森づくりのノウハウが会員に蓄積していくことを期待している。(帯広の森・はぐくーむ)

参加者の声

- ・馬の背中にとったらあたたかかった。馬が荷物を運んでいるところがかっこよかった。虫のトラップにクワガタとかカブトムシがいなくて残念だったけど楽しかった。(小学2年)
- ・人見知りの娘が、植物のことを教えてくれるお兄さんの話を聞いて楽しそうでした。また来たい。(保護者)



間伐材を馬搬



シイタケの植菌



薪割り



救命救急講習会

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.2ha
 除伐面積：4ha
 間伐面積：1ha
 馬による搬出：0.5ha
 ツル切り：0.1ha
 道づくり：50m

参加者数

道内：856人
 計：856人

子どもと馬を中心にしたコミュニティによる里山整備及び森林環境教育推進事業

北海道苫小牧市



事業概要

地域の小学生とともに、なるべく化石燃料を使わず馬を活用した整備作業を通じた活動を通して、子どもたちへの森林環境教育活動の推進と、北海道的里山モデルの構築をめざす。そのために、かつて「森のようちえん」に参加していた小学生を対象に行っている放課後体験活動「森っこアフタースクール」と連携し、馬による森林整備をからめた森林環境教育活動を提供した。また、かつての「森っこアフタースクール」参加者をボランティアとして募集し活動に協力してもらった。土日を活用し、保護者も参加できるイベント「森っこホリデー」を実施した。

事業成果

参加者が安定して増えてくるようになったと同時に、保護者や元保護者の参加が増えてきた。また、他地域の園や自治体の地域おこし協力隊が研修として訪れるようになり、活動が広がりをもってきた。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林を所有する園として、専門家や元卒園した後の子どもや保護者が手入れをしてくれることは本当に有意義であり、ありがたく思っている。森や馬を通して世代や業界を超えてつながっていくことに大きな意義を感じている。(ひかりの国幼稚園園長)

参加者の声

- ・OBとして関わっていることにうれしさを感じている。より主体的で専門性の高い活動提供や技術習得ができた(大学生ボランティア)
- ・自分の子ども達が育った園の森で、今度は私自身の自己実現ができる場と機会になっているような気がする。自分の子ども達と過ごした頃を思い出しながら、その頃やりたかった活動を今の子達や保護者の方とできることに意味を感じている。(元保護者)



高校生と小学生による森林整備



馬搬



薪割り



親子イベントに参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.5ha
間伐面積：6ha
親子イベント：8回

参加者数

道内：60人
計：60人

ふるさとの森・遊びの森作り事業

北海道恵庭市



事業概要

失われていく自然環境の保護と、自然の中の厳しさや五感を生かした保育の充実を主として活動を行う。主な活動は、市内幼稚園、保育園、こども園の自然体験活動の利用、市内学童の放課後育成事業における自然体験、市民への自由開放を行う。

事業成果

市内幼稚園の自然体験のカリキュラムは継続して行われている。また、以前は3～5歳の幼児期が多かったが、2～3歳の低年齢層でも森の中で散歩をするなどの活動を取り入れることができています。また、市内の学童クラブの放課後の活動も増え、キャンプや川遊びの体験を行うことが

できた。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林における環境学習を行うことで、子どもののびのびとした成長と、自信をもって様々なことにチャレンジできるようになった。(保護者)
- ・広いフィールドを使って、子どもたちののびのびとした体験ができることが贅沢なことだと思う。安心して使える森があることが良い。(幼稚園教職員)

参加者の声

- ・子どもが自然の中で遊べる環境が身近にあって良かった。(保護者)



幅が広がってきた自然体験カリキュラム



楽しみながら森や木を学ぶ



薪割り体験



炭づくり

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：1ha
間伐面積：0.3ha
教育キャンプ：2回
野外活動：28回

参加者数

道内：32人
計：32人

こどもたちとつなぐ未来の森プロジェクト

青森県むつ市



事業概要

青い森が県名の由来である緑豊かな地域に生まれ育った子どもたちと未来に向けた森を育て、森の大切さを伝えていく。主な活動は以下のとおり。①伐採後に再造林されていない森林の地拵え、②地元の木、青森県及びむつ市の指定木「ヒバ」の植栽、③SDGsの森と海の豊かさを守る落葉樹「ブナ」の植栽（県及び市との連携）、④子どもたちによる植樹体験（地元小学校及びクラブチームとの連携）、⑤子どもたちへ森の大切さを伝えるための森林教室及び林業機械見学と丸太切り体験（森林組合との連携）。

事業成果

新型コロナウイルス感染症の拡大により一般の子どもたちの募集はできなかったものの感染対策を徹底しながら、人数を限定し、2団体との植樹活動ができた。森林教室では、成長盛りの若い木が二酸化炭素をよく吸収することを学び、子どもたちにも植樹の大切さを伝えることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林の中で行う森林教室は、教室での学習より子どもたちの目がキラキラしていた。山・川・海をつなぐ水によって豊かな海産物が育まれていることや、森林は二酸化炭素を吸収して地球温暖化を防いでいることなど、森林の働きを学ぶ良い機会となる。（小学校教員）
- ・コロナ禍では難しいが、木工作ブースや飲食ブースなど親子で楽しめる企画を盛り込むことで参加者を増やすことができるのではないかと。（参加クラブ担当者）

参加者の声

- ・落ち葉がないと海や川がよごれるのがわかったし、絵もあってわかりやすかった。（小学生女子）
- ・林業機械が木をつかめて、のこぎりみたいなもので木をきったのを初めて見た。はやかったし、あまり音がしなかったので、最新の機械のすごさを感じた。（小学生男子）



植樹の準備



ヒバ、ブナを植樹



林業機械見学



森林教室

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：500本
 地拵え：0.2ha
 支柱設置：500本
 イベント：4回

参加者数

県内：130人
 計：130人

樹種

ヒバ、ブナ

SDGs キッズ海岸防災未来の森づくり事業

宮城県仙台市、七ヶ浜町



事業概要

東日本大震災で失われた広大な海岸防災林を継続的に再生していくため、未来を担う子どもたちに関わってもらい、海岸防災林を自分たちのものという意識を持ってもらうこと。また、新型コロナ禍で思い切り自然体験ができていない子ども達に、海岸防災林や海岸の開放空間でのびのびと活動してもらいたいという意識もあった。そのため、小学生から高校生までの幅広い世代に、海岸防災林の植樹や保育、海岸清掃、運河での釣り活動等を体験してもらい、海岸防災林での楽しい思い出をつくり、海岸防災林を自分たちで育てていくという意識を芽生えさせた。

事業成果

再生してきた海岸防災林も、ほぼ植樹が完了し、社会の意識も薄れてきている。そこで、宮城県や市町村とも相談し、小学生や高校生、親子等を積極的に海岸防災林に招待して楽しく活動してもらい、そのすばらしさを伝える事業

を行うことになった。本事業を実施し、たくさん子ども達の海岸防災林での活動事例(モデル)をつくったことにより、子ども達も関わりながら海岸防災林を再生していくという機運が高まった。

事業をよく知る関係者の声

- ・子ども達が海岸防災林で活動する機会をつくっているすばらしい事業だ。(県水産林政部森林整備課)
- ・七ヶ浜町の復興のためにたくさん子ども達が来て、元氣と勇気をもらった。(七ヶ浜町菖蒲田浜地区会ほか)

参加者の声

- ・ツル取りが楽しかった。マツ林がきれいになって良かった。(小学3年男子)
- ・自分たちだけでは来られないので、子どもたちに貴重な体験をさせていただいた。(放課後子どもクラブ職員)
- ・国や県はもっと責任を持って整備してほしい。(ボランティア)



抵抗性クロマツほかを補植



海岸防災林に生き残っている希少な広葉樹の保育作業



除草



参加親子に海岸防災林について説明

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.5ha
 植付本数：140本
 樹勢回復：980本
 下刈面積：4.3ha
 除伐面積：1.5ha
 施肥：150本

参加者数

県内：918人
 県外：1人
 計：919人

樹種

抵抗性クロマツ

子供たちへ繋ぐ森林の風

秋田県北秋田市



事業概要

身近にある里山をフィールドとして、幅広い世代による体験活動を通して地域の豊かな自然を大人から子どもに伝えるとともに、緑あふれるふるさとへの郷土愛を育む幼少期の原体験とする。主な活動は、①秋田スギ伐採跡地にブナなど地域に自生する広葉樹の植栽体験とこれまで植栽した広葉樹の手入れ、②巣箱づくりと小鳥の観察会を3回に分けて実施した。応募者は年々増加している。

事業成果

事業開始から3年目となる今年は、地域外からの参加者に加え地元北秋田管内の保育園や幼稚園の協力も得られ、

イベントとして完全に定着した。また、植樹や巣箱かけの面積がある程度の広がりを持ち、子どもたちが安心して遊び、学べる「森」の基礎できあがった。

事業をよく知る関係者の声

- ・3年間参加してくれた親子が多いので木の種類の学習会も企画してはどうだろうか。(市会議員)

参加者の声

- ・これからも親子での参加できる植樹や樹木の手入れもしたい。(親子参加者)
- ・苗木が育っていることを確かめる観察会もお願いしたい。(70代女性)



植樹地を整備



ブナ、ナラ、クリを植樹



巣箱かけ



植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.5ha
 植付本数：330本
 樹勢回復：50本
 下刈面積：0.5ha
 巣箱づくり：33個
 看板設置：1基

参加者数

県内：80人
 計：80人

樹種

ブナ、ナラ、クリ

高島町天神山の遊歩道等の改修及び植樹事業

山形県高島町



事業概要

地区民の憩いの場である天神山は、ここ数年の豪雨により遊歩道を兼ねた石段等に危険な箇所が見られるようになったり、すり鉢状になったりしている。そこで、遊歩道の改修並びに新たにソメイヨシノ植樹を行い、地区の老若男女、近くの高島中学校生徒、及び通行人が気軽に利用しやすくする。実施内容は、①遊歩道整備、②大径木伐採、③地区民・地区内子どもや高島中学生によるサクラ植樹、施肥活動、④地区民による環境整備活動。

事業成果

天神山北側の耕作中止していた土地の所有者が、荒れたままにしておけないと、アーモンドを数十本植樹した。中学生が花見に来た後日、その保護者が子どもから良いところだと聞いて花見に来た。「とてもきれいですね」と楽しんで

ていた。

事業をよく知る関係者の声

- ・開校以来毎年花見をさせていただいている天神山の植樹、環境整備に参加できたことは、生徒にとって有意義であった。地域の方の長年にわたる作業によって、サクラが楽しめることを学ぶとともに、今後も環境整備作業に参加して、中学生が地域に役立つ活動を創造していきたい。(教員)

参加者の声

- ・サクラを見に来て、俳句を詠んできた天神山の植樹作業に参加できて良かった。今後も地域のためにがんばりたい。(中学生)
- ・今年も何か植えるのかなと楽しみにきた。(小学生)



下刈



支障木の伐採



サクラの植樹



中学生たちの花見

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：6本
下刈面積：0.36ha
遊歩道整備：40m

参加者数

県内：109人
計：109人

樹種

サクラ

ふるさとの風景づくり植樹祭

福島県矢祭町



事業概要

未来の子どもが自慢できるふるさとの風景づくり（地域の風景をデザインする）。主な活動は以下のとおり。荒れ果てた耕作放棄地を地域の方々と協働で整地して、福島復興支援を兼ねて、原発事故により大きな影響を受けた富岡町の夜ノ森桜等を地域の子どもたちの協力を得ながら地域の方々とともに植栽する。

事業成果

福島県が緊急事態宣言を発出したことにより、子どもたちの参加を見送らざるを得なかった。そうした状況にあっ

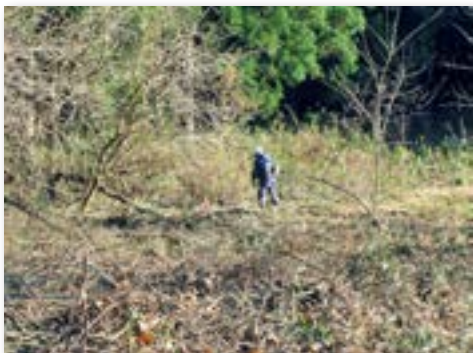
たが、土地所有者のみならず地域の多くの方に参加いただいたこと、活動エリアをさらに拡大してほしいとの要望が出されるなど、これまでの活動の成果が見えてきた。

事業をよく知る関係者の声

- ・荒れていた耕作放棄地がきれいに整理されてきたことはすばらしい。さらに広げていってほしい。（農業関係者）

参加者の声

- ・4年間やってきて成果が見えるようになってきた。やってきて良かった。（地元参加者）



植樹地の整備



支障木の伐採



サクラ、カエデを植樹



植樹祭参加のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.3ha
 植付本数：75本
 下刈面積：3ha
 地拵え等：0.3ha

参加者数

県内：89人
 県外：6人
 計：95人

樹種

サクラ、カエデ

ふるさとの森を守ろう

茨城県筑西市



事業概要

残された里山(森)を子どもたちの自然体験の場、環境教育の場として活用し、次世代に引き継ぐべく保全する。主な活動は以下のとおり。①小学生が授業の一環として参加し、里山の保全を共同で行う(コロナ禍で中止)、②「ふるさとの森を守ろう」(小学生、一般)(コロナ禍で中止)、③会員のみで間伐材にシイタケ植菌を行う、④小学生、一般参加による植物観察会、⑤月1回の定例作業。

事業成果

コロナが収束せず、予定された事業が実施できなかった。しかし、会員による間伐、間伐材の有効利用が行われた。5月には小学生や一般の方々の参加で春の植物観察会を実施

した。コロナ禍ではあったが、密になりにくい場所として、次第に来訪者が増えてきた。

事業をよく知る関係者の声

- ・市広報、当ホームページのイベント案内により、予想を上回る子どもたちの応募があった。うっ積した思いを里山の自然で発散させたいという思いがあったのではないか。

参加者の声

- ・植物観察会に参加した親子からは、密になりにくい自然の中で参加でき、久しぶりに楽しい思い出となったとの感想があった。



自然観察会



身近な里山を楽しく学ぶ



山菜を味わう



シイタケの植菌

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：2ha
 間伐面積：1.5ha
 植物観察会：1回
 シイタケ植菌：100本

参加者数

県内：189人
 計：189人

子どもたち参加の里山体験活動

茨城県古河市



事業概要

稲宮の森は、地元住民の生活（燃料・肥料）等に貢献していた。しかし、生活環境の変化から放置され、産業廃棄物の不法投棄が著しく、地元住民から「ごみ山」と称され景観や樹勢環境が著しく悪化していた。この森を再生するため当会を結成、その目的は、多くの市民が身近な自然環境（里山）に関心を抱き、ふるさとの里山を守る機運を醸成するため、市民が里山に関心を高めるよう子どもたち参加の里山体験活動を行う。

事業成果

児童の家庭などでの会話により近隣住民に里山が話題が

広がり、里山の関心が高まってきた。市民の散歩コースにもなってきた。身近な里山に触れあうことにより自然環境（里山）保全の啓発につながってきた。

事業をよく知る関係者の声

- ・会員高齢化により継続した里山整備には、若手会員の加入を促進したい。現在、企業の森づくりに加入している社員の参加者数は増加している。

参加者の声

- ・近隣住民から「ごみ山」と称されてきた里山が保全整備され、植樹されたサクラも400本となり見事な花山になっている。



里山の立ち枯れ木や倒木の調査活動



里山の恵み体験（サツマイモ掘り）



シイタケ植菌体験



植物観察

実績とりまとめ

作業内容
 下刈面積：10ha
 除伐面積：5ha
 間伐面積：0.5ha

参加者数
 県内：23人
 計：23人

みんなで作るみんなの森プロジェクト

栃木県那須塩原市



事業概要

生物多様性に富んだ森林を再生するため、荒廃林となっている保育園の園庭林を活用して、子ども達が森林の役割や整備の必要性を学びながら、すこやかに成長することをめざす。主な活動内容は以下のとおり。全5回ワークショップ形式で開催する。第1回下刈、第2回下刈とデッキ製作補助、第3回下刈とデッキ製作補助、第4回下刈と間伐体験、第5回森の観察会。

事業成果

整備面積を拡大し整備を進めた。しかし、コロナウイルス感染拡大の影響を受け、参加者が少なく計画通り進めることが難しい状況であった。ツリーハウス製作も断念せざるを得なくなり、急遽、間伐材を利用したデッキ製作に変更した。しかし、最後の森の観察会には多くの方に参加し

ていただけた。荒廃していた森林は光の差す森となり、どぐりからは新芽が顔を出し、参加者達の環境への感心が高まった。

事業をよく知る関係者の声

- ・この那須野ヶ原は良質の土壌で環境が整っているため、多種多様な植物等が見られる。しかし、この里山も手をかけなければ、自然循環も崩壊してしまう。ワークショップを通して子ども達に学びの場を提供する活動はとても重要だ。(講師)

参加者の声

- ・子ども達にとっても森の園庭はとても良い体験ができる活動場所になった。この森の維持管理を続けることが大切だと思う。(30代女性 保護者)



森林整備



自然観察会



間伐体験



トチノキを記念植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：2本
下刈面積：0.5ha
間伐面積：0.1ha

参加者数

県内：64人
計：64人

樹種

トチノキ

石原里山整備で感性豊かな子どもの育成事業

群馬県渋川市



事業概要

伐採されたスギ山を活用して、地域の子どものための散策道や遊びの場を設け、植樹体験で緑の大切さを学び、山林保全と地域の交流を図る。実施した内容は、伐採木を搬出、切り株を整理して散策道、昆虫ゾーン、木材を生かした遊具を設置、植樹祭を開催。参加者は森林とふれあい、水やりで苗木の成長を見守ることで樹木の大変さを学んだ。

事業成果

子どもたちが森林の大切さや友だちや地域の人と苗木を植えることで植樹の喜び、楽しさを学び、味わうことができた。参加できない幼児たちも里山の下方から見学することで良い勉強になった。

事業をよく知る関係者の声

・山を守り続けていくという意識を園児や保護者、近隣の

参加者の中に、みんなで植林する映像として残せたのではないかと。「石原里山こども広場」をつくったことは子どもが大人になったときにも思い出として残ることだろう。(公民館長)

・傾斜を活かした里山広場づくりをめざすとともに、生物多様性のなど森林の様々な働きへの理解が深まった。(元教員)

参加者の声

・トネリコにはカブトムシが寄ってくるのか。虫が大好きな子どもたち、うれしいだろうなあと思いながら植えた。(保護者30代女性)

・穴を掘って植えるのと水やりが楽しかった。(園児)

・山の上の方へ登ったらカニがたくさんいて驚いた。植樹でさらに虫がいっぱい来る未来の豊かな環境が想像できた。(保護者30代男性)



散策道を整備



子どもたちが植樹



サツキ、トネリコ、サクラほかを植樹



植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.01ha
 植付本数：20本
 下刈面積：0.1ha
 除伐面積：5本
 地拵・整地：0.1ha
 散策道：100m
 丸太遊具設置：1か所

参加者数

県内：105人
 計：105人

樹種

サツキ、トネリコ、サクラ、
 ヤナギ、ミカン

みんなで守ろう 育てよう!よしみ里山プロジェクト

埼玉県吉見町



事業概要

手入れ不足で荒廃した里山の保全とその活用を、地域住民や都市住民の参加により行う森づくりを通じた森林ESD活動を行う。主な活動は以下のとおり。①活動目的の説明とレクチャー、②自生樹木の観察、③落ち葉溜めづくり、④保全活動(落ち葉かき、更新のための伐採)、⑤ホダ木づくり・シイタケ植菌、⑤植樹、⑥樹幹ロープによる綱渡りなどの森の遊び、⑦バイオマストイレの活用と運用。

事業成果

太陽光発電設備の開発工事が始まり、状況が落ち着くまで集客活動は見合わせた。工事完了後、景観は大きく変化。このため、境界域に日陰をつくる植樹を行い自然環境の変

化に対応した環境整備を行った。しかし、反射光や風向きの変化などにより環境悪化が見込まれ、樹木の枯れや植生の変化への対応が今後の課題である。

事業をよく知る関係者の声

- ・里山活動を体験した子どもの表情がイキイキしていた。(県環境アドバイザー)

参加者の声

- ・普段経験できないことを子どもと体験ができて良かった。(親子参加者)
- ・2年前に植菌したシイタケを収穫することができた。(親子参加者)



落ち葉かき



ノコギリ体験



シイタケ植菌



スダジイ、クワほかを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.6ha
植付本数：39本
間伐面積：0.2ha
シイタケ植菌：2回
森の遊び：1回
落ち葉かき：1ha

参加者数

県内：98人
県外：19人
計：117人

樹種

スダジイ、クワ、サクランボ、ミカンほか

「森のがっこう」里山再生と木の活用事業

千葉県千葉市



事業概要

小中学生のための森林環境教育を行う。主な活動は以下のとおり。①季節や樹々の成長に応じた里山の手入れを専門家から学び、参加者と共に行う（下刈、ツル切り、植樹等）、②伐って、作って、使うという間伐材の活用を通し、森林循環サイクルについて学ぶ、③子どもたちが体験を通して、自ら考え行動に移せるような環境保全の周知啓発イベントを行う。

事業成果

活動5年目を迎え、低学年の頃から活動にかかわってきた参加者は、下刈やツル切りの仕方、ノコギリの使い方などを新規参加者に伝授する姿も見られた。3月の植樹では「密植」という新しい植え方も教わり、新たな知識を得ることもできた。これまで森の間伐材で作ったものを、各参加者が生活の中でどのように取り入れて使っているかを言葉と写真で振り返る機会を設けた。

事業をよく知る関係者の声

- ・回を重ねるごとに子どもたちがより積極的に取り組むようになり、また他の参加者たちともコミュニケーションがとれるようになってきている。（講師）
- ・最終回に「森（木）の役割は?」「木を切るのは良いこと?悪いこと?」と参加者皆で意見を交わせる場があったのは大変良かった。この体験を通し、適切に人間が森に関わり必要に応じて伐採したり、その木を活用したりしていく大切さを学んでいることがうかがえた。（小学校教員）
- ・森（木）と土の関係や、森（木）と水との関係をもっと学べる機会があると、環境問題について視野が広がり、学びが深まるように感じる。（サポートスタッフ）

参加者の声

- ・これからも元気な森を守っていくために、自分たちができることをすすんでやりたい。（女子）



コナラ、クヌギ、ガマズミほかを植樹



落ち葉かき



巣箱づくり



ノコギリ体験

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.12ha
 植付本数：38本
 下刈面積：0.28ha
 除伐面積：0.07ha
 間伐面積：0.02ha
 巣箱づくり：1回

参加者数

県内：519人
 県外：44人
 計：563人

樹種

コナラ、クヌギ、ガマズミ、
 ミズキ、ゴンズイ、ヤマボウシほか

歴史ある学びの森で、地元の小学生へ体験学習

東京都八王子市



事業概要

聖パウロ学園高校の学校林であるパウロの森をフィールドにした体験学習で、地元の子どもたちが森の役割や自然の大切さなどを学び、それに相応しい安全な森づくりに継続的に取り組む。具体的には、パウロの森くらぶが森を整備し、恩方第1小学校・恩方第2小学校児童に対し下記4回の森林学習プログラムを企画・実施する。1年生「葉っぱのお絵かきと植樹」、2年生「落ち葉や木の実で作ろうクラフト」、3年生「森の探検隊」、4年生「間伐・玉切り体験」。

事業成果

今年は4年生も自分たちが植樹した成果を実際に見ることができた。1～2年生は「遠足」としても実施しており、子

どもたちの喜びが大きい。

事業をよく知る関係者の声

- ・自然に囲まれた地域だが、きちんとその自然を学ぶ機会はなかなかない。短い時間の中、子どもたちの興味を引き出し、楽しい時間をつくっていただき感謝している。熟練した運営もすばらしいと感じた。(副校長)

参加者の声

- ・パウロの森は新しい経験ができ、とても楽しいのでまた来たい。(子どもたち)
- ・子どもたちの笑顔が楽しみで毎年すすんで関わりたい。予備日の設定が大変きついが、補って余りある体験となっている。(スタッフ)



ヤマボウシを植樹(1年生)



葉っぱでクラフト(2年生)



自然観察(3年生)



間伐材の玉切り(4年生)

実績とりまとめ

作業内容

体験授業：4回
森の整備：毎月2回

参加者数

都内：38人
都外：13人
計：51人

災害に強い子どもたちが育つ森づくり事業

東京都日の出町



事業概要

子どもたちが森づくりを楽しめるものとして感じ、参加者が森の歴史を学ぶことのできる活動である。①学びの森にする。1986年の西多摩大雪害の後、放置されたままの状態であったこと、また2019年の台風被害が甚大であった歴史から、森の役割と地域の森の状態を学ぶ。②遊びの森にする。森で遊ぶことによって、森を普段の生活に近づける。③災害を生き抜くための訓練の森にする。災害が起きた際、どう生き延びるかを自ら考え、行動できるようにするための体験の森にしていく。

事業成果

歩きやすい道をつくり山に入りやすい環境を整えた。その道を利用し、地域の中学生が山に入るようになった。また、山火事の際の消防団の苦労話も聞くことができた。継

続して山を知ってもらおう企画をしていきたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・地元の中学校の生徒や保護者でも、山の中での作業経験がなく、その感想は参加して良かった、との声があった。雪害や水害を振り返ることで、森林整備の大切さ、森林の役割を知ってもらう機会をもっと設け、働きかけをしていこうと思う。

参加者の声

- ・昔の大雪災害の話や台風19号の被害など、山の整備が大事だと知った。(中学生)
- ・短時間でも作業をすることで山がきれいになり、生徒も楽しんでいただけた。(保護者)
- ・安全に進められ、「また作業したい」と言ってもらえて良かった。(講師)



作業現場に向かう



作業についての説明



伐採のための選木



伐採後

実績とりまとめ

作業内容
下刈面積：0.3ha
作業道整備

参加者数
都内：50人
都外：30人
計：80人

故郷の里山再生および園芸文化の復活プロジェクト

新潟県三条市



事業概要

荒れた里山を整備し、かつて緑化造園木の生産地であった頃の姿を取り戻し、地元住民および一般外来客が散策できるような環境を創出し、地域の活性化に貢献すると共に三条市の観光資源の一翼たらしめる。主な活動は以下のとおり。①はびこっているモウソウチクの伐採。②豪雪によって折れたり倒れたりした支障木の伐採、撤去、集積。③生産地であった頃の情景を創出することを前提に支障木の伐採、撤去、集積。④遊歩道からの景観を楽しむよう情景を塞ぐ樹木を撤去し休息スペースをつくる。⑤低地から見上げても作業成果がわかるレベルの整備をめざす。

事業成果

これまでより奥のエリアで伐採作業を行った。車両が入れないエリアなので、谷に倒れた木は上の遊歩道からロープで引きあげたり、巨木は現場に集積することになった。これらにより景観もかなり良くなった。ほぼ予定どおりの結

果を得られた。

事業をよく知る関係者の声

- ・高木を除間伐することで地表面への日当たりが良くなり、新たな植生が生まれると思うので、下刈などを継続していくことが望まれる。すでに整備区画にヤマユリが随所に見られるようになった。(保内公園当初設計参加者)
- ・子どもたちが自然環境に親しめる環境づくりに参加し、緑に親しむ心を醸成するのは大変良い取り組みことだと思う。(小学校教員)

参加者の声

- ・地元の人はずっと大勢参加して現状を認識すべきだ。何十年も放置されるとこんなに荒れるのだということ。(70代男性)
- ・ただ伐るだけではもったいないので、掘り取って造園に使わせてほしい。(30代男性)



森林整備



支障木の伐採



下刈



サンシュユを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：4本
下刈面積：0.7ha
除伐面積：0.9ha
間伐面積：0.4ha
緑の教室：2回

参加者数

県内：151人
計：151人

樹種

サンシュユ

子どもたちの未来の森づくり事業

石川県小松市、輪島市



事業概要

第66回全国植樹祭は2015年5月に石川県で開催され、式典参加者による記念植樹が小松市の「憩いの森」で行われた。植樹された樹木は順調に成長しているが、継続した保育が必要といえる。地域のシンボルとなる森に育て、学童の「森の学び」のフィールドとして整備する。

また、輪島市金蔵地区には、美しい里山や奥能登の原風景を留める棚田維持に不可欠な用水用溜池周辺の山林保全活動が地域住民により行われているが、高齢化に伴い次第に困難となっている。特に、この地区は歴史的資源が残されており、世界農業遺産「能登の里山里海」の一翼を担うべく地元住民並びに小中学校と連携し、未来に引き継ぐ地域の象徴的な森づくりを行う。主な活動は以下のとおり。

「憩いの森」①植樹区域の下刈、②植樹区域に隣接する法面の雑木伐採により、ハイキングコースの景観改善。

「金蔵の里山保全」①金蔵山の休憩用東屋周辺の下刈、②集落に隣接する里山で学童による植樹体験区域の整備。

事業成果

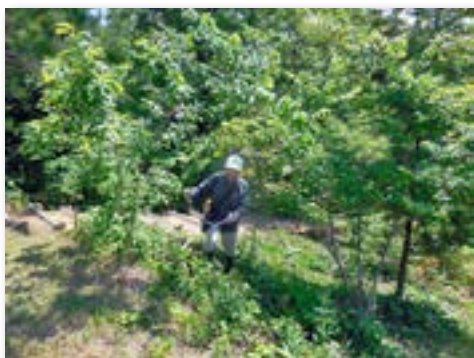
金蔵の里山保全活動は、新型コロナウイルスの影響でやむなく日帰りの活動となった。地元住民及び能登地区の会員の参加を得て、今後の活動実行のための確実な一歩を踏み出すことができた。また、新規入会メンバーに対してベテラン会員が安全指導等を行うことで、安全な作業につなげることができた。

事業をよく知る関係者の声

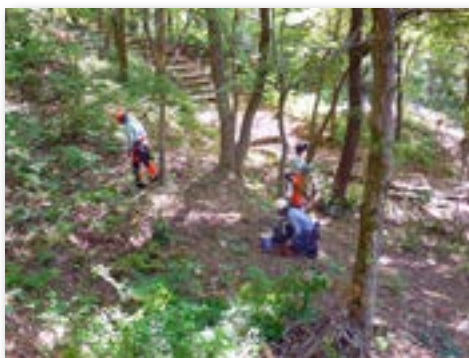
- ・憩いの森では、一昨年行った地域の学童による森林整備の見学会が好評だったので、継続しての実施が希望された。(憩いの森管理事務所員)

参加者の声

- ・金蔵について、地元住民の参加者が会の活動を高く評価し、会に加入することとなった。(地元住民)



下刈（憩いの森）



間伐（憩いの森）



下刈（金蔵地区）



除伐（金蔵地区）

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
植付本数：20本
下刈面積：5.4ha
間伐面積：0.2ha

参加者数

県内：116人
計：116人

鬼無里で「みんなの森づくり」プロジェクト

長野県長野市



事業概要

担い手不足で荒廃がすすむ山林を子どものための森あそびなど多面的に活用できる森に再生するため、森林ボランティア「鬼森隊」を育成・組織化する。主な活動は以下のとおり。①森林ボランティア養成のためのチェーンソー安全講習会1回。②チェーンソー練習会2回。③森林整備実践会を1回、支障木の伐木、枝払い、玉切り、搬出を行った。④子どもたちと秋の森観察会。⑤オーストリアの森を学ぶセミナー、オーストリアでの森と人とのつながりについての講演会。

事業成果

荒廃林を「子どもたちの環境教育の場」として活用するため、山林所有者3名より継続的に整備することに許可を得ることができた。森林ボランティア育成講習会・練習会では、里山の現状や活用方法、整備の必要性等について座学と実践を交え、理解しながら技術を学ぶことができた。技

術的に基準に達成したものは正式に「鬼森隊」として14人を認定。今後も継続的に森林整備に関わるメンバーとして活躍が見込める。秋の森観察会では、「みんなが遊べる森」のイメージを共有することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・放置されていた山林整備のために若い人が地域に足を運んでもらえ喜ばしい。(山林所有者)
- ・初心者への指導は大変神経を使うので、内容的にも詰め込み過ぎずに安全第一を心がけた。(チェーンソー講習指導者)

参加者の声

- ・秋の森を観察する会に子どもも参加。初めての森の中で戸惑っていた子どもたちが、思い思いに遊び始めたので驚いた。(30代保護者)
- ・安全な山仕事の心得も座学と実践の両方で学べ、今後の森林整備に役立てていきたい。(40代男性)



チェーンソー練習会



里山整備実践会



秋の森を観察する会



オーストリアの森セミナー

実績とりまとめ

作業内容

除伐：7本
講習会ほか：3回

参加者数

県内：82人
県外：4人
計：86人

小中学生のためのフォレスター養成講座

長野県大町市



事業概要

次世代の森づくりを託せる森好きな子どもたちを育てるために、わかりやすく楽しい切り口で、多彩な森の魅力を伝えることをめざす。主な活動として、千年の森自然学校で、県内外の子どもやその保護者を対象に、間伐といった森林整備の作業に加えて、ツリーハウスづくりやきのこ狩りとキノコ植菌、山菜採り・調理、薪割りといった森林を体感し、味わい、伐った材を活用する事業を6回行った。また地域によって竹林の拡大も問題となっているので、地元の親子を対象に竹林整備とハチク採りも1回行った、持続可能な森林整備と活用を考える機会をつくった。

事業成果

間伐材でツリーハウスをつくったり、キノコの菌打ちや薪割りをしたり、伐った木を丸ごと使い尽くす体験を提供できた。特に都市部在住の子どもやその保護者が多く、安全に配慮しながら、都会では味わえない様々な森林体験を

楽しんだり、チャレンジする場を提供できた。様々な森林での体験を通して、間伐の意義や、キノコを植える意味、山菜の持続可能な採集の仕方や安全で美味しい調理方法など、森林の生育サイクルや物質循環、森の恵みの活用について、五感を通して学ぶことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもの関心、やりたい気持ちを削がないこと、できたことはしっかりほめて、達成感が感じられるようにする。(千年の森自然学校主宰)
- ・様々な道具や調理器具を使ったり、危ない道を歩く時は、安全の注意を子どもたちにしっかり伝達する。(ボランティアリーダー)

参加者の声

- ・薪割りやキノコ植菌が楽しかった。(子ども)
- ・タケを使った、おもちゃ体験の時間がもっとあっても良かった。(30代保護者)



カラマツの間伐



間伐材で小屋づくり



立木に穴を開けてキノコ植菌



山菜の仕上げ

実績とりまとめ

作業内容

除伐面積：0.03ha
間伐面積：6ha
小屋づくり：1棟
薪割り：3回

参加者数

県内：35人
県外：150人
計：185人

名勝「金尾滝」周辺の「森の学び」整備事業

岐阜県大野町



事業概要

地域住民に親しまれ、子どもたちにとって安全な森林空間の創出をめざし、雑木などが生い茂った森から、広葉樹による景観林に変える。主な活動は以下のとおり。①雑木の伐採・ツルなどの撤去、②下刈及び植樹場所の清掃、③伐採木を利用してベンチ・テーブルの製作・設置、④地域住民の見学会、⑤子どもたちといっしょに植樹会の実施。

事業成果

地元の見学会を行い、新聞にも掲載され、遠くは名古屋から散策に来ていただいている。今後も大勢の人を楽しんでいただけるよう整備に努めたい。なお、今年度に植樹した、ミツマタなどが群生となる景色を今後も楽しみに見守

っていきたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林整備にとどまらず、健康増進、森林環境教育、治水の面からも素晴らしい取り組みであり、今後も協力していきたい。(県会議員、町長)
- ・雑木伐採やスギ葉撤去をしたことにより、ギフチョウの幼虫の餌となるカンアオイが自生してきている。数年後にはギフチョウの復活が期待できる。

参加者の声

- ・誰もが安心して利用できる憩いの場の創出を実現してほしい。
- ・子どもの頃に触れ合った場所が復活してほしい。



支障木などの伐採



ベンチを設置



サクラ、カエデほかを植樹



植樹会参加のみなさん

実績とりまとめ

作業内容

- 植付面積：0.3ha
- 植付本数：270本
- 下刈面積：0.3ha
- 間伐面積：0.3ha
- 清掃作業：0.3ha
- ベンチ・テーブル作製：2回
- 植樹会：1回
- 不法投棄物処理：6t

参加者数

- 県内：251人
- 県外：5人
- 計：256人

樹種

- サクラ、カエデほか

閉校してもみんなの森はみんなで守ろうプロジェクト

岐阜県恵那市



事業概要

平成26年に閉校となった旧吉田小学校の校歌にも歌われた地域のシンボル「すわがね」（鶴岡山）を守り受け継いでいくために、森林教育や自然体験活動などを中心に森林整備活動を実施した。主な活動は以下のとおり。①登山道の整備と頂上の展望確保作業、②木育・木工教育（木育ワークショップ・アソブとマナブ）、③自然体験・レクリエーション活動（ウォーキング・ツリークライミング）。

事業成果

新たな登山道整備と頂上の展望確保の実現。ウォーキングやツリークライミングなどの「すわがね」を活用したレクリエーション活動と木育教育の実施による子どもの自然体

験活動としてのフィールドの確保。今後の参加者のさらなる広がり活動の幅の可能性を実感した。

事業をよく知る関係者の声

- ・地域の宝である「すわがね」を、若者が中心となって整備し、地道に継続的な活動を行っていることに敬意を表したい。（自治会役員）

参加者の声

- ・岐阜の山あいの「すわがね」の頂上から三河湾が見えたことに感動した。（40代女性）
- ・木育教育のみではなく、地域の歴史教育にもつなげることが素晴らしい。（小学校教員）



下刈



森林整備



木育ワークショップ



ツリークライミング

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.8ha
 除伐面積：0.4ha
 間伐面積：0.1ha
 遊歩道整備：4km
 森林教育：2回
 自然体験：3回

参加者数

県内：250人
 計：250人

子供たちと地域で守る不動の滝と牛妻の森づくり事業

静岡県静岡市



事業概要

地域の財産として地元自治会が管理している「不動の滝」周辺の水辺環境と森林の整備を行うことで、地域住民の憩いの場とする。主な活動は以下のとおり。①遊歩道と沢をはさむ比較的平坦な林地内を整理して、水辺環境へのアプローチを確保する。②整備した林内空間を「不動の滝ひろば」と名づけ、地元小学校の児童が製作したベンチを設置。

事業成果

不動の滝は、地域の景勝地である。集落から滝までの遊歩道は整備され、地元自治会により管理されている。しかし、遊歩道に隣接する不動の滝から流れる溪流は、倒木や枯れ枝などで荒れているため、子どもたちの遊び場とはなっていない。そこで遊歩道沿いで比較的平坦な水辺へ続く林地を整備して、水辺へのアプローチを確保するとともに、林内空間を広場として整備することで子どもたちの遊び場ができた。地域の交流が一層促進することが期待できる。

事業をよく知る関係者の声

- ・総合学習で、子どもたちにどうやって不動の滝の大切さや森林の重要性を理解させていこうか悩んだが、子どもたちが自分たちでプロジェクトを立ち上げ、ベンチの製作まで成し遂げたので、子どもたちの成長が感じられた。(教員5年生担任)
- ・地元小学校と交流が乏しいと思っていたが、今回、自治会役員も積極的に協力することができ、小学校と交流する良い機会となった。(自治会長)

参加者の声

- ・初めてベンチづくりをしたり、林業のことを知りました。私たちにわかるように教えてくれたので、ベンチを完成することができた。(小学5年女子)
- ・不動の滝プロジェクトにたくさん手伝ってくれてありがとうございました。ベンチづくりをされていて森林はとっても大切だとわかりました。(小学5年女子)



木製ベンチプロジェクトが始まる



ノコギリで伐採体験



伐採木をみんなで引き倒す



木製ベンチの組み立て

実績とりまとめ

作業内容

林内整理：0.1ha
 林業体験：1回
 看板設置：1回
 木製ベンチ設置：1回
 森林体験：1回

参加者数

県内：147人
 計：147人

修善寺・アカガシの森 環境共育プロジェクト

静岡県伊豆市



事業概要

健やかな里山の森林環境を未来の子どもたちに引き継ぐため、環境共育活動を通して、人も森も共に豊かに育っていく関係性の創出をめざす。主な活動は以下のとおり。①ネイチャーガイドを招き、里山の価値を子どもたちに体験的に伝える環境教育活動（森まなび活動）、②手道具でできる里山の環境改善整備活動（森づくり活動）。

事業成果

森まなび活動と称して、里山での森林環境教育のイベントを3回開催し、里山ナイトハイク、タケノコ掘り、樹木苗づくり、環境改善整備体験など普段接することのない自然体験・学習の機会を、近隣の子どもと保護者に提供できた。また、森づくり活動と称して、里山の地上部・地下部の水と空気の流れに着目した、環境改善整備活動を6回行うことができた。テーマとしているトンボビオト

プ空間が明るくなり、歩道や池や沢筋の護岸などを整えることができ、生物種の増加が見られた。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林に手を入れ、子どもたちが活動する場所として利用していることに感謝している。活動を主催する人たちの負担とならないよう、里山の資源を活用して収益をあげる方法も検討してもらいたい。(森林所有者)
- ・町から簡単に入れて、雑木林・竹林・人工林など多様な植生空間が広がっていて、手入れも進められている里山なので、教育の場として利用しやすい。(大学教授)

参加者の声

- ・ライトを消したときの暗がりと月光に感動。フクロウの鳴き声を初めて聞いた。(ナイトハイク参加小学生)
- ・結構な労働だった。普段誰かが手を入れていることに感謝。(森林環境改善参加大学生)



タケ伐採



歩道づくり



参加者がつくったタケのポット苗



ビオトープの池に集まる生物を観察

実績とりまとめ

作業内容

除伐面積：0.1ha
 森林環境教育：3回
 森林環境改善：6回
 改善面積：0.1ha
 歩道修繕・作設：50m
 護岸造作：25m

参加者数

県内：75人
 県外：9人
 計：84人

どんぐり交流会の山づくり その2

愛知県新城市



事業概要

平成8年度より「どんぐり交流会」を実施し、どんぐりの苗木を毎年植栽し26年が経過した。当初植栽した木も大きくなり、混み合ってきたので除間伐を実施し、健全などんぐり山をつくる。どんぐり交流会では、ボーイスカウト、ガールスカウト、みどりの少年団とが相互の交流と親睦を図る目的で毎年実施している。将来にわたり利活用できる山の整備をめざす。

事業成果

昨年実施した除間伐、階段づくりのほか、今年は植栽苗木のタケ支柱への結束を行った。コロナ禍、制限された活

動時間を効率良く実施することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・除間伐を実施した結果、山の変化に驚いた。また、多くの参加者の努力で山づくりが進んだ。この山の利用について、考える必要がでてきた。

参加者の声

- ・身体を使っの作業で、一人ではできないことが多くの参加者によってできた。大変な作業だったが、意義ある活動を実感することができた。子どもたちは、植えたどんぐりが成長するのを楽しみにしている。



昨年植樹した苗木を支柱に結ぶ



「どんぐり山」の整備



歩道の整備



間伐

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
 植付本数：250本
 除伐面積：0.33ha
 間伐面積：0.33ha

参加者数

県内：175人
 計：175人

樹種

コナラ

あさくら里山の保全・活用事業

愛知県知多市



事業概要

地域で唯一残された里山を整備し、50年ほど前のにぎわいを取り戻し、地域住民の憩いの場とする。整備の過程で地域住民と子どもたちの積極的な参加を促し、子どもたちが自然の大切さや自分たちが守るという意識向上を図っていく。主な活動は以下のとおり。里山内の竹林整備、草刈整備、サクラほかを植樹、散歩道を整備しベンチなどを設置した。

事業成果

春には多くの人がサクラ花見に訪れるようになった。ま

た、近くの園児が定期的に来るようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・散歩道が整備されてきて散歩に来るのが楽しくなる。(保育士)
- ・真夏の草刈は熱中症に十分注意しなければいけない。

参加者の声

- ・安心して園外実習ができることはうれしい。
- ・坂道は登るのに大変だが、階段状になって歩きやすくなった。



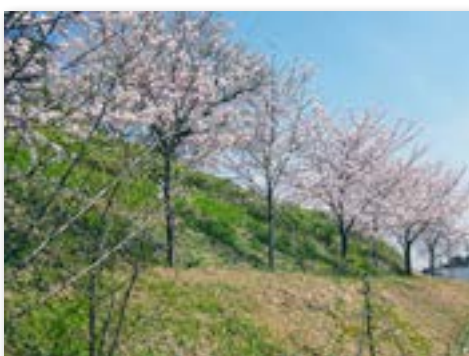
子どもたちに森について説明



サクラ、サザンカほかを植樹



タケでつくった遊具



サクラ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：7本
下刈面積：1ha
イベント：2回

参加者数

県内：255人
計：255人

樹種

サクラ、サザンカ、キンカン

六栗西山ふれあいの森整備事業 その1

愛知県幸田町



事業概要

昭和中期まであった六栗西山の薪採りの森を復活させ、子どもたちに里山の魅力を伝え、地域の新旧住民が子どもたちとの憩いの場にするために、放置竹林を除去し活動拠点エリアを整備するために、小中学校、大学等と連携活動を行った。里山に残されたヤマザクラを見る会も開催し、コミュニケーションを図ることができた。

事業成果

新旧住民参加者が、至学館大学演習を受け入れ、学生との里山交流にて整備エリアの景色が改善された。豊坂小学校総合学習受け入れほか野外活動の案内などにより、多くの保護者に活動への理解を得ることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・町議会の一般質問でも取り上げられたり地元企業からも評価・賛同をいただいている。今後、いただいた評価を継続するため、だれもが参加しやすいように、毎月第二土曜日の午後から活動を行うことを周知した。新たに参加する方々が増えるよう活動現場での安全管理に留意したい。

参加者の声

- ・タケに覆われていた山がきれいになり景色が良くなったことを誇りに思う。(60代男性)
- ・里山を整備することにより森が生き返るように思った。(小学4年女子)
- ・タケの伐採は初めてだった大変な作業だった。(大学4年女性)



拠点活動エリア整備



保育園児の体験活動



小学生がアジサイを植樹



大学生によるタケの伐採

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
下刈面積：1ha
除伐面積：1ha
里山広場整備：19回

参加者数

県内：400人
計：400人

樹種

アジサイ

青い鳥の谷子ども広場計画

滋賀県大津市



事業概要

近年、子どもの過ごし方の変化やコロナ禍により、自然と触れ合う機会が減少してきている。生き物と触れうことは自然を大切に心を豊かにすることにつながる。大津市比叡平地域の通称「青い鳥の谷」エリアは、比叡山と琵琶湖に近く周囲が森林に囲まれた比叡平地域は60種を超える野鳥が飛来し、貴重な爬虫類や昆虫が多く生息し自然豊かな里山を形成している。この場所を子どもたちの自由な遊びの場として、また、環境教育の場として活用できる子ども広場を整備する。

事業成果

青い鳥の谷は平成24年より当里山倶楽部が定期的に整備してきたエリアである。特に令和3年度はこのエリアを、子どもたちがより自由に安全に活動できるように、森の施設を使いやすく安全であるように改修・補強を行った。

これらの活動により、①計画どおりの散策道や森の施設

を完成することができた。②5回の里山体験活動を実施した。③定期的に小学生、園児が訪れ、子どもたちの環境教育の一助になることができた。④週末は地域内外の親子連れが多く訪問している。⑤地域の自然クラブの活動や地域外の少年団の活動の場として広く利用されている。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林の周辺で伐採や植樹などを行い適切な里山環境をつくれば、多種の動植物の生息に適した里山環境にすることができる。青い鳥の谷はそのような里山として重要な役割を果たしつつある。(元大学教授)

参加者の声

- ・森の中にたくさんのゴミがあり驚いた。日頃から森を大切にすることを養っていかねばと感じた。(70代男性)
- ・地上に落ちたどんぐりから小さな芽が伸びているのが可愛かった。(30代女性)



ビオトープ清掃



防獣ネット補修



豪雨で崩壊した散策道の補修



里山体験活動 キノコ植菌

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：40本
下刈面積：2.2ha
間伐面積：2.2ha
里山体験活動：5回
散策道整備：160m

参加者数

県内：274人
県外：42人
計：316人

樹種

ウメ、シャクナゲ、ライラック、ヤマボウシほか

子どもたちによる都市公園の森での整備事業

滋賀県大津市



事業概要

公園の森林部分で野外活動が続いている森のようちえん園児と卒園した小学生に、自分たちの活動場所をさらに知り、関心を持ってもらうための活動。同時に、幼児と小学生の活動が来園者のためになることを体験してもらう。主な活動は、滋賀県営「びわこ文化公園」内の森林・草地地帯での里山作業である。幼稚園児と小学生を対象とする本事業により、間伐してコバノミツバツツジを選択的に残しサクラを植え、来園者のためにベンチを設置する。幼稚園児と小学生が環境学習の場として、地域に貢献できる貴重な機会をつくる。

事業成果

植栽を進めると共に活動場所にシンボルツリーのサクラ2本を植えて、チョウを呼ぶフジバカマを200株植栽した。

来園者のためにベンチを設置。20年以上に及ぶ継続的活動が評価され、第33回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受けることとなった。

事業をよく知る関係者の声

- ・作業日には20人以上の会員が集い、多くの作業を続けてきた。今後、さらに県や指定管理者に信頼される団体になるように努めたい。(会員男性)

参加者の声

- ・木を伐る活動は、ちょっと大変だったけど面白かった。そして、木を伐った場所は見通しが良くなり安全に遊べる場所になった。(小学5年男子)
- ・子どもたちは、思いのほか真剣に作業に取り組み、頼もしく感じた。(40代保護者)



除草



間伐



ベンチを設置



自然観察会

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.03ha
 植付本数：34本
 除草面積：0.01ha
 間伐面積：0.02ha
 ベンチ設置

参加者数

県内：145人
 計：145人

樹種

シダレザクラ、エゴノキ、ミツマタ、アセビほか

遊々の森で子どもたちと行う森林再生

京都府京都市



事業概要

ナラ枯れとマツ枯れ被害地がニホンジカの食害により荒れた森林の再生を行うことである。主な活動は以下のとおり。①植樹予定箇所におけるセンサーカメラを使った野生動物の生息調査、②獣害防護柵の設置、③疎林化した箇所の植栽、④地元小学生を対象に森林環境学習。

事業成果

子どもたちは、ナラ枯れ・マツ枯れ被害地がニホンジカの食害を受けていることを学んだ。森林インストラクターによる植栽の仕方やスズメバチやヤマウルシなどの危険生物などの安全指導等を徹底し、安全な作業につなげることができた。「遊々の森」として森林環境学習のフィールドとして今後とも使用することで、森林回復状況の確認など継続的な活動としての可能性を確認した。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林内の植樹活動は、その作業及び獣害対策の大変さとともに、植樹した苗木の成長を確認することで、森林保全活動への参加意識の向上につながる意義のある活動である。また、野生動物のフィールドサイン観察やセンサーカメラによる観察は、子ども達のみならず教員も、森の生態系を実感する良い機会になった。(小学校教員)

参加者の声

- ・10年前に植樹した木を見せてもらった時、私たちが植えた木もあんなふうに育ったらいいなと思った。(小学5年)
- ・アカマツが枯れてなくなっているのでアカマツを植えた。大きくなってほしい。(小学5年)



植樹について学習 (小学校)



小学生による植樹



アカマツ、クヌギほかを植樹



シカ防護柵の設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.02ha
植付本数：58本
植樹地調査：0.02ha
シカ防護柵設置：63m

参加者数

府内：181人
計：181人

樹種

クヌギ、コナラ、アカマツ

生駒市西畑町の棚田・里山の再生と創造

奈良県西畑町



事業概要

農業の衰退で棚田・里山が荒廃している。棚田・里山の景観整備を第1に子どもたちの自然教育の場を地元住民とともにSDGsを念頭に実施。主な活動は以下のとおり。①休耕棚田の景観整備、②里山林の整備（除伐、枯損木処理）、③休耕棚田に果樹や山野草を植える、④里山に植樹、⑤山のようにえんの野外教室の場を提供、⑥小学生対象の棚田・里山体験会の開催など。

事業成果

昨年度から山野草の育成に努めてきた。土壌改良などもあり、花を咲かせる品種が増えて、来場者を楽しませている。

今年からシイタケのホダ木として、クヌギの苗を植え育成する。

事業をよく知る関係者の声

- ・2003年の「いこま棚田クラブ」設立以来、西畑町自治会とは友好的な関係を維持して、自治会から信頼を得ており、イベントは、クラブ会員が多数参加することで、景観の維持管理が可能となっている。

参加者の声

- ・棚田は、特に小学校の遠足（校外学習）などに好評で、安全面にも留意しているので子どもたちが安心して活動できる場所となっている。



除伐、枯損木処理



除伐、下刈



クヌギの植樹



棚田の稲刈りイベント

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：5本
下刈面積：1.1ha
除伐面積：0.1ha
草刈面積：2ha
イベント：73回

参加者数

県内：510人
県外：1193人
計：1703人

樹種

クヌギ

大地の再生～キャンプ場の復活プロジェクト～

奈良県天理市



事業概要

持続可能な森づくりをめざす大人たちと共に、環境や資源について学び考え、一人一人が主体的に行動できる心を育む。主な活動は以下のとおり。①大地の再生プロジェクト、②自然物を活かした遊具（ツリーハウス）づくり、③夏休み自然体験活動、④果樹の植樹など。

事業成果

フィールド整備の講師の方々には実演いただきながら各ロケーションに応じた適切な整備手法を学ぶことにより、より効果的にフィールドを改善させることができた。また、子どもたちも積極的に楽しみながら整備活動に参加しており、フィールド整備の技術について次世代への継承も進んでいる。

事業をよく知る関係者の声

- ・デイキャンプで、自分の身体と心で自然を体験体感する



草刈り



水脈整備（詰まった泥や石を除去）



小学生30人が参加したサマーキャンプ



虫めがねで観察

とともに、参加者がチームとなり活動することで得られる効果もあった。人との関わりに自信を持つきっかけとなったのではと思う。他事業においても、協力者との関わりが、子どもたちが主体的な明るい未来を描くことにつながっている。人と人、人と自然が交流が生まれる場として、森林の役割を感じている。（サステナuメンバー）

参加者の声

- ・みんなでつくったツリーハウスからの景色が最高だった。（小学4年女子）
- ・虫めがねでアリを観察したのがおもしろかった。（小学2年男子）
- ・作業を重ね、目に見える部分の変化から土中の環境を知り、自然のバランスを整えていくことの重要性を感じた。（40代女性）
- ・落ち葉やワラ、炭など自然素材が活かせる循環できることを知ることができた。（30代男性）

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：9本
下刈面積：3.5ha
自然体験：1回
ツリーハウスづくり：2回

参加者数

県内：66人
計：66人

みんなでつくるドングリの森

鳥取県鳥取市



事業概要

「森の教室」に参加した園児達が育てた苗木を自分たちで植え付け、成長を見守ることで森林への関心の醸成を図り、森のともだちを増やしていく。主な活動内容は以下のとおり。「森の教室」に参加した県内の4保育園の106人が、自分たちがドングリから育てたコナラの苗木を森林公園に植樹した。森のともだち応援し隊が植樹指導した。

事業成果

自分たちが育てた苗木を植樹し、今後の成長を見守ることで森林への興味の醸成が期待できる。

事業をよく知る関係者の声

- ・私たちを取り巻く環境は急速に変化している。この環境の変化を抑えるためにも環境保全意識の高揚を発信できる事業として、また「未来を植え育てる事業」として活動の輪を広げていただきたい。(森林公園指定管理責任者)

参加者の声

- ・育てた苗木を山に植えるという貴重な体験もできた。今日植えた苗木が、やがて園庭にある大きな木になると話すと、子どもたちは驚いていた。(保育園園長)



苗木贈呈式



コナラの植樹



植樹の様子



森の体操

実績とりまとめ

作業内容
植付本数：106本

参加者数
県内：132人
計：132人

樹種
コナラ

海に見える丘 五十猛小プレイパークづくり

島根県大田市



事業概要

学校林のなかった小学校の隣接地に子どもたちが植物や生き物に触れあって遊べるプレイパークをつくる。主な活動は以下のとおり。①40年前の耕作放棄地に生えた灌木の除伐、マツ枯れによる枯損木の伐採処理、②学校からのアプローチ歩道および傾斜部の階段設置、③木道サーキット延長100mの設置、クライミングネットの設置、④ファミリーマートの教室で当時植えたクヌギを小学2年生になって自分で山に返す、⑤五十猛小学校島根県みーもスクール活動、いそたけ保育園、学童保育でのパークの活用。

事業成果

地元小学校・保育園・学童保育において、最寄りの森林

で遊べる空間ができたことについてとても喜んでもらった。

事業をよく知る関係者の声

- ・地域の可能性を引き出していただいた。(保育園園長)
- ・子どもたちがいきいきと利用していて私も使ってみたくなった。(地元ケーブルテレビ記者)

参加者の声

- ・すてきなパークを作ってくれてありがとうございました。(小学4年生)
- ・ゴミ集めをしたら砂の下からたくさんビニールが出てきてびっくりした。(小学6年生)



クヌギの植樹



木道サーキット



シンボルツリーのモクレン



看板づくり

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：9本
 除伐面積：0.07ha
 森林教室：3回
 森林資源活用：1.5㎡
 歩道・階段整備：62m
 林内清掃：0.05ha

参加者数

県内：100人
 計：100人

樹種

モクレン、クヌギ

みんなで育てよう伊部つながりの森の整備事業

岡山県備前市



事業概要

「伊部つながりの森」は岡山市の(株)ティシーシーが森林所有者である伊部区有林管理会と協定を締結し、同社が社会貢献活動として森づくりを行うため設定した。①この場所を活動の基地として平成25年に片上、伊部自治会及び(株)ティシーシーによる実行委員会を設立し森林作業だけでなく、森林を活用した体験学習に取り組み本年で9年目である。備前市内4小学校5年生児童が共に森林体験(マツの植栽、シイタケ植菌、コースターづくり)、森の役目について学び交流を通じて親睦を深める予定であったがコロナの影響により植栽行事はできなかった。伊部小学校5年生より森の出前授業の要請があり授業を行った。また、伊部つながりの森では、おかやま森づくり県民基金イベントほかを開催

した。地区行事の利用もあった。

事業成果

岡山県緑化推進協会総会で中国・四国地区緑化功労賞を受賞した。

事業をよく知る関係者の声

- ・備前焼の燃料が当地では皆無となっており、県北や広島県のマツに頼っている。しかし、備前焼の団体は再生の努力が見えない。会としては植樹数は少ないが各方面に働きかけて再生努力を続けてほしい。

参加者の声

- ・今後の管理も大変と思うが継続してほしい。



シイタケ植菌



出前授業



標柱の設置



緑の少年団も参加して森林整備

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：25本
間伐面積：0.2ha
シイタケ植菌：4500駒

参加者数

県内：482人
県外：12人
計：494人

樹種

イロハモミジ、サクラ

子ども達に託せる美しい里山づくり事業

高知県高知市



事業概要

都市公園である春野総合運動公園の未整備林の竹木類の除伐と下刈を実施するとともに、伐採整備後の林内にサクラ、モミジ、アセビなどを植樹し、次世代に託せる美しい里山づくりの礎を築く。春の植樹祭には地域住民や子どもたちに参加してもらい、森を守ることの大切さを実感してもらった。

事業成果

これまで植樹したサクラやモミジの苗木の下刈を実施。また、新たな植栽地の確保をめざして竹木類の除伐や地拵えや下刈を行い植樹祭を開催した。チラシ、ブログ、SNSなどを通じて植樹祭への参加を働きかけることにより、企業、行政、地域住民などの協力も得られ、美しい里山に向けての基盤づくりにつながる有意義なイベントとなった。

事業をよく知る関係者の声

- ・ 荒廃林が明るく様変わりして感動している。植樹したことによって、10年後や20年後のサクラの名所としての里山の姿にも思いをはせることができる取り組みに感謝している。また、施設利用者からも「都市公園らしく美しい施設となってきた」との感想も寄せられるようになってきた。(高知県スポーツ振興財団理事長)

参加者の声

- ・ 幼い子どもを連れての参加に不安も抱えつつ植樹祭への参加だったが、色々とお気遣いいただき、楽しく過ごすことができた。今日植樹したサクラやモミジが健やかに育ち子どもたちの成長とも重なるようになれば、と思っています。(40代女性)



春の植樹祭



サクラ、モミジ、アセビなどを植樹



将来の花見を楽しみに



タケ細工

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.9ha
植付本数：161本
下刈面積：1.2ha
除伐面積：0.9ha

参加者数

県内：258人
計：258人

樹種

サクラ、モミジ、アセビ

もりもり体験 with 森守

大分県杵築市



事業概要

過疎化が進み、所有者も高齢のため手入れができずにいる山林で、豊かな森林環境を子どもたちとつくり、豊かな森の大切さ・必要性を感じてもらうために活動を行う。おもな内容は、月1回程度、放置林・侵入タケの整備とさまざまな体験活動を組み合わせて実施した。タケを伐って隠れ家づくりや、そのタケを容器や燃料や飾りとして活用する体験活動や海と森のつながりを感じる干潟観察会、森周辺の自然観察会、整備した森で祭りなどを行った。多くの参加者が訪れ地域のにぎわいにもつながった。

事業成果

竹林は毎月整備計画とイベントを上手く結びつけることができ、子どもたちと自然体験をしながら、整備することができた。人工林は伐採が目的だったが、太い木が多く、体

験で伐るには危険で、イベントにつなげることができなかった。次年度はスタッフの技術をあげ、他団体とも協力しながら伐採を進めていきたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・する事がギチギチに詰まっておらず、子どもたちがゆっくり自然を体験できる活動だと感じた。(小学校教員)
- ・昔、近隣地域の人々で行っていた整備活動も可能であれば引き継いでもらいたい。昔のように人が集まる場所になっていったらうれしい。(地域住民)

参加者の声

- ・ひと月に1回手を入れるだけでこんなに変わるんですね。(30代母親)
- ・おれ達の森！いつも楽しい！また来る！（5歳男子）



タケの伐採



「森の赤ちゃんを育てよう」空気と水の通り道をつくる



伐ったタケ筒で炊飯



音楽や人形劇などで楽しんだ森祭り

実績とりまとめ

作業内容
 間伐面積：0.3ha
 イベント：4回

参加者数
 県内：391人
 県外：1人
 計：392人

馬事公苑の森子どもの森づくり活動

鹿児島県南九州市



事業概要

子どもたちに森林に親しんでもらうために木製遊具を整備するとともに森林整備を行った。主な活動は以下のとおり。①林内にスギ間伐材を使用したキッズハウスなどの木製遊具を製作・設置し、「馬事公苑子どもの森」と名づけ木製看板を設置した。②植栽木の保育作業及び歩道整備。③子どもたちの植樹と木工教室、整備した木製遊具で遊ぶ活動を行った。

事業成果

スギ材で木製遊具や歩道の整備をするるとともに子どもた

ちとヤマザクラほかの花木類を植樹した。また、整備した遊具等で遊び森林に親しむ活動を行った。

事業をよく知る関係者の声

- ・児童クラブでは、屋外での活動が少なく、このような機会をいただき森林のことを知ることができたことはありがたい。(児童クラブ指導者)

参加者の声

- ・子どもたちにとって森林内での活動は新鮮で、活動が終わっても、まだ遊びたいという声が多かった。(保護者)
- ・もっとこうした機会を増やしてほしい。(保護者)



ヤマザクラ、エゴノキ、クリほかを植樹



丸太遊具で遊ぶ



スギ板を使って木工



キッズハウスの製作

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.2ha
 植付本数：150本
 下刈面積：0.5ha
 除伐面積：0.2ha
 木製遊具の製作
 木工教室

参加者数

県内：118人
 計：118人

樹種

ヤマザクラ、エゴノキ、クリ、
 マンサク、ユリノキほか

令和元・2年度事業



パキスタン北東部における緑の再生・保全事業と環境保護第一世代の育成事業

パキスタン・ギルギットバルティスターン州スカルドゥ県



事業概要

目的は、近年の急激な人口増と観光地化による緑の減少・表土の喪失を食い止め、耕作地・草地・植林エリアから天然林に至る緑の再生と保全、そのための重要課題である環境保護第一世代の育成である。主な活動は以下のとおり。① 村民・子どもたちとの緑化エリアでの協働植栽、②新緑化エリアの食害・盗伐防止のためのフェンス設置整備、③スカルドゥ市内の学校、特別支援学校への苗木の寄贈と協働植栽など。

事業成果

継続しての事業であることが村との信頼関係を強くする大きな要素となった。苗木や新緑化エリアのフェンスの運搬・設置等も村が率先してやってくれた。村や学校での協

働植栽においても、冬ごもり前のちょっとしたイベントのように、皆が楽しく参加してくれた。

事業をよく知る関係者の声

- ・貨幣経済・消費経済の浸透により環境破壊が危惧される中、スタクチャン村が生物多様性の保全・保護のモデル村となり、州全域で緑化の推進・自然林の保全保護への関心が高まることを期待する。

参加者の声

- ・学校には大きな木がないので、大きくなったら日陰ができて涼しくなる。(小学生女子)
- ・隣村に用材や燃料となる木々がないのを目にしているので保全に力を入れたい。(30代男性)



ポプラ、アンズを植樹



防護柵を設置



学校での植樹



学校での植樹に参加したみなさん

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：3.5ha
植付本数：3650本
フェンス整備：430m

参加者数

パキスタン：158人
計：158人

樹種

ポプラ、アンズ

森の次代を担う青年森づくり事業

東京都青梅市



事業概要

目的は「森の次代を担う青年たちの森づくり」である。主な活動は、授業を通じた東京都の森林環境の現状を知ってもらい、森林活動への参加を積極的に促した。必要なサポートとして、次代を担う青年たちを育てるために、世代を超えての取り組みを目指して全世代が地域のフィールドで取り組んだ。

事業成果

森林整備に興味をもつ生徒が増え、地域のバックアップにつながった。うっそうとしていた森林が明るくなり、防犯面からも地域住民の皆さんとの交流にもつながった。

事業をよく知る関係者の声

- ・授業以外の日での活動に参加希望する声もあり、学校のクラブ活動に発展させることや、定期的な活動として自治会の皆さんとの調整や連携も必要。スタッフからも、作業に興味をもつ生徒がいるという声があり、将来の職業としての候補にもなることから、今後の活動につなげた。

参加者の声

- ・作業した場所が明るくなった。(生徒)
- ・生徒が生き生きとしている。校舎内では見ることが少ない表情だった。(教員)
- ・前年度と違う植物なども見られ、継続することの意義も伝えられるようになった。(指導員)



指導員の事前打合せ



生徒による森林整備体験



安全に留意しながら作業



森林が明るくなった

実績とりまとめ

作業内容
指導員講習：4回

参加者数
都内：51人
都外：12人
計：63人

水源を守ろう、森づくり事業

群馬県川場村、東京都渋谷区



事業概要

目的は、森林整備と国土保全の関連に関する知識の普及啓発と、未立木地に苗木を植えることにより水源地の森林として水源かん養林を保全すること。主な活動は、①学習会、②広葉樹の植樹、③下刈など。

事業成果

①学習会を通じ、森林の役割と整備の必要性を学習した。②未立木地に苗木を植えた。現地はニホンジカが多く生息しているため獣害防止柵を設置した。③植樹から1年後に下刈を実施。東京からも多くの参加者があり、地元の会員

から植樹時の様子を聞きながら成長した苗木まわりの下刈をした。

事業をよく知る関係者の声

- ・継続した下刈が必要になる。
- ・実生から発芽したスギを除伐する必要があるだろう。(森林組合員)

参加者の声

- ・日本の森林の資源や林業について思いを深くすることができた。(50代女性)
- ・青空の下での下刈は最高だった。(60代女性)



ヤマザクラ、コナラ、シバグリを植樹



下刈



獣害防止柵を設置



学習会

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
 植付本数：90本
 下刈面積：0.1ha
 除伐面積：0.1ha

参加者数

県内：13人
 県外：86人
 計：99人

樹種

ヤマザクラ、コナラ、シバグリ

森・子どもたちの元気づくり・再生プロジェクト

北海道札幌市、岩見沢市、赤井川村、苫小牧市、江別市、当別町



事業概要

第44回全国育樹祭の開催を契機に、植樹活動や森や木と触れ合う体験の機会を提供して森づくり活動への参加を促し、森づくりの役割や地球温暖化への貢献などについて周知を図った。主な活動は次のとおり。①森林での森づくり活動や園庭等での記念植樹、②森や木の理解を深める森の学びの場の提供等。ただし、コロナ感染症拡大の影響から、森とのふれあいの場の中止、森づくり活動の延期等、感染症対策を強化して事業を実施した。

事業成果

参加者は地球温暖化防止や持続可能な社会づくりへの関心が高まり、自然への探求心も芽生えてきた。ただし、コロナ感染症拡大防止の観点から、事業の中止や延期した事業もあり、参加者数は減少した。

事業をよく知る関係者の声

- ・幼少期から森づくりに参加し森と直接ふれあうことで、自然への興味や関心を抱くようになり、地球環境問題についても考える機会となった。(園長)
- ・森づくりの重要性・役割をより広く発信できるよう、安全・安心に配慮しつつ、これからも事業に取り組んでいきたい。(事業実施者)

参加者の声

- ・わかりやすい解説と指導を受け、事業参加を契機に家庭内での環境問題の会話が増え、自然への関心の高まりを感じさせた。(園児の保護者)
- ・活動を契機に自ずと協力し合い、探求心や積極性も培われた。森づくり活動継続への意欲も高まった。(担任)



苗木づくり



トドマツ、エゾヤマザクラほかを植樹



アカエゾマツの枝打ち体験



自然観察

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.09ha
 植付本数：215本
 下刈面積：0.01ha
 森の学び：3回
 苗木づくり：4回

参加者数

道内：235人
 計：235人

樹種

トドマツ、エゾヤマザクラ、ツツジ、クリ、ミズナラほか

馬と歩く瞑想と森林浴の森づくりプロジェクト

岩手県遠野市



事業概要

手入れをしていない広葉樹林を森林浴などに適した心地よい森林空間にして、馬と人の通う森をつくること。主な活動は以下のとおり。①植林されたカラマツを伐採して利用、②展望地の視界を遮る樹木の剪定、③外来種や繁殖力の強い草本を選択的に刈り取り在来希少種を保全、④枯死していた樹木など危険木の除去、⑤里山在来種の実生苗を採取して育成など。

事業成果

カラマツを伐採したことで4月には林床にカタクリを確認できた。陽がさすようになり、クロモジがよく育成していたので、樹皮や枝でお茶を煮出して参加者と味わった。繁茂するススキを選択的に刈り取ったことでシロスゲ、ウコギ、ホトトギス、ヤブレガサなど眼にも嬉しい在来の草本を多く確認することができた。伐採枝でバイオネスト*を組み、林内を整理しながら道沿いの法面土壌を保護すること

ができた。また、カラマツの伐倒や集材などを体験し、林業の作業に初めて触れるスタッフにとっても学び多き初年度の事業となった。

事業をよく知る関係者の声

- ・限界集落のこの森を次世代につなぐには、滞在型で深い体験をして帰って行く人を増やしたい。若い人の参加が増えると良い。(NPO事務局)
- ・美しく有用な里山景観をつくっていくには継続的な関わり方を維持できるかどうかが肝心だ。(財団法人評議員)

参加者の声

- ・しっかり暮らしの作業を満喫できた。(50代男性)
- ・美しいランドスケープはもちろん、創造的に生きることが体験できる素晴らしい場だと感じた。(30代女性)
- ・作業や馬との対話を通して、自分の中では循環・対話・感謝・バランスと問い続ける力がキーワードとなった。(40代女性)



バイオネスト組み



再造林のための実生苗採取

*バイオネスト/樹木を剪定したときに出た枝などを、その土地の上に円形に編みながら積み上げること。



馬と歩く「瞑想の森林浴」



倒木整理

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.6ha
 除伐面積：0.6ha
 実生苗採取：2回
 道の法面保護：50m

参加者数

県内：50人
 県外：84人
 計：134人

「かがやけ白崎の森」プロジェクト

和歌山県由良町



事業概要

自然に触れる機会が少なくなっている中で、より多くの人たちに自然の役割や自然の力を学んでもらい、直接ふれながら活動体験する拠点の整備。その整備作業を安全かつ効率よく行うための森林ボランティアやジュニアリーダーの技術習得、教育のため。主な活動は以下のとおり。①植樹地及び林道等環境整備作業、②森林ボランティア及びジュニアリーダーの技術習得、育成、③間伐材を使った木工体験、④環境学習など。

事業成果

専門家の指導により、自分たちだけでは難しい作業や講習も効率よく行うことができた。間伐材をコースガイドや

階段として活用、ハイキングコースを安全に歩けるようになった。知識や体験は1人1人の成長につながった。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林組合の方がいたので、初めて行う作業にも安心感があった。参加した子どもたちは職業に触れ、成長するきっかけになった。(リーダー研修会担当者)

参加者の声

- ・作業前は不安だったが、いっしょに作業していくなかで楽しくなった。
- ・思っていた通りにはなかなかできなかったが、普段触れることの少ない自然での作業は楽しかった。
- ・山の斜面は歩きづらかった。



間伐材を使ってハイキングコースの階段設置



ハイキングコース周辺の倒木撤去



防護ネットの設置



クロガネモチ、ヤマモモほかを植樹

実績とりまとめ

作業内容

- 植付面積：0.1ha
- 植付本数：30本
- 下刈面積：0.13ha
- 除伐面積：0.13ha
- ハイキングコース整備：2回
- 森林教室：2回
- 木工体験：2回

参加者数

- 県内：50人
- 計：50人

樹種

- クロガネモチ、ヤマモモ、シラカシ

中国・内モンゴル自治区アラシャン盟ウランブハ沙漠における沙漠緑化事業

中国・内モンゴル自治区アラシャン盟



事業概要

砂漠化を止め、酸性雨・黄砂飛来の発生源をなくし、沙漠地農牧民の生活の安定と向上をはかり、水源、防砂林、草地を増やすために、家畜放牧の農民と地球環境の持続的な関係構築のためにポプラほかを植樹する。コロナ禍で日本からのボランティアによる活動はできなかったが、地元の農牧民が作業にあたり収入につながり沙漠緑化の理解が深まった。

事業成果

コロナの状況をみながら少しずつ進め、9月～11月で植樹を実施し沙漠の緑化を実施する。

事業をよく知る関係者の声

- この地域では流動砂丘により耕作地はもとより住居さえも砂丘にのまれようとしている。流動砂丘を止めるグリーンベルトの植林を早急に進めていかなければならない。植林により流動砂丘を止めることができる事を実証し、地域住民との協働植林を強力に進めていきたい。(日本沙漠緑化実践協会相談役)

参加者の声

- コロナ禍により日本からのボランティアの参加はできなかったが、中国国内の方々の協力で緑化できた。



ポプラほかを植樹



給水車で水を運ぶ



活着率を高める



流動砂丘

実績とりまとめ

作業内容
 植付面積：10ha
 植付本数：5000本
樹種
 ポプラ、スナナツメ

フィリピン・マウンテン州における森林農法による植樹と育苗事業

フィリピン・マウンテン州タジャン町



事業概要

ルソン島北部山岳地方のタジャン町において、水源涵養のための共有地2か所に在来種の植樹とアラビカコーヒーを主な換金樹種としたアグロフォレストリーによる植樹を実施した。またアグロフォレストリーとコーヒー栽培の講習会を開催したほか、2年間の事業の終わりに植栽地を専門家が訪問し個別に栽培指導を行った。さらにベンゲット州トゥブライ町に苗場を造成した。

事業成果

新型コロナウイルスの感染拡大で事業の実施は困難を極めたが、都市部に暮らしていた若者たちが感染を恐れて地方に戻り働き手が増えたこともあり、山奥の急峻な斜面での植樹作業も終えることができた。集会規制により講習会は一度しか開催できなかったが参加者のアグロフォレストリーとコーヒー栽培への関心は高く、今回のパイロットエ

リアであった5村以外から事業継続の要望が届いている。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林を農地にしてしまうと、降雨や台風などの影響で表土が流れてしまう可能性が高くなる。このようなことを未然に防ぐためにアグロフォレストリーによるコーヒー栽培が重要だといえる。本事業で植えたコーヒーの苗木は3年後には収穫を迎えるが、収穫した実をうまく高価値のコーヒー豆に加工し収入につなげることで、農家の意欲が高まり放牧地などの野菜栽培地への転換ではなくアグロフォレストリー農地への転換が進むのではないかと思う。(現地協力団体インターン)

参加者の声

- ・コーヒー事業に参加したのは、追加の収入を得られるだけでなく、この自然を後世に残せるからだ。(農家)



共有地での住民ボランティアによる植樹



教員とPTAがボランティアで植樹



専門家による個別指導



「アグロフォレストリーとコーヒー栽培」をテーマにした講習会

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1万7843本
苗木育成：8000本

参加者数

フィリピン：73人
計：73人

樹種

アラビカ・コーヒーブルボン種、カリン、アカギ、ハンノキ

ガラパゴス諸島：スカレシアの森再生事業

エクアドル・ガラパゴス州



事業概要

独自の生態系が失われつつあるガラパゴス諸島の高地において、「スカレシア」という固有の植物を中心に形成される森林生態系を再生し、本来の生物多様性と固有生態系を取り戻し、次世代に引き継ぐ。実施した活動は、①サンタクルス島、およびイサベラ島の2島の高地湿潤地帯において、劣化した土壌を整備して植林を行った。②サンタクルス島では、本来森林があった場所が現在農地に置き換わり、また観光業への転向から農耕放棄地が広がり農業の妨げにもなっていることから、農家と共に農地を整備し、農業を支援すると同時に農家と共に植林を実施した。③イサベラ島では植林した苗の食害があり防止シートを導入した。④両島において生育モニタリングを行った。

事業成果

新型コロナの影響で日本からの参加や居住区での植林は継続できなかったが、前回の終わりに農家との協働を試験

的に行ったことから、高地の農地において農家と植林をすることができた。特にコーヒー農家との協働は、コーヒーの実の質を上げるシェードツリーに森を作るスカレシアを使うことで、保全にも農業にも、また観光にも有益な植林となり、継続性が感じられた取り組みとなった。

事業をよく知る関係者の声

- ・何年にも渡る調査や研究があり、その結果を踏まえて今回植林が行われ、成果があがった。そして単に苗を植えるだけではなく、約1年間のモニタリング期間を設けて定着したことを確認して成果としている点で、コロナ禍でありながら先見的で科学的なプロジェクトと言って良いだろう。(植物生態学研究者)

参加者の声

- ・今回のこのプロジェクトは、農地の整備を一緒にやってくれて、しかもコーヒーに日陰を作る木を植えられる、お互いにとっても良いことが多い活動だと思う。(農家)



苗の運搬



島民ボランティアによる植樹



苗を守るシートを設置



植樹して8か月後

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：8.85ha
植付本数：4150本

参加者数

エクアドル：132人
計：132人

樹種

スカレシア、マタサルノ、ブルセラ、ガラパゴスコーヒーノキ、ミコニアほか

ミャンマー・マインピン地域における水源涵養・アグロフォレストリー推進と緑化啓発事業

ミャンマー・シャン州マインピン地域



事業概要

マインピン地域における水源涵養・アグロフォレストリー推進と緑化啓発を目的に、以下の活動を行う。①水源周辺及びアグロフォレストリー（AF）デモファーム等に植林。8村の住民と緑化委員会が協力して植林。樹種は地域の自生種とした。②地域住民及び周辺集落代表者に対して緑化活動の啓発研修及びAF・循環型農業研修を実施。③継続的な緑化を進めるため育苗施設を整備した。

事業成果

事業実施地を中心として、広い地域で関心の高まりが見られた。また、現地はコロナとクーデターの影響で経済的に大きな打撃を受けている。そのような社会的背景もあり、AF農法に対する期待の高まりを感じた。事業終了後も委員会を中心に地域でAF農法を進めていこうという決意が聞

かれたことは大きな成果と言える。

事業をよく知る関係者の声

- ・AFの方法は、地域住民の収入向上と緑化の2方向から効果がある。本事業を終え、地域でも植林やAFに対する関心が高まってきているので、今後は自助努力で進めていくことができそうである。（地域林業省オフィサー）

参加者の声

- ・近年地域の水が少なくなったのは、木を伐採してきたことが原因と分かった。（研修参加者）
- ・村の共有林がなくなって久しいが、来年からは共有林を復活させたい。（村長）
- ・AF農法はゆくゆくは収入が入り緑も増える。私の畑にも自分で果樹やチークを植えた。（植林参加者）



地域の自生種や果樹を植樹



獣害防止柵の設置



防火帯づくり



循環型農業研修

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：15ha
植付本数：5686本
下刈面積：8.2ha

参加者数

ミャンマー：87人
計：87人

樹種

モリンガ、チーク、アカシア、マンギウム、アボガド、レモンほか。

「つなげよう!どんぐりの森2020」プロジェクト事業

秋田県男鹿市



事業概要

地域の木・林・森・山を、その地域の人たちが中心となって育てていく。その活動を通じて、自然の大切さ、自然との共生、自然環境の素晴らしさに気づききっかけづくりとして「どんぐりの森づくり」を位置付け、持続可能な自然環境を将来につなげることをねらいとし、どんぐり観察会や自然体験活動「どんぐりがっこう」を開催した。

事業成果

これまでのどんぐり観察会の他に、新たな活動フィールドでの「どんぐりがっこう」を定期的で開催。どんぐりの森の自然の営みや生き物たちを観察しながら、どんぐりの生態系の役割や自然循環の仕組みを見て触れて感じる自然体

験活動を定期的に行き、持続可能な自然環境を将来に引き継いでいる。

事業をよく知る関係者の声

- ・季節とともに変化するどんぐりを観察しながら、自然の営みや、どんぐりの役割を知る大切な機会になっている。また「どんぐりがっこう」では、森の役割や山と海との繋がり、環境対策などを考えるきっかけとなる質の高い自然体験を提供できた。(自然体験及び動物ふれあい講師)

参加者の声

- ・自然観察や動物ふれあいをなど、普段の暮らしとは違う貴重な体験を親子で楽しんでいる。(保護者)



大きく育つよう、ていねいに植樹



苗の成長を見守る



葉っぱにはいろんな形がある



遊びながら学ぶ「どんぐりがっこう」

実績とりまとめ

作業内容

- 植付面積：0.25ha
- 植付本数：100本
- 下刈面積：0.53ha
- どんぐり観察会：1回
- どんぐりがっこう：13回
- どんぐり植樹会：1回

参加者数

- 県内：219人
- 計：219人

樹種

カシワ

子どもがつなぐ未来の森とSDGs

東京都檜原村



事業概要

子どもたちが薪炭林の手入れを通じて出た幹や枝などを薪や焚き付にし、炭焼き用の材を育て、森が活性化し資源を無駄なく循環する「森のサイクル」を体験すること。主な活動は以下のとおり。①SDGsワークショップを開催し、森の循環を学び、柴刈りした枝で鉛筆づくり、②柴刈りをしてクラフトづくり、③炭材の伐り出し、④歩道整備で出た枝を使ったシガラ柵（そだ柵）づくり、⑤炭焼き。

事業成果

薪炭林（落葉広葉樹林）の手入れを初めて行うことができた。木を伐って使うこと、残した木が育っていくこと。そして薪炭用に木を伐ったら切株から萌芽更新して、林が再生する。この流れを通して、子ども達と親世代に、持続可能な森林環境（植える・育てる・使う）について理解してもらうことができた。

事業をよく知る関係者の声

・枝を身近に使えるものにできないかと、中高生が考えて、森の鉛筆づくりが始まった。未就学児から中高生まで山に入り、柴刈りをし、使える枝を探して、持ち帰り、芯を入れて、ナイフで削る、そして鉛筆を大事に使う。このような一連の作業から森を知ることになり有意義な体験でした。（中学校教員）

参加者の声

- ・娘は、山を登って選んだお気に入りの枝でつくった鉛筆は、愛着がわいて大事にしようという気持ちが強くなったようだ。（40代女性）
- ・広葉樹は、伐っても芽が出て育つことを知り、驚いた。（40代女性）
- ・エンピツの形にナイフでけずるのが楽しかった。（11歳女子）



柴刈り



枝で鉛筆づくり



炭材の伐り出し



炭材をノコギリで切る

実績とりまとめ

作業内容

ワークショップ：1回
柴刈り：0.1ha
道の整備：150m
炭焼き：2回

参加者数

都内：177人
計：177人

持続可能な森林管理を生徒児童と学ぶ

神奈川県二宮町



事業概要

当法人の前身は子ども食堂につながる「子ども農園」が発端であった。法人化後、谷戸の棚田を再生するにあたり、2本の沢を回復するため山林に入り崩落と倒木だらけのタケの繁茂する劣化に驚き、山林整備に着手せざるを得ない状況となった。専門家との協働は必然であり、すべては子どもたちのための成育環境として健全な山を残すことで連帯した。さらにプロセスも持続可能な整備のために、子どもから大人までの住民参画で啓発・実践することとした。

事業成果

林業専門家と持続可能な協働関係を持てたことで秩序と安全管理を合理的に保て、若者たちの地域の里山整備の参画への後押しとなった。地域の子どもたちが入れる森づくりにミッションを持つ林業専門家、子育て世代のチームと若者世代、法人会員である棚田再生や原木栽培に係るチームとの循環する協働が進んだ。また子ども、保護者世代と協働するワークショップの会場として地域の山林や谷戸を

提供できた。町はタケチップパー購入を決め、竹林整備後の資源化の新たな研究グループが発足、二宮町生活環境課との協働がさらに推進される。また町のHPに山林のページをつくり所有者への啓発、コミュニケーションを推進しつつある。現在当法人は複数の地主の信頼を得て新たに3か所の山林整備現場を持つこととなった。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちを真ん中に海、谷、川、山とマイクロコスモスのようなこの二宮町が自然と人との関わりにおいて先進的な何かを打ち出せる予感がする。一過性のものとならないよう持続的な仕組みづくりが肝要だ。(教育委員)

参加者の声

- ・普段は入れない山や、谷戸にしっかりと向き合い関わった体験はかけがえがない。子どもたちには里山で存分に遊んでほしい。子どもたちの生きる力のもととなる自然の中での活動を持続的に発展させてほしい。学校教育にも取り入れてもらいたい。(ワークショップ参加者)



沢の枯れたところを移植ゴテで再生



ドングリから育苗(ドングリプロジェクト)



タケを使って「山のさんぽ道づくり」



谷戸の再生

実績とりまとめ

作業内容

樹勢回復：30本
下刈面積：0.5ha
除伐面積：0.9ha
間伐面積：0.05ha

参加者数

県内：2100人
県外：80人
計：2180人

地域の多世代交流拠点を目指す園庭緑化事業

神奈川県横浜市



事業概要

幼児教育機関「こども園」の園庭の緑化を進め、日々の生活を通して豊かな自然に親しむ事ができるようにする。主な活動は、①高木樹の植栽と保護デッキ製作、②園舎接道部の植栽、③園庭の植栽、④緑化をすすめていく意義を保護者と共有、⑤保護者と「遊びから始まる子どもの育ち」への理解と共有。

事業成果

保護者だけでなく、教員も講演を聴くことで緑化された中で遊ぶ子どもの育ちについての理解が深まり、今後の活動へつなげていく良い機会となった。

事業をよく知る関係者の声

- ・町内会との合同活動として「植栽イベント」が企画されたが、コロナを心配し、参加者が少なかったのが残念だった。こども園のフェンスにツル類が植えられた事で風景に潤いが出た。

参加者の声

- ・緑豊かになって良かった。(保護者)
- ・様々な草花を植栽する作業って楽しいですね。(保護者)
- ・遊びを通して子どもはたくさん学ぶ、その環境を用意したいと思った。(保護者)



園庭緑化に向けた植栽基盤の造成工事



フェンス緑化



落葉高木の植樹



園庭の植栽

実績とりまとめ

作業内容

講演会：1回

植栽作業の指導：3回

参加者数

県内：255人

計：255人

樹種

ブラックベリー、バラほか

広葉樹林の多様な活用事業

山梨県山梨市



事業概要

50年手つかずだったコナラ林を12年サイクルを戻すために、まずはシイタケ原木を伐採し搬出した。そして、整備した場所は、子どもたちが日常的に通える山の遊び場として提供できるイベントを企画した。

事業成果

継続したタケエリアの整備とコナラ伐倒時の安全作業を学んだ。シイタケ原木へのコマ打ちも実施。地域の親子の参加があった。

事業をよく知る関係者の声

- ・整備されていない場所だったので、どこから木を伐採して良いのかなど慎重に取りかからないと掛かり木になることを実感した。今後も慎重に実施したい。

参加者の声

- ・どこに倒すかなどでいねいな指導があった。(活動参加者)
- ・伐採した木でシイタケがつくれることを知った。(子ども)
- ・落ち葉でソリすべりができ、身近にあるもので遊べて楽しかった。(子ども)



作業前の道具点検



林内整備



伐採した広葉樹はシイタケ原木に



作業後の森遊びイベント

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.2ha
間伐面積：0.1ha
落葉活用イベント

参加者数

県内：41人
県外：63人
計：104人

元気な子も!療育の子もみんなで遊ぶ森作り

熊本県高森町



事業概要

増加傾向にある未整備の森林を整備し、子ども達が安心して自然と触れ合い遊べる環境を維持するとともに、森における自然体験を通して子ども達の生きる力や発想力を育む。今回は当法人事業のフィールドである森の下刈と間伐、間伐材を利用した子ども達の遊び場(デッキ)づくり、子どもの自然体験教室として火起こし、水の濾過、ナイフの使い方などを体験した。

事業成果

草刈りにより子ども達が安心して遊べるようになり、デッキができたことで森の中での遊びの幅が広がった。子ども達は火起こしがうまくいかなくても火が付くまで挑戦し、

やりたい気持ちを大切に諦めないことが次への一歩になることを学んだ。

事業をよく知る関係者の声

- ・森の中に遊び場ができたことで、森の中での遊びに慣れていない子もとつきやすくなり、食事や室内遊びの延長のようなこともしやすくなりそうだ。

参加者の声

- ・スタッフや講師の皆さんの子ども達への接し方がすばらしく、親子ともども笑顔で帰れました。(保護者)
- ・子どもが前回よりもできることが増え、成長が見られて良かった。(保護者)



自然体験教室



火起こし実演



ナイフ体験



下刈作業後(フィールドの森林)

実績とりまとめ

作業内容

下刈面積：0.37ha
 間伐面積：0.09ha
 デッキづくり
 子ども体験教室：2日

参加者数

県内：22人
 計：22人

【森林の整備】

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
03SC-01	木下沢渓谷冒険の森保全活動と環境教育	東京	木下沢渓谷冒険の森の会	東京	800	
03SC-02	富士山緑の募金の森造成事業	静岡	富士山緑の募金の森造成事業実行委員会	静岡	1,800	
03SC-03	さいたまの森林づくり支援事業	埼玉	(特非)埼玉森林サポータークラブ	埼玉	1,000	
03SC-04	玖珠町ふれあいの森づくり事業	大分	玖珠郡森林組合	大分	2,407	
03SC-05	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	840	
03SC-06	南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	2,840	
03SC-07	多様性を高めるモデルフォレストづくり 「フォレスト21さがみの森」	神奈川	フォレスト21さがみの森連絡協議会	東京	1,600	
03SC-08	「赤西渓谷・水源の森」保全事業	兵庫	(特非)ひょうご森の倶楽部	兵庫	650	
03SC-09	協働によるSDGsの森づくり事業	宮城	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	750	
03SC-10	企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業	岡山	(特非)フォレストフォービープル岡山	岡山	1,000	
03SC-11	「安曇野エア・ウォーターの森」森林整備事業	長野	(特非)森のライフスタイル研究所	東京	1,700	
03SC-12	緑の祭典"かながわ未来の森づくり"2022 inはだの	神奈川	県民との協働による森林づくり 実行委員会	神奈川	1,000	
03SC-13	和木町協働の森づくり事業	山口	和木町里山研究会	山口	180	
03SC-14	日本曹達グループの森づくり	新潟	日本曹達グループの森づくり推進協議会	新潟	2,300	
03SC-15	木曾川・やおつ水源の森づくり活動	岐阜	やおつ水源の森づくり実行委員会	岐阜	850	
03東震災SC-01	3.11復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業	千葉	(特非)森のライフスタイル研究所	東京	495	
03東震災SC-02	「岩沼・荒浜潮除須賀松の森」保育事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	2,129	
03東震災SC-03	3.11復活の森づくり～千葉県一宮町東浪見海岸林再生事業	千葉	(特非)森のライフスタイル研究所	東京	2,700	
03SDGs-01	離島社会存続に向けた水源林の整備と活用	北海道	(特非)近自然森づくり協会	東京	900	
03SDGs-02	八王子市寺田緑地の整備・緑化事業	東京	(特非)森のライフスタイル研究所	東京	700	
03SDGs-03	住民参加の山水回復とレジリエンス向上	神奈川	(特非)農ある暮らしを広める会	神奈川	426	
03SDGs-04	"豊かな里山"松沢湿原周辺の保全と回復	新潟	松沢みどりを守り隊(地緑団体 松沢区)	新潟	2,000	
03SDGs-05	キャンプ場再生プロジェクト	奈良	サステナu	奈良	349	
03SDGs-06	炭焼き体験を通じた里山の資源循環を学ぶ場づくり	千葉	(特非)千葉自然学校	千葉	1,430	
03S-01	森の笠地蔵プロジェクト2021	岩手	(特非)遠野エコネット	岩手	680	●
03S-02	栗原市行者の滝周辺「癒しの森」植樹活動	宮城	(特非)森林との共生を考える会	宮城	1,000	
03S-03	プロジェクトD(どんぐりプロジェクト)福島	福島	(学法)郡山開成学園	福島	395	
03S-04	「協力隊の森」事業	茨城	青年海外協力隊 茨城県OV(Over Volunteers)会	茨城	460	
03S-05	トトロの森と狭山丘陵周辺緑地での里山保全事業	埼玉、東京	(公財)トトロのふるさと基金	埼玉	1,000	
03S-06	自然と人とのつながりを再構築する 「大房岬 遊びと学びの森プロジェクト」	千葉	(特非)千葉自然学校	千葉	1,000	
03S-07	ちば里山 都市近郊の集える憩いの森づくり	千葉	(特非)地球守	千葉	690	
03S-08	一般市民による湘南海岸林整備事業	神奈川	(特非)地球緑化センター	東京	177	
03S-09	市民参加による森林づくり「山と緑の協力隊」	滋賀、長野	(特非)地球緑化センター	東京	430	
03S-10	高田松原再生整備事業	岩手	(特非)地球緑化センター	東京	422	
03S-11	EXPLAYGROUND～東久留米の森づくり	東京	(一社)東京学芸大EXPLAY GROUND 推進機構	東京	800	
03S-12	千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の再生事業	千葉	(特非)森のライフスタイル研究所	東京	1,230	
03S-13	八王子市上川の里特別緑地保全地区の整備事業	東京	(特非)森のライフスタイル研究所	東京	940	
03S-14	北浅川上流地区の森にホテルを飛ばそう!	東京	枯れ沢復活&ホテルを飛ばす会	東京	460	
03S-15	自然と森を学びながら行う富士山南麓の森林復元活動	静岡	(特非)山の自然学クラブ	東京	500	

事業実施状況一覧

SDGsの目標との関連																掲載頁
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	●	●							●	●	●		●		●	8
				●					●		●	●	●		●	9
	●	●				●					●	●	●			10
	●										●					11
													●			12
	●										●		●		●	13
	●	●									●	●	●		●	14
	●			●							●	●	●			15
	●	●							●		●	●	●		●	16
																未掲載
											●		●		●	17
	●										●		●		●	18
																未掲載
				●					●			●	●		●	19
													●		●	20
									●		●	●	●		●	21
	●	●							●		●	●	●		●	22
											●	●	●		●	23
	●	●		●								●	●			24
																未掲載
																未掲載
																未掲載
																未掲載
	●			●	●				●	●	●	●	●	●	●	25
													●		●	26
		●							●		●		●		●	27
	●	●	●	●	●				●		●	●	●		●	28
	●	●							●		●		●			29
									●		●	●	●			30
	●	●	●										●		●	31
													●			32
													●			33
													●			34
																未掲載
									●		●	●	●		●	35
									●		●		●		●	36
				●					●		●		●		●	37
	●	●	●	●					●		●	●	●	●	●	38

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
03S-16	世田谷・川場上下流連携の森林活性化事業第Ⅱ期	群馬	やまづくりくらぶ	東京	330	
03S-17	都市近郊の新しい里山づくり	東京	(特非)ドングリの会	東京	920	
03S-18	秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と保全	埼玉	ちちぶ里森の会	東京	500	
03S-19	ナラ枯れを越える！都会の荒れ森一掃事業	東京	鶴二おやじたちの会	東京	584	
03S-20	相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動	神奈川、 東京	(特非)緑のダム北相模	神奈川	700	
03S-21	都市の里山資源の活用推進事業	神奈川	(特非)よこはま里山研究所	神奈川	400	
03S-22	山北町丸山地区森林整備	神奈川	山北町丸山地区整備隊	神奈川	384	
03S-23	親子が安心して遊べる「フーのきの森」整備	新潟	絵本の家ゆきぼうし	新潟	620	
03S-24	丹波山みんなの森づくり・防災事業	山梨	(特非)木netやまなし	山梨	900	
03S-25	ふるさとの森を取り戻せ！松毛川「千年の森」再生プロジェクト	静岡	(特非)グラウンドワーク三島	静岡	1,080	
03S-26	間伐整備活動で取組む三河湾の生態系の保全	愛知	間伐こもれび会	愛知	600	
03S-27	資源利用と環境学習によるやまんばの森再生	滋賀	(特非)やまんばの会	滋賀	700	
03S-28	放置竹林を生産性のある竹林モデルに変換	京都	(特非)加茂女	京都	308	
03S-29	三田高平ふるさとの森づくり	兵庫	(特非)里野山家	兵庫	610	
03S-30	里山整備事業	兵庫	任意団体 清水寺の森	兵庫	100	
03S-31	国境を越えたSDGs 六甲の森・里山づくり	兵庫	(特非) Peace & Nature (ピースアンドネイチャー)	兵庫	970	
03S-32	矢田山の憩いの場とする豊かな自然の森づくり	奈良	(特非)森づくり奈良クラブ	奈良	400	
03S-33	根来山げんきの森再生事業	和歌山	(特非)根来山げんきの森倶楽部	和歌山	460	
03S-34	災害に強く脱炭素社会に貢献する森林づくり	島根	銀林の恵み森活プロジェクト実行委員会	島根	1,000	
03R-35	わくわくの森大作戦	広島	森とともにあるくらし	広島	550	
03S-36	番所鼻海岸防災林保全計画	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	990	
03S-37	みんなのいこいの森づくり	沖縄	NECOツーリズム	沖縄	710	

【緑化の推進】

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
03RC-01	緑のまなび事業（豊後大野市立大野小学校）	大分	(公財)森林ネットおおいた	大分	1,000	
03RC-02	緑のまなび事業 (葛巻町立江刈小学校学校林（ハンザイ広場）整備事業）	岩手	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	1,000	
03RC-03	活樹祭～東京の里山で学ぼう	東京	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	156	
03RC-04	地域における園庭・裏山整備等モデル事業	長野	信州こどもの森づくり推進協議会	長野	2,000	
03東震災RC-01	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	1,260	
03東震災RC-02	「森と海を結ぶ・絆の森林づくりプロジェクト」事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	970	
03東震災RC-03	次世代を育成する大槌湾海岸防災林植樹事業	岩手	(特非)環境パートナーシップいわて	岩手	530	
03令元台災RC-01	長野県令和元年東日本台風被害の復興支援事業	長野	(公財)長野県緑の基金	長野	1,500	
03令2豪災RC-01	倒木や土砂の流出を防ぐ保水力の高い森作り	熊本	(特非)環境圏研究所	熊本	840	
03令2豪災RC-02	令和2年7月熊本豪雨復興支援事業	熊本	(公社)熊本県緑化推進委員会	熊本	1,560	
03R-01	森・子どもたちの元気づくり・再生プロジェクト	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,630	
03R-02	【週末は森へ】近隣住民と森との橋渡し事業	北海道	(特非)C・C・C富良野自然塾	北海道	410	
03R-03	森と緑と湖のマチ そららの森づくりプロジェクト	北海道	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウ エイ ルート運営代表者会議	北海道	440	
03R-04	いのちの森づくり植樹祭 IN おたる奥沢水源地 VOL.9	北海道	“北海道”千年の森プロジェクト	北海道	780	
03R-05	陸奥湾の海と山のつながりを植林を通して体験する事業	青森	(特非)白神山地を守る会	青森	248	
03R-06	馬と歩く瞑想と森林浴を行う新しい森づくり	岩手	(一財)ハヤチネンダ	岩手	1,200	

SDGsの目標との関連																掲載頁
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	●				●						●					39
	●	●			●				●		●				●	40
	●			●	●						●				●	41
																未掲載
		●			●						●		●		●	42
	●	●		●					●	●						43
	●	●	●	●	●						●		●			44
	●	●							●				●		●	45
	●	●		●		●			●		●		●		●	46
																未掲載
				●						●	●	●	●			47
		●			●				●		●		●			48
			●			●			●	●	●				●	49
																未掲載
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	50
																未掲載
	●	●		●	●								●			51
				●	●						●	●	●			52
		●								●	●		●		●	53
																未掲載
	●	●							●	●	●		●		●	54
																未掲載

SDGsの目標との関連																掲載頁
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	●	●		●	●				●		●		●		●	56
●	●	●		●		●			●	●	●	●	●		●	57
																未掲載
																未掲載
	●	●							●		●	●	●		●	58
	●	●							●		●	●	●		●	59
																未掲載
																未軽鎖
		●			●					●			●		●	60
	●	●											●		●	61
																未掲載
	●	●		●					●		●	●	●			62
									●				●			63
	●	●		●	●						●	●	●		●	64
												●	●			65
																未掲載

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
03R-07	沈黙しないでピカピカ里山にしませんか！	秋田	(特非)角館里山再生プロジェクト	秋田	950	
03R-08	八幡山桜(はな)の森整備事業 コブシ・ハンノキの森整備事業	山形	手ノ子区協議会	山形	470	
03R-09	しらかわ本沼花見山づくり緑化環境整備事業	福島	しらかわ本沼花見山づくり会	福島	835	
03R-10	渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業	栃木	(特非)足尾に緑を育てる会	栃木	1,480	
03R-11	関東一のつつじ公園の復活と百年生美林散策	栃木	(特非)城山を守る会	栃木	770	
03R-12	ヤマアジサイの森の清掃活動とボランティア育成講座	群馬	倉淵ヤマアジサイの会	群馬	570	
03S-13	市民参加型森林整備・森林環境教育推進事業	千葉	(公財)Save Earth Foundation	東京	1,082	
03R-14	みんなの森づくりプロジェクト	山梨	(特非)野外遊び喜び総合研究所	東京	455	
03R-15	国民参加による災害に強いめぐりの森づくり	神奈川	(一社)Silva	神奈川	1,780	
03R-16	船来山里山環境整備事業	岐阜	船来山古墳群ボランティア	岐阜	420	
03R-17	猿投山北西山麓の環境林整備	愛知	猿投の森づくりの会	愛知	330	
03R-18	グリーンベイOSAKA海岸防災森を創る活動	大阪	(特非)グリーンベイOSAKA	大阪	1,600	
03R-19	里山保全活動からSDGsを学ぶ	兵庫	ボランティアグループ「未来の家」	兵庫	410	
03R-20	丹波平松の森づくり	兵庫	兵庫ドングリ千年の森をつくる会	兵庫	1,000	
03R-21	100年先も誇れる彩の森づくり事業	島根	(特非)さくらおろち	島根	960	
03R-22	おおつか里山桜並木回廊事業	島根	大塚寿会	島根	1,100	
03R-23	「山の日」祝日5周年記念植樹祭	広島	(特非)ひろしま人と樹の会	広島	890	
03R-24	竹林跡地を活用した森の再生事業	香川	川西地区地域づくり推進協議会	香川	740	
03R-25	脱炭素化社会へ！都市部市民と里山応援企業の協働活動2021	大分	(特非)アシスト・バル・オオイタ	大分	600	
03R-26	森林がもたらす恩恵に感謝！ ～森林資源の利活用と四季を彩る森林体験～	鹿児島	(特非)四季の会	鹿児島	1,450	

【国際協力】

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
03KC-01	島嶼国フィジーにおける防災に向けた緑化と環境教育	フィジー	(公財)オイスカ	東京	1,900	
03KC-02	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業	マリ	(特非)サヘルの森	東京	1,200	
03KC-03	カンボジア国コンボンチャム州における 持続可能な森林管理を目指した植林事業(フェーズ3)	カンボジア	(特非)環境修復保全機構	東京	2,000	
03KC-04	インドネシア マドゥラ島 水保全に向けた緑化と環境教育の推進	インドネシア	(公財)オイスカ	東京	2,000	
03KC-05	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	800	
03K-01	バリ島シンガラジャ市内公園の緑化植樹事業	インドネシア	(特非)ASIA Environmental Alliance	岩手	559	
03K-02	エチオピア・ラリベラでの養蜂業拡大を目指した市民参加型 緑化事業	エチオピア	(特非)フー太郎の森基金	福島	300	
03K-03	中学生によるナイロビ市街地の自然林再生	ケニア	(特非)地球の緑を育てる会	茨城	1,260	
03K-04	西アマゾン・アグロフォレストリー普及事業	ブラジル	(特非)クルミン・ジャボン	東京	1,811	●
03K-05	正藍旗における地域密着型生態林再生事業	中国	(一社)地球緑化クラブ	東京	1,514	
03K-06	ジャカルタ湾岸 マングローブ林再生プロジェクト	インドネシア	(公社)日本環境教育フォーラム	東京	2,236	●
03K-08	パレスチナ・セルフィート県の耕作放棄地への植樹を通じた 緑化事業	パレスチナ	(特非)パルシック	東京	1,823	
03K-09	バングラデシュ国テクナフ半島の住民による森林再生	バングラデシュ	ラムサールセンター	東京	2,303	●
03K-10	中央カリマンタン国立公園周辺地域の環境保全事業	インドネシア	(一社)マニスファンクラブ	神奈川	1,451	●
03K-11	パンチカール市 地域の緑化推進のための公園づくり	ネパール	(特非)ラプグリーンジャパン	神奈川	1,846	
03K-12	中国内蒙古・ホルチン砂漠の砂漠化防止活動	中国	(特非)緑化ネットワーク	神奈川	2,092	
03K-13	森林保全と森林防火管理における養成の強化	ボリビア	(特非)DIFAR	三重	1,047	●
03K-14	マメ科植林によるサヘル地域緑化と生計向上	セネガル	(特非)平和環境もやいネット	滋賀	2,119	

SDGsの目標との関連																掲載頁
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	●								●		●					66
	●	●		●					●		●		●		●	67
	●								●		●		●		●	68
		●		●							●		●			69
	●	●							●		●		●	●		70
	●	●	●	●			●		●		●		●		●	71
		●									●		●			72
	●	●	●	●	●		●		●	●	●				●	73
●		●	●	●		●		●	●	●	●	●	●		●	74
	●	●				●			●		●		●			75
	●	●		●	●				●		●	●	●		●	76
	●								●		●					77
	●			●	●				●		●	●	●		●	78
											●		●			79
				●					●		●				●	80
	●	●				●		●	●		●	●	●	●	●	82
	●								●				●			83
	●						●		●							84
	●	●			●				●	●	●	●	●		●	85

SDGsの目標との関連																掲載頁
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
		●							●		●	●	●			88
●				●									●		●	89
			●						●	●	●		●			90
		●		●						●	●	●	●			91
											●		●			92
		●		●					●						●	93
									●		●					94
											●	●	●		●	95
●		●	●	●				●		●	●		●		●	96
		●					●						●			97
						●			●			●	●			98
●									●				●			99
●	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●		●	100
		●							●		●		●			101
				●					●		●		●			102
											●		●		●	103
	●			●							●		●		●	104
																未掲載

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
03K-15	マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業	マダガスカル	(特非)アイユーゴー	大阪	1,351	
03K-16	ネパール シンドウバルチョーク郡におけるコーヒー育苗と栽培による環境保全	ネパール	(公社)アジア協会アジア友の会	大阪	1,810	●
03K-17	フィリピン・ベンゲット州における鉱山開発地域の森林再生事業(2年目)	フィリピン	マナラボ 環境と平和の学びデザイン	兵庫	2,193	●
03K-18	水源保全とアグロフォレストリー推進事業	ホンジュラス	(特非)AMDA社会開発機構	岡山	2,175	
03K-19	タイ北部山岳地域バンカー村の森林再生と農村開発	タイ	(特非)シャンティ山口	山口	1,500	●
03K-20	モザンビーク共和国モリンガプロジェクト	モザンビーク	(一社)モザンビークのいのちをつなぐ会	福岡	1,480	●

【次世代の森づくりを担う人材育成事業】

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
03Z-01	地域を巻き込み、森林・森の恵みを活用したSDGs学習を展開する！	山形	山形県立村山産業高等学校 みどり活用グループ	山形	1,387	
03Z-02	若者と進める、子どもの里山づくり事業	栃木	(特非)トチギ環境未来基地	栃木	460	
03Z-03	『創』美しいもり!! プロジェクト	群馬	群馬県林業研究グループ連絡協議会	群馬	1,200	●
03Z-04	森林ボランティア青年リーダー養成講座	東京、京都、 兵庫、香川、 徳島	(認特)JUON NETWORK	東京	1,000	
03Z-05	大学生による森林保全活動推進プログラム	和歌山	Share Your Value Project	東京	1,290	
03Z-06	気候変動対策、土地本来の森づくりを協働！	神奈川	(一社)Silva	神奈川	1,000	
03Z-07	環境リーダー育成 実践型森林ワークキャンプ	栃木、福島、 大阪、静岡、 三重、青森	(特非)NICE (日本国際ワークキャンプセンター)	神奈川	795	
03Z-08	若者主導の多世代参加型の里山再生事業	神奈川	(特非)農ある暮らしを広める会	神奈川	1,500	
03Z-09	大学生による森林・竹林整備	京都	京都府立大学 森林ボランティアサークル森なかま	京都	378	
03Z-10	未来へつなぐ「悠久の森」	京都	京都府立北桑田高等学校	京都	2,000	
03Z-11	次世代と共につくる里山と菊炭の未来	大阪	大阪能勢田尻菊炭振興協議会	大阪	2,000	
03Z-12	緑をとりもどせ！土砂崩壊防止をめざして	鳥取	鳥取県立智頭農林高等学校 森のしずくクラブ	鳥取	390	

【子どもたちの未来の森づくり事業】

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
03子R-01	にちようびの森～森で育つ子どもたち	北海道	(認特)子どもと文化のひろば ぶれいおん・とかち	北海道	700	
03子R-02	子どもと馬を中心にしたコミュニティによる里山整備及び森林環境教育推進事業	北海道	胆振・体験から学ぶ推進協議会COLD	北海道	700	
03子R-03	ふるさとの森・遊びの森作り事業	北海道	恵庭ふるさと100年の森	北海道	420	
03子R-04	こどもたちとつなぐ未来の森プロジェクト	青森	(特非)green design	青森	939	
03子R-05	SDGsキッズ海岸防災未来の森づくり事業	宮城	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	720	
03子R-06	森での遊びを通じた環境教育事業	宮城	(特非)蔵王のブナと水を守る会	宮城	234	
03子R-07	「つなげよう！どんぐりの森2021」プロジェクト	秋田	男鹿ツーリズムプラットフォーム	秋田	500	
03子R-08	子供たちへ繋ぐ森林の風	秋田	トープ・木こりっこ	秋田	520	
03子R-09	高島町天神山の遊歩道等の改修及び植樹事業	山形	飯森区会	山形	635	
03子R-10	ふるさとの風景づくり植樹祭	福島	ふるさとの風景づくり実行委員会	福島	500	
03子R-11	田人林業体験フィールド活動事業	福島	林林倶楽部	福島	664	

SDGsの目標との関連																掲載頁	
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
									●					●		●	105
	●	●	●				●	●	●					●	●	●	106
	●			●			●		●	●	●			●	●	●	107
●			●	●										●			108
	●			●								●				●	109
●	●	●		●				●	●			●			●		110

SDGsの目標との関連																掲載頁	
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
		●			●						●						112
																	未掲載
●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●		113
	●		●	●					●		●	●	●			●	114
		●		●		●				●	●	●	●			●	115
●		●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●		●	116
	●										●		●	●			117
	●	●		●		●			●		●	●	●			●	118
				●	●				●		●		●				119
																	未掲載
	●	●		●	●				●		●	●	●			●	120
		●							●				●			●	121

SDGsの目標との関連																掲載頁	
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	●	●	●		●	●			●	●	●	●	●	●	●		124
	●	●		●	●				●		●		●				125
	●	●		●					●				●				126
	●	●							●		●	●	●			●	127
	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	128
																	未掲載
																	未掲載
	●	●		●	●				●	●	●		●			●	129
	●								●		●		●			●	130
									●		●		●			●	131
																	未掲載

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
03子R-12	ふるさとの森を守ろう	茨城	(特非)里山を守る会	茨城	370	
03子R-13	子ども達の未来の森づくり	茨城	森の守り人	茨城	690	
03子R-14	子どもたち参加の里山体験活動	茨城	(特非)こが里山を守る会	茨城	600	●
03子R-15	みんなで作るみんなの森プロジェクト	栃木	(特非)1000年の森を育てるみんなの会	栃木	490	
03子R-16	石原里山整備で感性豊かな子どもの育成事業	群馬	(社福)コスモス福祉会保護者会	群馬	660	●
03子R-17	みんなで守ろう 育てよう!よしみ里山プロジェクト	埼玉	(特非)ナチュラルリングトラスト	埼玉	600	
03子R-18	「森のがっこう」里山再生と木の活用事業	千葉	子育て支援ステーションニッセ	千葉	900	
03子R-19	歴史ある学びの森で、地元の小学生へ体験学習	東京	パウロの森くらぶ	東京	253	
03子R-20	未来の子どもと森×SDGs×FSCを学ぶ	東京	(特非)フジの森	東京	645	
03子R-21	災害に強い子どもたちが育つ森づくり事業	東京	(特非)森の包括支援センター	東京	500	
03子R-22	故郷の里山再生および園芸文化の復活プロジェクト	新潟	保内緑の里管理組合	新潟	730	
03子R-23	子どもたちの未来の森づくり事業	石川	石川フォレストサポーター会	石川	650	
03子R-24	鬼無里で「みんなの森づくり」プロジェクト	長野	(特非)まめってえ鬼無里	長野	530	
03子R-25	小中学生のためのフォレスター養成講座	長野	(特非)ぐるったネットワーク大町	長野	520	
03子R-26	名勝「金尾滝」周辺の「森の学び」整備事業	岐阜	大野町野区自治会	岐阜	900	
03子R-27	閉校してもみんなの森はみんなで守ろうプロジェクト	岐阜	吉田地域活性化委員会	岐阜	790	
03子R-28	子供たちと地域で守る不動の滝と牛妻の森づくり事業	静岡	(公社)静岡県林業会議所	静岡	950	
03子R-29	修善寺・アカガシの森 環境共育プロジェクト	静岡	(一社)伊豆の杣人舎	静岡	580	●
03子R-30	どんぐり交流会の山づくり その2	愛知	(一社)日本ボーイスカウト愛知連盟	愛知	1,000	
03子R-31	あさくら里山の保全・活用事業	愛知	あさくら里山を守る会	愛知	250	
03子R-32	六栗西山ふれあいの森整備事業 その1	愛知	六栗西山森の道整備隊	愛知	860	
03子R-33	青い鳥の谷子ども広場計画	滋賀	山中比叡平里山倶楽部	滋賀	850	
03子R-34	子どもたちによる都市公園の森での整備事業	滋賀	森の風音	滋賀	720	
03子R-35	遊々の森で子どもたちと行う森林再生	京都	京都森林インストラクター会	京都	350	
03子R-37	生駒市西畑町の棚田・里山の再生と創造	奈良	いこま棚田クラブ	奈良	300	
03子R-38	大地の再生～キャンプ場の復活プロジェクト～	奈良	サステナu	奈良	450	
03子R-39	みんなで作るドングリの森	鳥取	森のともだち応援し隊	鳥取	900	
03子R-40	海に見える丘 五十猛小プレイパークづくり	島根	(特非)緑と水の連絡会議	島根	900	
03子R-41	みんなで育てよう伊部つながりの森の整備事業	岡山	片上・伊部つながりの森実行委員会	岡山	900	
03子R-42	子ども達に託せる美しい里山づくり事業	高知	こうち森林救援隊	高知	600	
03子R-43	七隈の森を整備して、地球温暖化を防止しよう	福岡	ぐりーんぱんだ	福岡	400	
03子R-44	糸島・未来の森づくり事業	福岡	(特非)いとなみ	福岡	510	
03子R-45	みんなで遊ぶ森作り	熊本	(一社)sol	熊本	600	
03子R-46	もりもり体験 with 森守	大分	森守	大分	232	●
03子R-47	こどものための森づくりと自然観察会	宮崎	(特非)こじいの森・こどもの時間	宮崎	400	
03子R-48	馬事公苑の森子どもの森づくり活動	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	820	
03子R-49	ひとりひとりが守り、つなげる緑の里山	鹿児島	里山倶楽部	鹿児島	793	

SDGsの目標との関連																掲載頁
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	●	●							●				●			132
																未掲載
	●			●							●	●	●			133
	●	●			●				●		●					134
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	135
	●	●			●				●				●		●	136
●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	137
	●	●							●				●			138
																未掲載
	●	●	●	●					●				●		●	139
	●				●						●				●	140
													●			141
									●				●			142
		●			●						●		●			143
	●	●		●					●				●			144
		●							●				●			145
	●	●							●				●		●	146
	●	●		●					●	●	●	●	●			147
●	●	●									●				●	148
									●				●		●	149
									●				●		●	150
	●	●							●		●		●		●	151
	●								●				●		●	152
		●		●	●				●	●			●		●	153
	●	●							●	●	●	●			●	154
		●	●						●	●	●	●	●			155
		●									●		●			156
	●	●			●						●	●	●			157
	●	●		●	●				●		●		●		●	158
	●								●		●	●	●		●	159
																未掲載
																未掲載
																未掲載
●	●	●	●					●	●		●	●	●	●	●	160
																未掲載
	●	●		●	●				●		●		●			161
																未掲載

区 分	最終交付件数	交付額(千円)
森林整備	73	62,441
緑化推進	83	63,141
国際協力	24	38,770
直接・公募計	180	164,352

令和元・2年度 中央事業実施状況一覧

交付決定番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	1
01K-28	バキスタン北東部における緑の再生・保全事業と環境保護第一世代の育成	バキスタン	マグティン・カラコラム会	滋賀	1,052	●
02S-09	森の次代を担う青年森づくり事業	東京	(特非)森の包括支援センター	東京	460	●
02S-10	水源を守ろう、森づくり事業	群馬、東京	みどりを守る首都圏住民の会	東京	750	
02R-01	森・子どもたちの元気づくり・再生プロジェクト	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,680	●
02R-07	馬と歩く瞑想と森林浴を行う新しい森づくり	岩手	(一財)ハヤチネンダ	岩手	1,200	
02R-16	「かがやけ白崎の森」プロジェクト	和歌山	白崎青少年の家友の会	和歌山	1,250	
02K-01	中国・内モンゴル自治区アラシャン盟ウランブハ沙漠における沙漠緑化	中国	(特非)MAKE HAPPY	宮城	1,088	●
02K-06	フィリピン・マウンテン州における森林農法による植樹と育苗事業	フィリピン	(特非)集住グリーンネットワーク	東京	1,206	●
02K-11	ガラバゴス諸島:スカレシアの森再生事業	エクアドル	(特非)日本ガラバゴスの会	東京	1,467	●
02K-23	ミャンマー・マインピン地域における水源涵養・アグロフォレストリー推進と緑化啓発事業	ミャンマー	(特非)地球市民の会	佐賀	1,128	
02子R-08	「つなげよう!どんぐりの森2020」プロジェクト	秋田	男鹿ツーリズムプラットフォーム	秋田	1,000	
02子R-24	子どもがたたく未来の森とSDGs	東京	(特非)フジの森	東京	760	
02子R-29	持続可能な森林管理を生徒児童と学ぶ	神奈川	(特非)農ある暮らしを広める会	神奈川	770	
02子R-30	地域の多世代交流拠点を目指す園庭緑化事業	神奈川	関東学院六浦こども園	神奈川	956	
02子R-33	広葉樹林の多様な活用事業	山梨	東山梨広葉樹林会	山梨	340	●
02子R-53	元気な子ども!療育の子どもみんなで遊ぶ森作り	熊本	(一社)sol	熊本	980	

(注1) 本表は、緑の募金法第14条に基づき森林整備等のために交付した交付先等である。

(注2) 交付額は、交付先への交付決定額である。

SDGsの目標との関連																掲載頁
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
					●					●	●		●		●	164
	●	●		●					●		●		●		●	165
				●							●	●	●			166
●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	167
	●				●	●			●		●	●	●		●	168
	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	169
									●		●		●			170
	●	●		●		●			●		●		●		●	171
	●					●			●		●		●		●	172
●				●					●		●				●	173
	●	●			●				●	●	●	●	●		●	174
		●									●		●			175
	●	●		●		●			●		●	●	●		●	176
	●	●						●	●				●			177
●	●	●	●	●		●			●	●	●	●	●		●	178
	●	●	●					●	●	●		●	●	●	●	179

「緑の募金」事業報告集 ー令和4年度版ー

発行所 公益社団法人 国土緑化推進機構
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4
砂防会館別館
TEL 03-3262-8457 FAX 03-3264-3974
URL <https://www.green.or.jp>
E-mail bokin@green.or.jp

編集 一般社団法人 全国林業改良普及協会